

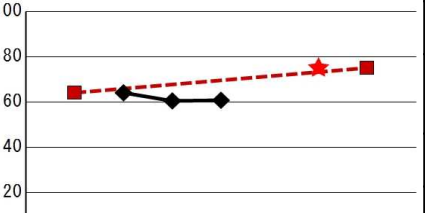
政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 01 地域医療体制の充実

あるべき姿

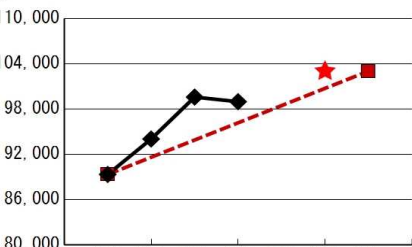
必要な時に、必要な医療を受けられるようになっています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	市内や近隣に、必要な医療機関が整っていると感じる市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																								
	【地域医療推進課】	64	60.4	60.7	75	 (横ばい)																								
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)					対 前年度																							
	（状況）平成29年度は60.7％で、前回調査より0.3ポイント向上していますが、市民アンケートの統計誤差の範囲と考えられ、横ばいの状態です。男女での差はありませんが、30～50歳代の満足度が低く、年齢が上がるにつれ満足度は高くなっています。 （原因）市民のニーズが多様化する中、専門的な医療を求める声も多くなっていますが、市内・近隣では十分ではありません。あがの市民病院で救急・時間外の受け入れも行っていますが、常勤医師の不足等により受け入れられるケースが限られており、医療資源はまだ不足しています。	 <table border="1"><caption>実績値と目標値の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th><th>目標値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>64</td><td>64</td></tr><tr><td>H27</td><td>60.4</td><td>60.4</td></tr><tr><td>H28</td><td>60.7</td><td>60.7</td></tr><tr><td>H29</td><td>60.7</td><td>60.7</td></tr><tr><td>H30</td><td>60.7</td><td>60.7</td></tr><tr><td>H31</td><td>60.7</td><td>60.7</td></tr><tr><td>H32</td><td>60.7</td><td>60.7</td></tr></tbody></table>  目 標 達成度  (低)					年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H26	64	64	H27	60.4	60.4	H28	60.7	60.7	H29	60.7	60.7	H30	60.7	60.7	H31	60.7	60.7	H32	60.7	60.7
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																												
H26	64	64																												
H27	60.4	60.4																												
H28	60.7	60.7																												
H29	60.7	60.7																												
H30	60.7	60.7																												
H31	60.7	60.7																												
H32	60.7	60.7																												

■ 基本事業の成果状況と評価

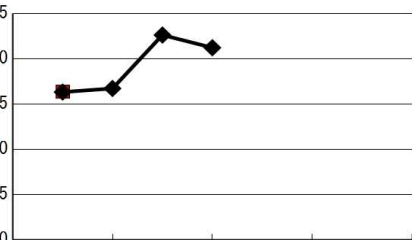
基本事業01 あがの市民病院の機能強化

指標	外来患者数（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【地域医療推進課】	94,007	99,561	98,949	103,000	 (向上)
評価		(人)				対 前年度
	（状況）平成29年度は98,949人で、平成28年度より612人（0.6%）減少し、横ばいとなりましたが、総合計画基準値からは9,643人増えています。 （原因）平成27年10月に新病院が開院し、外来の診療枠が増えたことが総合計画基準値より増加している要因と考えられますが、その後、常勤医師数は増えない中で、29年度は診療枠が減ったことが前年度からわずかに減少した原因と推察します。 （減少診療枠：整形外科1枠、産婦人科1枠）					 (横ばい)
価値						目標 達成度
						 (中)

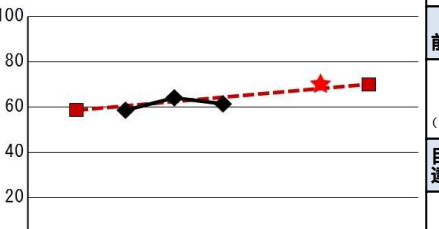
基本事業01 あがの市民病院の機能強化

指標		実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
病床利用率（％）		64.1	65.2	70.2	88	☀️ (向上)
【地域医療推進課】						
評価		（状況）平成29年度は70.2％で、平成28年度より5.0ポイント利用率が増加し、総合計画基準値より3.4ポイント増加しています。目標値に向けて更なる入院患者受入経路の開拓が必要な状況です。 （原因）老人施設からの急病患者的の積極的な受け入れにより、療養病床利用率が増加したためと考えられます。				対 前年度 ☀️ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (低)

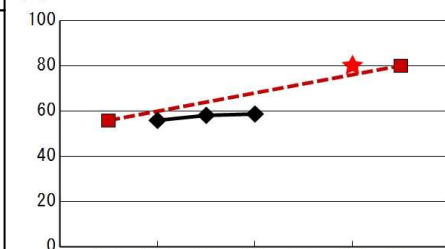
基本事業01 あがの市民病院の機能強化

救急搬送者のうち、あがの市民病院に搬送された者の割合（％）		実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
指標	【地域医療推進課】	16.7	22.6	21.2	➡	☀ (向上)
評価	（状況）平成29年度は21.2％で、平成28年度より1.4ポイント減少しましたが、総合計画基準値からは4.9ポイント増加しています。救急搬送者のうち、あがの市民病院で受け入れた搬送者は329人（阿賀野市消防のみ）で、平成28年度より27人、7.6％減っています。 （原因）救急対応できる常勤医師が減ったため、受け入れ数が減少したと考えられます。					対 前年度 ☔ (低下) 目 標 達成度 ■■ (中)

基本事業02 各医療機関の機能分担の強化

指標		【地域医療推進課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値	
		かかりつけ医を持っている市民の割合（％）	58.5	64.0	61.3	70	 (横ばい)	
評価	基準値は初取得の平成27年度の値		（％） 					対 前年度  (横ばい)
	（状況）平成29年度は61.3％で、前回調査より2.7ポイント減少していますが、総合計画基準値からは2.8ポイント増加しています。市民アンケートの統計誤差の範囲と考えられ、横ばいの状態です。 原因）年代別では50歳以上になると60％以上、65歳以上は75％以上の割合となり、年齢が高くなるほどかかりつけ医を持っています。男女別では女性が9ポイント高く、地区別では安田地区が高く、水原地区が低くなっており、10.4ポイントの差があります。医療機関が比較的多い地区の方が、かかりつけ医を決めていない傾向が見られます。							目 標 達成度  (低)

基本事業02 各医療機関の機能分担の強化

指標	休日・夜間診療体制を知っている市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【地域医療推進課】	55.8	58.0	58.6	80	
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				(横ばい)
	(状況) 平成29年度は58.6%となり、前回調査より0.6ポイント、総合計画基準値より2.8ポイント増加していますが、市民アンケートの統計誤差の範囲と考えられ、横ばいの状態です。 (原因) 年齢別では20代が36.6%と低く、男女別では男性が女性より16ポイント低くなっています。 「暮らしの安心ガイド」の各世帯への配付や、広報、子育て情報資料等でも救急・時間外の受診について周知を図っていますが、まだ情報を見えていない市民が多く、確認の必要性の周知が不十分であると考えられます。					対 前年度  (横ばい)
						目 標 達成度  (低)

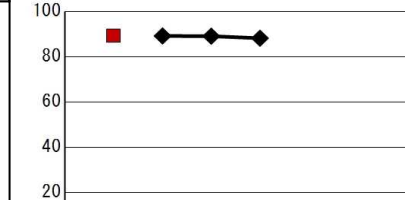
政策 01 安全・安心な暮らしの実現

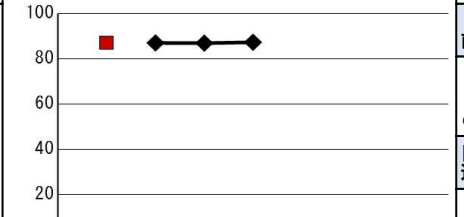
施策 02 健康づくりの推進

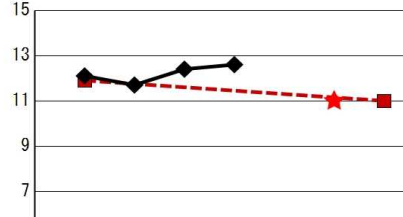
あるべき姿

心身の健康が保たれ、元気に生活を送っています。
市民の自発的な健康づくりの取り組みが活発化しています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	健康であると感じる市民の割合（身体）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値															
	【健康推進課】	89.1	89.0	88.1	➔	 (横ばい)															
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)																			
	（状況）平成29年度は88.1％で、前回調査より0.9ポイント低下していますが、統計誤差の範囲であり、高い割合を維持しています。 （原因）地域差や男女差は見られませんでした。40歳代以下では、約95％が健康であると答えています。50歳代を過ぎると「健康でない」と答える割合が高くなりますが、70歳以上の8割以上が、「健康である」と答えています。 施策成果が横ばいの理由としては、構成する基本事業の成果指標の推移も横ばいが多くなっていることが影響しています。	 <table border="1"><caption>健康であると感じる市民の割合（身体）（％）推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>割合（％）</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>89.1</td></tr><tr><td>H27</td><td>89.0</td></tr><tr><td>H28</td><td>89.0</td></tr><tr><td>H29</td><td>88.1</td></tr><tr><td>H30</td><td>88.1</td></tr><tr><td>H31</td><td>88.1</td></tr><tr><td>H32</td><td>88.1</td></tr></tbody></table>  (横ばい) 目標達成度  (低)					年度	割合（％）	H26	89.1	H27	89.0	H28	89.0	H29	88.1	H30	88.1	H31	88.1	H32
年度	割合（％）																				
H26	89.1																				
H27	89.0																				
H28	89.0																				
H29	88.1																				
H30	88.1																				
H31	88.1																				
H32	88.1																				

指標	健康であると感じる市民の割合（こころ）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値															
	【健康推進課】	86.9	86.8	87.2	➔	 (横ばい)															
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)																			
	（状況）平成29年度は87.2％で、前回調査より0.4ポイント上昇していますが、統計誤差の範囲であり、高い割合を維持しています。 （原因）地域差や男女差、職業別の差は見られませんでした。年齢別では、20代（82.6％）、30代（84.0％）よりも65～69歳（92.5％）、70～74歳（87.6％）の高齢者が「健康である」と答える割合が高くなっています。 施策成果が僅かに向上している理由としては、こころの健康づくりの取組の成果であると考えられます。	 <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>86.9</td></tr><tr><td>H27</td><td>86.8</td></tr><tr><td>H28</td><td>86.8</td></tr><tr><td>H29</td><td>87.2</td></tr><tr><td>H30</td><td>87.2</td></tr><tr><td>H31</td><td>87.2</td></tr><tr><td>H32</td><td>87.2</td></tr></tbody></table> 対前年度  (横ばい) 目標達成度  (低)					年度	実績値	H26	86.9	H27	86.8	H28	86.8	H29	87.2	H30	87.2	H31	87.2	H32
年度	実績値																				
H26	86.9																				
H27	86.8																				
H28	86.8																				
H29	87.2																				
H30	87.2																				
H31	87.2																				
H32	87.2																				

指標	人口千人当たりの病気等での死亡者数（死亡率）（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	11.7	12.4	12.6	11	 (低下)
評価	各年度の指標は1年前の値、基準値は平成25年度把握値	(人)				対 前年度
	（状況）平成28年度は12.6人と、前年より0.2人増加しました。総合計画開始時点より0.7人増加し悪化しています。県平均11.1人と比較しても多い状況です。 （原因）平成28年度の死亡者数は607人、うち病気等での死亡者数537人となっています。死因別では、1位がん、2位心疾患、3位脳卒中、4位老衰と肺炎です。老衰は、女性では死因の2位（41人）であるのに対し、男性では8位（8人）と男女差が見られます。高齢化のため、がん、心疾患、脳卒中の3大死因が減少することは難しい状況です。しかしながら、当市の特定健診や胃がん検診受診率が県平均を下回っていることが原因の一つと考えられます。					 (低下)
目標						目 標 達 成 度  (低)

■ 基本事業の成果状況と評価

基本事業01 望ましい食習慣の確立

指標	朝食の欠食者の割合（20歳代）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	28.4	37.1	32.3	25	☂ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	（状況）平成29年度は32.3%で、前回調査より4.8ポイント改善しています。男女別では男性41.7%。女性24.7%でした。男性は平成28年度42.1%で0.4ポイント増加でほぼ横ばい、女性は平成28年度31.3%で6.6ポイント低下しています。 （原因）生活環境や雇用基盤の変化により不規則勤務や若い世代の夜型生活スタイル等が朝食の欠食につながる要因と考えられます。 小児期からの各種健診、健康教育等で啓発をし、総合的に取り組んできた効果があらわれてきたものと思われます。					☀ (向上) 目 標 達 成 度 ■■■ (低)

基本事業01 望ましい食習慣の確立

指標	適正な体重を維持していない市民の割合 （20～60歳代男性の肥満者の割合）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	28.5	28.6	31.0	25	☁ (横ばい)
評価	B M I 値25を超える人を「肥満者」と表現	(％)				対 前年度
	（状況）平成29年度では平成28年度より2.4ポイント増加しています。総合計画基準値より2ポイント増加しており横ばいから若干の増加傾向にあります。全国平均が32.4%で、ほぼ同じ状況にあります。 （原因）雇用形態の多様化などによる生活リズムの乱れからの食事時間の不規則や欠食、多忙な生活による食事バランスの乱れなどが肥満につながる原因となっています。					☁ (横ばい) 目 標 達 成 度 ■■■ (低)

基本事業01 望ましい食習慣の確立

指標	適正な体重を維持していない市民の割合 （40～60歳代女性の肥満者の割合）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	20.6	22.0	22.8	18	☁ (横ばい)
評価	B M I 値25を超える人を「肥満者」と表現	(％)				対 前年度
	（状況）平成29年度の女性肥満者は22.8%で平成28年度より0.8ポイント増加しました。総合計画基準値より1.3ポイント増加しており、若干の増加傾向にあります。全国平均は21.6%であり、高い傾向があります。 （原因）雇用形態の多様化などによる生活リズムの乱れからの食事時間の不規則や欠食、多忙な生活による栄養バランスの乱れなどが肥満につながる原因となっています。					☁ (横ばい) 目 標 達 成 度 ■■■ (低)

基本事業01 望ましい食習慣の確立

指標	適正な体重を維持していない市民の割合 （20歳代女性のやせの者の割合）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	37.9	28.3	20.0	20	☀ (向上)
評価	B M I 値18.5未満の人を「やせの者」と表現	(％)				対 前年度
	（状況）平成29年度の女性のやせの者は20.0%で、平成28年度より8.3ポイント改善しました。総合計画基準値から16.7ポイント改善しており順調です。全国平均が20.7%であり、ほぼ同様の状況です。 （原因）健康意識の向上に加え、小児期から関係機関と連携を図り、各種健診、健康教育等で望ましい食習慣の啓発を行ってきました。総合的に取り組んできた効果があらわれてきたものと思われます。					☀ (向上) 目 標 達 成 度 ■■■ (達成)

基本事業02 運動・身体活動の推進

指標	1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施している市民の割合(男)(%)	実績値(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H32)	対基準値
	【健康推進課】	19.2	18.2	17.0	39	(横ばい)
基準値は、初取得の平成27年度の値		(%)				対前年度
評価	(状況)平成29年度は、17.0%で、前回調査より1.2ポイント低下しています。統計誤差の範囲で、横ばいの状況です。年代別の傾向(男女共通)では、これまで30歳から49歳の働き盛りの年代が、10%以下を推移してきましたが、40歳から49歳の年代で12%となり、上昇傾向にあります。また、65歳から79歳の年代でも昨年の22%から4ポイント上昇し、26%となっています。 (原因)主に高齢者や中高年を対象として運動継続のきっかけや環境づくりを目的とした「元気長生き応援事業」や「塾のコンビニ事業」、「運動普及員事業」等により運動習慣者の底辺拡大が着実に進んでいるものと思われます。					目標達成度
						(低)

基本事業02 運動・身体活動の推進

指標	1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施している市民の割合(女)(%)	実績値(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H32)	対基準値
	【健康推進課】	15.8	13.8	15.1	35	(向上)
基準値は、初取得の平成27年度の値		(%)				対前年度
評価	(状況)平成29年度は、15.1%で、前回調査より1.3ポイント上昇しています。 (原因)年代別の傾向(男女共通)では、これまで30歳から49歳の働き盛りの年代が、10%以下を推移してきましたが、40歳から49歳の年代で12%となり、上昇傾向にあります。また、65歳から79歳の年代でも、昨年の22%から4ポイント上昇し、26%となっています。 主に高齢者や中高年を対象として運動継続のきっかけや環境づくりを目的とした「元気長生き応援隊事業」や「塾のコンビニ事業」、「運動普及員事業」等により運動習慣者の底辺拡大が着実に進んでいるものと思われます。					目標達成度
						(低)

基本事業02 運動・身体活動の推進

指標	体操を定期的実施している市民の割合(%)	実績値(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H32)	対基準値
	【健康推進課】	13.3	12.5	12.0	20	(横ばい)
基準値は、初取得の平成27年度の値		(%)				対前年度
評価	(状況)平成29年は12.0%で、前回調査より0.5ポイント低下しています。統計誤差の範囲で、横ばいの状況です。年代別の割合では、60歳以上が24%以上の実施率で高くなっています。実施されている体操の種類は、ラジオ体操25.1%、水中運動11.5%、けんこつ体操4.6%、シャキ！いき！健康法3.9%となっています。 (原因)主に高齢者や中高年者を対象として運動継続のきっかけや環境づくりを目的とした「元気長生き応援事業」や「塾のコンビニ事業」、「運動普及員事業」等により運動実施者の底辺拡大が図られているものと思われます。					目標達成度
						(低)

基本事業03 禁煙と適正飲酒の推進

指標	習慣的に喫煙している市民の割合(%)	実績値(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H32)	対基準値
	【健康推進課】	21.5	19.7	18.8	14	(横ばい)
基準値は、初取得の平成27年度の値		(%)				対前年度
評価	(状況)平成29年度は18.8%で前年の調査から0.9ポイント低下しており、習慣的にたばこを吸う人の割合は年々減少しています。男女別では、男性が33.8%、女性が7.1%と男性の習慣者が高く、年齢別では、30歳から39歳の27.7%をピークに働き盛り世代の割合が高くなっています。 (原因)健康増進法による受動喫煙防止の取り組み及び、各種健診時やイベント並びに健康相談における普及啓発活動により、たばこの害の意識が徐々に浸透しているものと思われます。毎年行っている各自治会集会所施設の禁煙分煙の取り組み調査では、施設内禁煙、敷地内禁煙に取り組む自治会が年々増加しています。					目標達成度
						(中)

基本事業03 禁煙と適正飲酒の推進

指標	適正飲酒を守っている市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	74.9	75.8	74.8	➔	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	(状況) 平成29年度は74.8％で、前回調査より1ポイント低下しましたが、統計誤差の範囲と思われ、横ばいの状況です。 (原因) 年代別でみると40歳代～65歳までの働き盛りに習慣的飲酒が見られます。男性が多く、女性は少なくなっています。特定健診問診表より国や県、同規模自治体と比較しても飲酒量が多い傾向です。イベントや各種健診、健康相談等で適正飲酒について普及啓発していることから市民の意識の変化に繋がっていると思われます。					☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■■■ (低)

基本事業04 こころの健康づくりの推進

指標	悩みを相談できる人や場所を持っている市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	88.3	88.2	87.7	➔	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	(状況) 平成29年度は87.7％で、前回調査より0.5ポイント低下しましたが、統計誤差の範囲と思われ、横ばいです。 (原因) 市民アンケートからは、男性は女性より相談できる相手が少ない傾向が見られます。地区別による差は見られませんでしたが、年代別では、40代～50代、60～64歳で相談できない方が多い傾向がみられます。「こころの健康相談」等の相談窓口をつつチェックシートとともに全戸配付や各種健診・訪問、イベントを通し周知した結果、新規相談者が増えています。関係機関と連携したこころの健康に関する支援に取り組んでいます。					☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■■■ (中)

基本事業04 こころの健康づくりの推進

指標	自殺者数（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	9	14	10	9	☁ (横ばい)
評価	基準値は平成24～26年度の平均値	(人)				対 前年度
	(状況) 平成29年は10名で、平成28年より4名低下しました。総合計画基準値の9人（平成29～31年平均）に近づいています。 (原因) 相談窓口の普及啓発や、こころの健康づくりに関する講演会を旧町村単位で実施するなど知識の普及にも努めています。					☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■■■ (中)

基本事業05 健（検）診受診率の向上

指標	特定健診受診率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	39.5	40.0	41.1	60	☀ (向上)
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による）	(％)				対 前年度
	(状況) 平成28年度の受診率は41.1％で、平成27年度と比べて1.1ポイント上昇し、総合計画基準値との比較では3.0ポイント向上しています。 (原因) 県平均の受診率は43.2％で、阿賀野市の年齢別では40歳代前半が23.5％、40歳代後半が28.8％、50歳代前半が26.0％と低いため、40歳と50歳の対象者全員に受診勧奨訪問、45歳と55歳の未受診者に受診勧奨訪問を行っていることが受診率向上に結びついたと考えられます。					☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■■■ (低)

基本事業05 健（検）診受診率の向上

指標	特定保健指導実施率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	58.9	55.9	55.1	60	☀
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による）	(%)				(向上)
	（状況）平成28年度は55.1%で、対象者の半数以上に特定保健指導を実施しています。平成27年度より0.8ポイント低下しましたが、総合計画基準値からは3.9ポイント向上しており、県平均の37.8%を大きく上回っています。 （原因）訪問による夜間や休日等の個別対応を行っており、日中対応困難なケースにも対応しています。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業05 健（検）診受診率の向上

指標	各種がん検診の受診率（69歳以下）〔肺〕（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	42.4	43.2	44.9	50	☁
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による）	(%)				(横ばい)
	（状況）平成28年度の受診率は44.9%で、平成27年度との比較では1.7ポイントの向上、総合計画基準値と比較しても1.5ポイント向上しています。 （原因）平成28年度の県平均は36.8%となっており、県平均を上回っています。対象者への個別通知、未受診者への再通知、土日検診を実施していることが受診者の向上に繋がっています。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業05 健（検）診受診率の向上

指標	各種がん検診の受診率（69歳以下）〔胃〕（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	20.6	21.2	22.1	60	☁
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による）	(%)				(横ばい)
	（状況）平成28年度の受診率は22.1%で、平成27年度との比較では0.9ポイントの向上、総合計画基準値と比較しても1.9ポイント向上しています。 （原因）市内医療機関で定期的に胃カメラを受けている人が多いため、県平均の27.4%より低い状況が続いていますが、個別通知や再通知、土日検診日を設けたり、41歳の検診料金を無料とすることで微増に繋がっています。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業05 健（検）診受診率の向上

指標	各種がん検診の受診率（69歳以下）〔大腸〕（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	36.8	39.6	41.6	50	☁
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による）	(%)				(横ばい)
	（状況）平成28年度の受診率は41.6%で、平成27年度との比較では2.0ポイント向上、総合計画基準値と比較しても3.5ポイント向上しています。 （原因）県平均の36.6%を上回っています。平成23年度より対象者に無料クーポンを配布し、使用率は20%前後で推移しています。クーポン券が一定の受診者を確保していると思われます。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業05 健（検）診受診率の向上

指標	各種がん検診の受診率（69歳以下）〔乳〕（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	55.7	57.4	63.2	60	☀️ (向上)
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による）	(％)				対 前年度
	（状況）平成28年度の受診率は63.2％で、平成27年度との比較では5.8ポイント向上、総合計画基準値と比較しても11.3ポイント向上で順調です。 （原因）県平均59.4％を上回っています。平成21年度から対象年齢に無料クーポンと配布しており、平成28年度の利用率41.4％で利用率が伸びたことが成果向上に結びついたと考えられます。					☀️ (向上)
		目標達成度				☀️ (達成)

基本事業05 健（検）診受診率の向上

指標	各種がん検診の受診率（69歳以下）〔子宮〕（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	48.4	47.0	42.4	50	☁️ (横ばい)
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による）	(％)				対 前年度
	（状況）平成28年度の受診率は42.4％で、平成27年度との比較では4.6ポイント低下、総合計画基準値と比較しても1.5ポイント低下しています。 （原因）平成28年度は前年度同様に国の補助制度を利用し無料クーポン券の配布対象者を拡大しました。利用率は前年度より上昇しましたが、受診率は減少しました。県平均の受診率は49.5％で県平均より低い状況となっています。20歳前半の受診率が低くなっていることが原因と考えられます。					☔️ (低下)
		目標達成度				■■■ (中)

基本事業06 歯と口腔の健康づくりの推進

指標	定期的に歯科医院等で歯石除去や歯面清掃を受けている市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	22.1	24.9	27.0	30	☀️ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	（状況）平成29年度は27.0％で、前回調査より2.1ポイント向上し、順調に推移しています。 （原因）平成29年度の市民アンケートでは、前回低かった20～29歳も11.4％から23.3％と11.9ポイント向上し、少しずつですが、歯と口腔の健康に対する意識が上がっています。					☀️ (向上)
		目標達成度				■■■ (中)

基本事業06 歯と口腔の健康づくりの推進

指標	歯間部清掃用具（デンタルフロスや歯間ブラシ等）を使用している市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	33.1	36.2	38.3	35	☀️ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	（状況）平成29年度は38.3％で、前回調査より2.1ポイント向上し、目標値35.0％をさらに高進しています。 （原因）市民アンケートから、女性の使用者が前年度より更に3.2ポイント増えたことが向上に繋がったと考えられます。地区別で見た場合、安田地区が33％と他地区よりも低い傾向が続いています。					☀️ (向上)
		目標達成度				☀️ (達成)

政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 03 生涯スポーツの充実

あるべき姿

多くの市民がスポーツに親しんでいます。

■ 施策の成果状況と評価

指標	週1回以上、スポーツに親しんでいる市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	13.4	13.0	13.6	20	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	(状況) 平成29年度は13.6％で、対前年度0.6％ポイント向上しましたが、統計誤差の範囲であり、横ばいの状況です。 (原因) 昨年同様30年代の数字が10.2％と低い。					☁ (横ばい) 目標 達成度 ■■■ (低)

■ 基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生涯スポーツ施設の利用促進

指標	生涯スポーツ施設の満足度（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	78.3	78.7	77.5	85	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				☁ (横ばい)
	（状況）平成29年度は77.5%で、対前年度1.2ポイント低下しましたが、統計誤差の範囲であり横ばいです。 （原因）年齢別に見ると、40歳代から65歳代前半の働き盛り世代の満足度が低くなっています。必要な修繕を行い、各スポーツ施設の機能を維持していますが、他自治体の新しい施設や民間のトレーニングジムと比較されてしまうこともあると考えます。	(%)				☁ (横ばい)

基本事業01 生涯スポーツ施設の利用促進

指標	この1年間に生涯スポーツ施設を利用したことがある市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	12.2	13.2	15.1	15	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				☀ (向上)
	（状況）平成29年度は15.1%で、対前年度1.9ポイントと向上し、目標値の15%に達しています。単年度の結果としては横ばいであると思われます。 原因）過年度までの施策が浸透しつつあると思われます。	(%)				☀ (向上)

基本事業02 スポーツに触れ合う機会の提供

指標	子どもが適度な運動をしていると感じる中学生以下の子どもの持つ保護者の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	61.3	60.6	49.8	70	☂ (低下)
評価	授業以外で週2回以上運動しているか(基準値は平成27年)	(%)				☂ (低下)
	（状況）平成29年度は49.8%で、前回よりも10.8ポイント低下し、順調ではありません。 （原因）スポーツ少年団の加盟人数が平成28年度931人、平成29年度が889人で、42人減少し4.5ポイント低下で上記の数字までは低下しておりません。	(%)				☂ (低下)

基本事業02 スポーツに触れ合う機会の提供

指標	定期的に運動をしている中学2年生の割合（男子）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	92.7	92.6	96.4	98.3	☁ (横ばい)
評価		(%)				☁ (横ばい)
	（状況）平成29年度は96.4%で、対前年度3.8ポイント向上し、指標地の動きは改善しています。 （原因）市教育委員会の中学生男子アンケートで運動スポーツをすることが好きですか。の設問で好き（やや好き含む）と答えた割合が91.2%で2.9ポイント向上しました。	(%)				☁ (横ばい)

基本事業02 スポーツに触れ合う機会の提供

指標	定期的に運動をしている中学2年生の割合（女子）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	76.3	76.8	84.5	87.6	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は84.5%で前年度より7.7ポイント向上し、指標地は改善しています。 (原因) 市教育委員会の中学生女子アンケートで運動スポーツをすることが好きですか。の設問で好き（やや好き含む）と答えた割合が78.6%で10.3ポイント向上しました。					(対前年度)
						(高)

基本事業02 スポーツに触れ合う機会の提供

指標	定期的に運動をしている小学5年生の割合（男子）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	92.9	90.0	93.7	94.5	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は93.7%で、たいぜんねんど対前年度3.7ポイント向上し、指標地の動きは改善しています。 (原因) 市教育委員会の小学生男子アンケートで運動スポーツをすることが好きですか。の設問で好き（やや好き含む）と答えた割合が91.9%で3.8ポイント向上しました。					(対前年度)
						(高)

基本事業02 スポーツに触れ合う機会の提供

指標	定期的に運動をしている小学5年生の割合（女子）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	79.5	85.3	88.2	91.7	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は88.2%で、対前年比2.9ポイント向上し、指標の動きは改善しています。対前年度2.9%増であるが統計誤差範囲で横ばいと考えます。 (原因) 市教育委員会の小学生女子アンケートで運動スポーツをすることが好きですか。の設問で好き（やや好き含む）と答えた割合が93.3%で4.5ポイント向上しました。					(対前年度)
						(高)

基本事業02 スポーツに触れ合う機会の提供

指標	スポーツ講座・教室・大会の年間参加者数（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	10,756	12,270	19,255	10,100	(向上)
評価	(状況) 平成29年度は19,255人で、対前年度56.9ポイント（6,985人）向上し、総合計画開始時点からほぼ倍増し、目標値の10,100人を大きく超えている状況です。 (原因) 総合型クラブが主催する、キッズスポーツ教室が数年前から事業展開しており、大きな増加の原因となっています。					(対前年度)
						(達成)

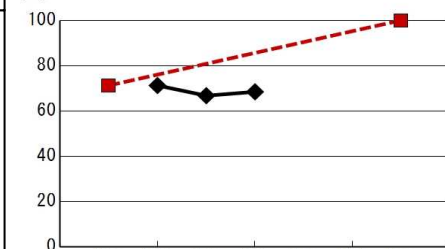
政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 04 地域福祉の推進

あるべき姿

住民同士で相互扶助ができていると思う市民が増えています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	住民同士で相互扶助ができていると思う市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	71.2	66.7	68.4	100	
基準値は、初取得の平成27年度の値		(％)				(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は68.4%で、昨年調査から1.7ポイント増加しましたが、統計誤差の範囲と考えており横ばいと評価します。目標達成には、なお相当な努力が必要です。 (原因) 性別では男性が68.5%、女性が68.3%で差はなく、地域別では水原地区が最も高く68.3%。また、年代別では20代76.6%、30代72.4%、40代67.3%、50代68.0%、60代65.0%、70代以降が67.8%で、20代30代が高くなりました。近所で見守りが必要な方の有無が分からないと答えた割合が54%であるなど、近所とのかかわりの希薄化が背景にあると思われます。					対 前年度
						 (横ばい) 目 標 達 成 度  (低)

■ 基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域福祉の担い手の育成

指標	阿賀野市ボランティアセンターへの登録人数（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	1,178	1,426	1,443	1,400	☀️ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は1,443人で、平成28年度より17人の微増で、総合計画基準値との比較では480人増加し、目標の1,400人を達成しています。 (原因) 増減の原因と思われるものは、特にありません。					☀️ (向上)
						☁️ (横ばい)
						🏰 (達成)

基本事業01 地域福祉の担い手の育成

指標	この1年間に福祉分野のボランティア活動に参加したことがある市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	4.1	3.5	2.9	7	☔️ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					☁️ (横ばい)
	(状況) 平成29年度は2.9％で、前回調査より0.6ポイント低下しましたが、統計誤差のはんいであり、横ばいと考えます。 (原因) 年代別では、20代0.8％、30代1.1％、40代3.3％、50代2.3％、60代3.7％、70代4.7％と年代を増すごとに参加者が増える傾向にあります。このほか、ボランティア参加者数は増加していますが、生涯学習や学校教育、防犯分野への参加が増加したため福祉分で低下したと考えられます。					🏰 (達成)
						■ (低)

基本事業01 地域福祉の担い手の育成

指標	社会福祉協議会によるボランティア活動活性化年間活動件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	23	27	30	25	☀️ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は30件で、平成28年度より3件増加し、総合計画基準値からも10件増加しており、目標を達成している状況です。 (原因) 社会福祉協議会による市協議会としてのボランティア活動の活性化に向けた講習会・検討会の開催や、県協議会事業等の積極的な誘致により、件数が増加したものです。 また、講演会によっては保育ルームの設置や手話通訳を準備するなど、参加者が参加しやすい環境を整えていることも活動の活性化につながっているものと考察されます。					☀️ (向上)
						🏰 (達成)

基本事業02 地域で見守り合う仕組みづくり

指標	近所で見守りが必要な人の存在を知っている市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	49	46.2	46.0	54	☁️ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					☁️ (横ばい)
	(状況) 平成29年度は46.0％で、前回調査より0.2ポイント低下していますが、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 (原因) 地区別では笹神地区が52.9％で高いです。また、居住年数別では、20年未満では10～30％以下と低く、生まれてからずっと住んでいる方の51.1％が最も高くなっており、居住年数が長くなるにつれて割合は高くなっています。 統計誤差の範囲内ですが、新規居住者が積極的に地域社会へ関わらないことが影響し、ご近所付き合いや連帯感の希薄化にもつながっています。					🏰 (達成)
						■ (低)

政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 05 セーフティネットの推進

あるべき姿

自立に困難を抱える人が、セーフティネットによって安心して生活を送っています。

■ 施策の成果状況と評価

■ 基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生活困窮者自立支援の推進

指標	支援により就労した人員数（累計）（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	11	23	27	24	☀ (向上)
評価	基準値は平成27年度単年の実績値	(人)				対 前年度
	（状況）平成29年度は4件で、平成28年度より8件減少しています。 （原因）新規の相談件数は103件あり、前年度より20件減少しました。相談の内訳（重複あり）は、健康関連34件、介護関連6件、家族関係37件、収入関連53件、未就労21件等となっており、未就労により生活困難を抱える相談者に対して、個々の状況を聞き取り就労につながる対応をした結果、4人が就労しました。 有効求人倍率も高い状況であるため、自ら就労先を決めていることが昨年度より減少した要因の一つと考えられます。					☔ (低下) 目標 達成度 🏠 (達成)

基本事業01 生活困窮者自立支援の推進

指標	問題を解決できた件数（累計）（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	33	73	87	72	☀ (向上)
評価	基準値は平成27年度単年の実績値	(件)				対 前年度
	（状況）平成29年度は14件で、平成28年度より26件減少していますが、累計では87件となっており目標値72件を15件上回り目標を達成しています。 （原因）平成27年度からの新規事業であるため、目標値の妥当性を考慮し、引き続き指標値の向上に努めてまいります。					☀ (向上) 目標 達成度 🏠 (達成)

基本事業02 生活保護制度の適正な実施

指標	生活保護率（‰）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	6.71	6.76	今後取得		
評価	社会情勢に左右されるため、目標値は設定しません。	(‰)				(比較不可)
	（状況）平成28年度は6.76‰で、平成27年度より0.05ポイントあがっています。平成29年度の実績は12月に公表予定です。 （原因）新規保護世帯数が39件、就労による自立件数が10件、死亡による廃止件数が9件となっています。現在保護を受けている世帯の構成としては、就労可能世帯が40世帯、高齢者の生活保護世帯が101世帯、障害者の生活保護世帯が42世帯となっており、全体の半数近くを高年齢世帯が占めているのが大きな要因となっています。					対 前年度 (比較不可) 目標 達成度 (---)

政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 06 防災減災体制の充実

あるべき姿

安心して暮らせる環境が整備されています。

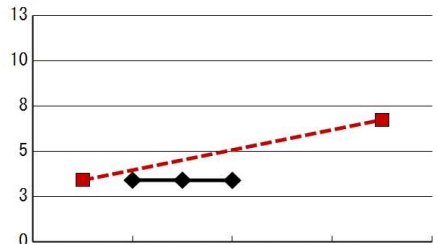
■ 施策の成果状況と評価

指標	災害死傷者数（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【危機管理課】	3	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) H29年度の災害死傷者数は0人でした。 (原因) 災害に繋がる台風の直撃や大雨の被害がなかったためです。	(人) 				対 前年度 ☀ (向上) 目標 達成度 ☀ (達成)

指標	人口1万人当たりの火災発生件数(出火率)（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【消防本部】	2.0	4.2	2.3	2.7	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年は2.3件で、昨年の4.2件と比べて54%に減少しています。 (原因) 火災件数が昨年の18件から10件に減少したため出火率が低下したものです。ストーブが原因の火災が5件から2件に減少しています。	(件) 				対 前年度 ☀ (向上) 目標 達成度 ☀ (達成)

■ 基本事業の成果状況と評価

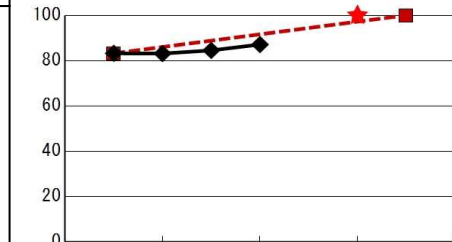
基本事業01 防災減災意識の高揚

指標	災害に備え家庭で実践している事項数（平均）（項目）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																							
	【危機管理課】	3.53	3.53	3.52	7	 (横ばい)																							
評価	全13項目での平均実施項目（基準値は平成27年度取得）	(項目)																											
	（状況）全13項目の平均実施項目は、平成29年度は3.52項目となり、前回調査から横ばいの状況です。 （原因）「災害発生に備え水や食料を準備している」が3.9%、「安全安心メールに登録している。」が1.1%増加し、昨年度20%未満であった項目数が8から7となりましたが、「避難する際に隣近所の助け合いが必要であることを知っている」が 3.0%、「災害広報ダイヤルの電話番号を知っている」が 0.7%と数値が下降しており、啓発不足によるものと思われます。	 <table border="1"><caption>Graph Data</caption><thead><tr><th>Year</th><th>Actual Value</th><th>Target Value</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>3.53</td><td>-</td></tr><tr><td>H27</td><td>3.53</td><td>-</td></tr><tr><td>H28</td><td>3.53</td><td>-</td></tr><tr><td>H29</td><td>3.52</td><td>-</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>H32</td><td>-</td><td>7.00</td></tr></tbody></table> 対 前年度  (横ばい) 目 標 達成度  (低)					Year	Actual Value	Target Value	H26	3.53	-	H27	3.53	-	H28	3.53	-	H29	3.52	-	H30	-	-	H31	-	-	H32	-
Year	Actual Value	Target Value																											
H26	3.53	-																											
H27	3.53	-																											
H28	3.53	-																											
H29	3.52	-																											
H30	-	-																											
H31	-	-																											
H32	-	7.00																											

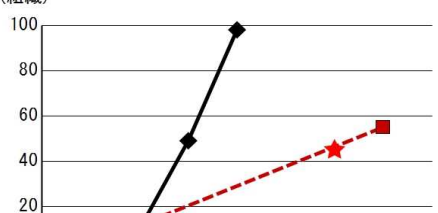
基本事業01 防災減災意識の高揚

指標		防災訓練参加者数（市及び自主防災組織等の訓練）（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																								
		【危機管理課】	653	1,796	1,992	1,500	☀️ (向上)																								
評価		（状況）平成29年度は1,992人で、平成28年度よりも196人増加し、目標値を大きく超えて達成しています。 （原因）市地域防災訓練（818人）の参加者が増加したのが原因です。	（人） <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>653</td><td>-</td></tr><tr><td>H27</td><td>1,796</td><td>-</td></tr><tr><td>H28</td><td>1,992</td><td>-</td></tr><tr><td>H29</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>H32</td><td>-</td><td>1,500</td></tr></tbody></table>				年度	実績値	目標値	H26	653	-	H27	1,796	-	H28	1,992	-	H29	-	-	H30	-	-	H31	-	-	H32	-	1,500	☀️ (向上) 対 前年度 ☀️ (向上) 目 標 達成度 🏰 (達成)
年度	実績値	目標値																													
H26	653	-																													
H27	1,796	-																													
H28	1,992	-																													
H29	-	-																													
H30	-	-																													
H31	-	-																													
H32	-	1,500																													

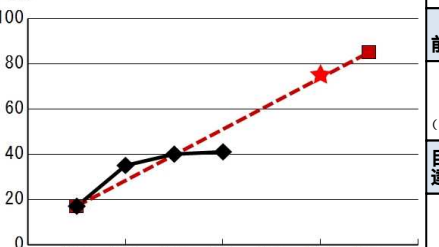
基本事業02 地域防災力の強化

自主防災組織に加入している世帯の割合（％）		実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																									
指標	【危機管理課】	83.1	84.5	87.1	100	 (横ばい)																									
評価	（状況）平成29年度は87.1％で、平成28年度から2.6ポイント伸びましたが、組織率は85％を超えて横ばいの状況です。 ・組織済 236自治会(85.2％) 12,377世帯(87.1％) ・平成29年度新規組織化自治会はなし （原因）組織済自治会への新規加入世帯の増加により伸びたものです。	(％)  <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>83.1</td><td></td></tr><tr><td>H27</td><td>84.5</td><td></td></tr><tr><td>H28</td><td>87.1</td><td></td></tr><tr><td>H29</td><td></td><td></td></tr><tr><td>H30</td><td></td><td></td></tr><tr><td>H31</td><td></td><td></td></tr><tr><td>H32</td><td></td><td>100</td></tr></tbody></table>					年度	実績値	目標値	H26	83.1		H27	84.5		H28	87.1		H29			H30			H31			H32		100	対 前年度
		年度	実績値	目標値																											
H26	83.1																														
H27	84.5																														
H28	87.1																														
H29																															
H30																															
H31																															
H32		100																													
		 (横ばい)	目 標 達成度	 (低)																											

基本事業02 地域防災力の強化

指標		防災訓練を実施した自主防災組織及び自治会数（組織）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
			10	49	98	55	 (向上)
			(組織)				
評価		（状況）平成29年度は98組織で、平成28年度より49組織増え、目標値を大きく超えて達成しています。 （原因）防災意識の向上と市防災訓練への参加自治会の増加によるものと思われます。					対 前年度  (向上) 目 標 達成度  (達成)

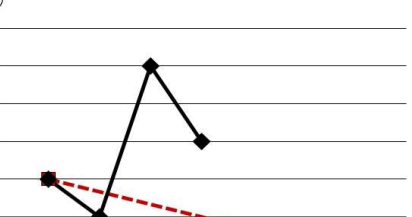
基本事業02 地域防災力の強化

指標	避難行動要支援者支援計画を策定した自主防災組織及び自治会数（組織） 【危機管理課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		35	40	41	85	 (向上)
評価	（状況）平成29年度は41自治会と、平成28年度より1組織増加しましたが、横ばいの状況となりました。 （原因）防災訓練や防災塾などにより避難訓練実施組織は増加し、住民の意識は向上していると思われますが、要支援者支援計画策定までの必要性を感じていないことが伸び悩みの原因と思われます。	（組織） 				対 前年度
						 (横ばい) 目 標 達成度  (低)

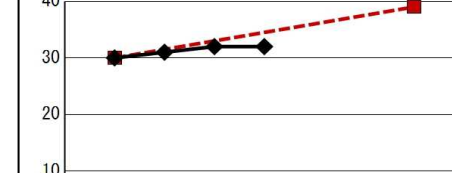
基本事業03 消防団体制の強化

消防団員の充足率（％）		実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値	
指標	【消防本部】	95.6	95.2	95.3	100	 (横ばい)	
評価	（状況）平成29年度は95.3%で、平成28年度から0.1ポイント向上しましたが、横ばいの状況です。定員810人に対する欠員が38人、定員割れの部が76部中28部あり、充足率が前年比で増加した部は12部、減少した部は13部です。充足率が最大の部は140.0％、最小の部は45.5%となっています。 （原因）各部の充足率の開きは、勧誘の仕方に違いがあることなどから生じていると思われます。						対 前年度
							 (横ばい)
価							目 標 達成度
							 (低)

基本事業03 消防団体制の強化

消防団車両・装備の出動時トラブル・不具合件数（件）		実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
指標	【消防本部】	1	5	3	0	 (低下)
評価	（状況）平成29年度は3件で、平成28年度より2件減少していますが、年間に数件発生する状況が続いています。3件の内訳は、ポンプの充電コードプラグの損傷1件、車の自損事故と物損事故が各1件となっています。 （原因）毎月の点検・取扱い確認や、走行時の安全確認が図れていなかったものです。	(件) 				対 前年度
						 (向上)
						目 標 達成度
						 (低)

基本事業04 災害時支援体制の確立

指標		実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
自治体及び事業者等との災害時応援協定締結数（組織） 【危機管理課】		31	32	32	39	 (向上)
評価	（状況）平成29年度の新規締結数は0件で、締結済件数は32件 なっています。32件の内訳は、食料品・飲料水等の物資供給14 件、自治体等の相互応援6件、医療救護活動2件、応急対策応援 その他10件となります。 （原因）平成29年度は、新規締結に向けた積極的な取組を行わ なかったためです。					対 前年度  (横ばい)
						目 標 達成度  (低)

指標	県の備蓄指針に対する充足率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【危機管理課】	89.9	95.2	101.5	100	☀ (向上)
評価	（状況）平成29年度の充足率は101.5%となり、目標値を達成しました。 （原因）毛布・主食・副食の購入により、充足率を達成したものです。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 🏠 (達成)

指標	指定避難所の耐震化率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																								
	【危機管理課】	80.4	84.4	84.8	82.2	☀ (向上)																								
評価	（状況）平成29年度末で84.8%となり、対前年度0.4ポイントの上昇となりました。なお、目標値は平成28年度で既に達成しています。 （原因）避難所1箇所を改修により、新たに耐震化したためです。	<table border="1"> <caption>指定避難所の耐震化率（％）実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値（％）</th> <th>目標値（％）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>80.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>84.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>84.8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>84.8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>-</td> <td>82.2</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値（％）	目標値（％）	H26	80.4	-	H27	84.4	-	H28	84.8	-	H29	84.8	-	H30	-	-	H31	-	-	H32	-	82.2	対 前年度 ☀ (向上)
	年度	実績値（％）	目標値（％）																											
H26	80.4	-																												
H27	84.4	-																												
H28	84.8	-																												
H29	84.8	-																												
H30	-	-																												
H31	-	-																												
H32	-	82.2																												
						目 標 達成度 🏠 (達成)																								

指標	木造住宅の耐震化率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																								
		73.1	73.9	74.8	81	☀ (向上)																								
評価	（状況）平成29年度は74.8％で、前年度より0.9ポイント向上し、耐震化率は徐々に上昇しています。 （原因）耐震化への取組として、無料の耐震診断と耐震設計、耐震改修では費用の一部を補助しています。別事業である住宅取得支援による建替えも耐震化率向上の一因と思われます。	<table border="1"> <caption>耐震化率の推移と目標</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値（％）</th> <th>目標値（％）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>73.1</td> <td>73.1</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>73.9</td> <td>73.9</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>74.8</td> <td>74.8</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>-</td> <td>81</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値（％）	目標値（％）	H26	73.1	73.1	H27	73.9	73.9	H28	74.8	74.8	H29	-	-	H30	-	-	H31	-	-	H32	-	81	対 前年度 ☀ (向上)
		年度	実績値（％）	目標値（％）																										
H26	73.1	73.1																												
H27	73.9	73.9																												
H28	74.8	74.8																												
H29	-	-																												
H30	-	-																												
H31	-	-																												
H32	-	81																												
						目 標 達成度 ■■■ (低)																								

指標	床上・床下浸水以上の被害に遭った家屋数（棟）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																								
	【危機管理課】	0	0	0	0	☀ (向上)																								
評価	（状況）平成29年度は0棟でした。平成27年度から0棟の状況が続いています。 （原因）平成29年度も被害を及ぼす大規模災害がなかったためです。	(棟) <table border="1"> <caption>実績値と目標値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (棟)</th> <th>目標値 (棟)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (棟)	目標値 (棟)	H26	6	6	H27	0	-	H28	0	-	H29	0	-	H30	-	-	H31	-	-	H32	0	0	対 前年度
		年度	実績値 (棟)	目標値 (棟)																										
H26	6	6																												
H27	0	-																												
H28	0	-																												
H29	0	-																												
H30	-	-																												
H31	-	-																												
H32	0	0																												
						目 標 達成度																								
						☀ (向上)																								
						🏠 (達成)																								

基本事業07 防火意識の高揚

指標	住宅用火災警報器の設置率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【消防本部】	79	81	79	86	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は79%で、平成28年度に比べて2ポイント減少とほぼ横ばいです。 (原因) 住宅用火災警報器の効果や重要性をイベント、広報誌、ホームページ掲載などで広く住民への周知に力を入れていますが、無作為に100戸抽出調査による誤差もあるものと考えられます。平成30年度は全戸訪問調査を実施します。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達成度
						(低)

基本事業07 防火意識の高揚

指標	初期消火率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【消防本部】	78	78	70	88	(低下)
評価	(状況) 平成29年は70%で、昨年より8ポイント低下しました。 (原因) 10件の火災のうち3件は初期消火を実施しませんでした。理由として深夜の時間帯であったこと、近くに消火に使用する道具がなかったこと、火災が発生したことに気が付かなかったことが考えられます。					対 前年度
						(低下)
						目 標 達成度
						(低)

基本事業08 応急手当の普及

指標	市民による蘇生処置実施率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【消防本部】	59.3	58.1	52.4	95	(横ばい)
評価	指標値は1～12月の暦年でカウント (状況) 平成29年は52.4%で、昨年より5.7ポイント低下しており順調ではありません。 (原因) 119番通報時に救命手当が必要な場合はその方法を口頭で伝えていますが、救命手当を行うことに躊躇して手当が行われないことが原因と考えます。					対 前年度
						(低下)
						目 標 達成度
						(低)

政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 07 防犯対策の充実

あるべき姿

犯罪のない安全なまちになっています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	人口1万人当たりの犯罪発生件数（件） 【総務課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		43.5	38.5	37.1	46.9	☀ (向上)
評価	指標値は1～12月の暦年でカウント	(件)				対 前年度
	(状況) 平成29年は37.1件で、平成28年より1.4件減少し、総合計画基準値と比較しても16.7件減少し、目標を達成している状況です。 (原因) 犯罪種別ごとの発生件数を平成28年と比較すると、窃盗犯が3件減の115件、風俗犯が3件減の1件、総数では、8件減の158件でした。なお、最も多い窃盗犯については、侵入盗は23件減少したものの、万引きなどの非侵入盗は21件増加しました。					☀ (向上) 目標 達成度 🏰 (達成)

■ 基本事業の成果状況と評価

基本事業01 防犯意識の高揚

指標	自主防犯団体数（累計）（団体）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	34	35	34	41	☂ (低下)
評価	(状況) 平成29年度は34団体で、平成28年度より1団体減少、総合計画基準値から1団体減少となりました。 (原因) 平成29年度は、平成28年度から活動を休止していた団体が解散したことから減少となりました。地域によっては、高齢化などにより活動が難しくなっている状況にありますが、団体の設立に向け、粘り強く働きかけていく必要があります。					☂ (低下)
						☂ (低下)

基本事業01 防犯意識の高揚

指標	自主防犯団体の延べ活動従事者数（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	7,664	8,080	7,927	13,000	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は7,927人で、平成28年度より153人減少しました。総合計画基準値との比較では761人増加し、増加傾向で推移しているものの、目標値の6割程度の実績に留まり、順調ではありません。 (原因) 自治会などの団体の従事者数は横ばいであったものの、事業所など広域的に活動している団体の一部において活動が停滞したことが従事者数減少の要因と思われます。また、平成29年度に新たに設立された団体はなく、活動従事実人数が増加していないことが、目標達成度が低く推移している要因となっています。					☂ (低下)
						☂ (低下)

基本事業01 防犯意識の高揚

指標	防犯対策として実践している事項数（平均）（項目）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	3.15	3.18	3.13	7	☁ (横ばい)
評価	全13項目での平均実施項目（基準値は平成27年度取得）					☁ (横ばい)
	(状況) 市民アンケート結果では、13項目のうち平成29年度は3.13項目で、平成28年度より0.05項目減少していますが、統計誤差の範囲でほぼ横ばいと考えられます。 (原因) 防犯対策で実践していることで最も多いのが「自宅を出る際に戸締りを確認している」で、次いで「外出するときは、家族などに行き先を伝えている」「夜間の（歩行での）外出は、なるべく控えている」の順となっています。また、年代別では、70歳代が3.70項目と最も多く、50歳代が2.90項目と最も低くなっています。					☁ (横ばい)

基本事業02 防犯設備の整備充実

指標	防犯灯のLED化実施率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【建設課】	8.9	13	24.9	30	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は24.9％で、平成28年度より約12％増加しています。 (原因) LED防犯灯補助金制度によるLED化の促進が功を奏し、積極的に自治会が交換したことが要因と考えます。					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業03 消費者に対する防犯対策の推進

指標	市消費者相談窓口への消費生活に係る犯罪と疑われる事案の相談件数 (件) 【市民生活課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																	
		22	18	35		 (低下)																	
評価	本指標は成果ではなく活動推移を見るものです。 (状況) 平成29年度は35件で、平成28年度より17件増加、総合計画基準値より25増加で推移しています。 (原因) 35件の内訳は、架空請求が30件、ワンクリック請求が2件、不当請求3件となっています。増加の原因は、相談窓口の周知が浸透してきたことなどがあげられます。	 <table><caption>市消費者相談窓口への相談件数推移 (件)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>10</td></tr><tr><td>H27</td><td>22</td></tr><tr><td>H28</td><td>18</td></tr><tr><td>H29</td><td>35</td></tr><tr><td>H30</td><td></td></tr><tr><td>H31</td><td></td></tr><tr><td>H32</td><td></td></tr></tbody></table>				年度	実績値	H26	10	H27	22	H28	18	H29	35	H30		H31		H32		対 前年度	目 標 達成度
		年度	実績値																				
H26	10																						
H27	22																						
H28	18																						
H29	35																						
H30																							
H31																							
H32																							
						 (低下)  (低)																	

基本事業04 青少年の健全育成

少年の年間犯罪・補導件数（件）		実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																
指 標	【生涯学習課】	14	3	14	➡	☁ (横ばい)																
評 価	（状況）過去5年間10件を超えており、昨年度が3件と極端に少なかったため、平成29年度が増加したのではなく横ばい状態です。 （原因）達成数値には届きませんが、取り組み効果は出ていると思われるのでこのまま継続します。	(件) <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>14</td></tr><tr><td>H27</td><td>14</td></tr><tr><td>H28</td><td>3</td></tr><tr><td>H29</td><td>14</td></tr><tr><td>H30</td><td></td></tr><tr><td>H31</td><td></td></tr><tr><td>H32</td><td></td></tr></tbody></table>					年度	実績値	H26	14	H27	14	H28	3	H29	14	H30		H31		H32	
	年度	実績値																				
H26	14																					
H27	14																					
H28	3																					
H29	14																					
H30																						
H31																						
H32																						
		対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■■ (中)																				

政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 08 交通安全対策の推進

あるべき姿

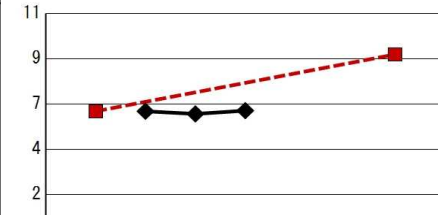
交通事故が少なくなり、死傷者数が減少しています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	人口 1 万人当たりの交通事故発生件数（件） 【総務課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		22.3	16.3	17.3	22.3	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年は17.3件で、平成28年と比較すると1.0件の増加に転じましたが、目標値に達している状況です。なお、県平均の19.0件(平成28年:20.5件)を下回っているものの、市町村別では、30市町村中21位となっています。 (原因) 発生地別の事故件数をみると、交差点事故が平成28年の32件であったのに対し、平成29年は46件と43.8%増加し、全事故の63.0%を占めています。交差点における安全確認を徹底する取り組みが必要です。	(件)				対 前年度
		(達成)				☀ (向上)
指標	交通事故負傷者数（人） 【総務課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		124	95	90	124	☀ (向上)
評価	指標値は 1 ～ 12 月の暦年でカウント (状況) 平成29年は90人で、平成28年より5人、総合計画基準値より34人減少し、目標値に達している状況です。 (原因) 平成29年の高齢者の負傷者数は23人で、平成28年と比較すると横ばいでしたが、全負傷者数に占める割合は、平成28年の24.2%から平成29年では25.6%と上昇しました。一方、子どもの負傷者数は、平成28年の6人と比べ、3人減少しました。高齢者の交通事故防止を重点とした対策を推進していく必要があります。	(人)				対 前年度
		(達成)				☀ (向上)
指標	交通事故死者数（人） 【総務課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		6	0	1	0	☀ (向上)
評価	指標値は 1 ～ 12 月の暦年でカウント (状況) 平成29年は、1件の交通死亡事故が発生し、死者数1人となり、目標を達成することができませんでした。 (原因) 平成29年は、自転車に乗った高齢者が水路に転落し死亡するという事故が発生しました。高齢者の交通事故防止を重点とした対策を推進していく必要があります。	(人)				対 前年度
		(低)				☀ (向上)

■ 基本事業の成果状況と評価

基本事業01 交通安全意識の高揚

指標	交通安全のため実践している事項数（平均）（項目）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																								
	【総務課】	6.24	6.11	6.27	9	 (横ばい)																								
評価	全11項目での平均実施項目（基準値は平成27年度取得）	(項目)																												
	（状況）平成29年度は6.27項目で、前回調査より0.16項目（2.6%）増加しました。市民アンケートにより実施項目を把握していますが、2.6%は統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 （原因）実施項目のうち、「運転席・助手席のシートベルト着用」など90%を超える項目がある一方、「夜間の反射材利用」など40%に届いていない項目が4項目あります。道路の横断に横断歩道を利用する、青信号でも左右を確認することは年齢が上がるほど割合が増えています。一時停止の順守（83.7%）と飲酒運転をしないさせない（78.6%）ことについてはさらに数値を上げていく必要があります。	 <table><caption>交通安全意識の高揚 - 実績値と目標値</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>6.24</td><td>-</td></tr><tr><td>H27</td><td>6.11</td><td>-</td></tr><tr><td>H28</td><td>6.27</td><td>-</td></tr><tr><td>H29</td><td>6.27</td><td>-</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>H32</td><td>-</td><td>9</td></tr></tbody></table>					年度	実績値	目標値	H26	6.24	-	H27	6.11	-	H28	6.27	-	H29	6.27	-	H30	-	-	H31	-	-	H32	-	9
年度	実績値	目標値																												
H26	6.24	-																												
H27	6.11	-																												
H28	6.27	-																												
H29	6.27	-																												
H30	-	-																												
H31	-	-																												
H32	-	9																												
						対 前年度																								
						 (横ばい)																								
						目 標 達成度																								
						 (低)																								

基本事業01 交通安全意識の高揚

指標	市民が第1当事者となった事故件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																
	【総務課】	96	92	87	➡	☀ (向上)																
評価	指標値は1～12月の暦年でカウント	(件)																				
	（状況）平成29年は87件で、平成28年より5件減少、総合計画基準値より47件減少しており、減少傾向となっています。しかしながら、人口1万人当たりでは20.6件で、県内30市町村における順位は25位となっています。 （原因）高齢者が第1当事者となった人数は16人で、平成28年と比較すると8人減少し、免許保有者1万人当たりの県内30市町村における順位は11位となっています。高齢者が加害者となった事故が減少したことが要因と思われます。	<table><caption>交通安全意識の高揚 - 事故件数</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>96</td></tr><tr><td>H27</td><td>92</td></tr><tr><td>H28</td><td>87</td></tr><tr><td>H29</td><td>87</td></tr><tr><td>H30</td><td></td></tr><tr><td>H31</td><td></td></tr><tr><td>H32</td><td></td></tr></tbody></table>					年度	実績値	H26	96	H27	92	H28	87	H29	87	H30		H31		H32	
年度	実績値																					
H26	96																					
H27	92																					
H28	87																					
H29	87																					
H30																						
H31																						
H32																						
						対 前年度																
						☀ (向上)																
						目 標 達成度																
						🏰 (達成)																

基本事業02 交通安全施設の整備充実

指標	交通安全施設の新規整備率（平成28～32年度の整備計画）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																								
	【建設課】	81.5	75.7	76.9	90	 (横ばい)																								
評価	（状況）平成24年度から29年度までの交通安全施設（道路反射鏡）の要望箇所数は156箇所、うち新設設置した整備箇所数は120箇所で76.9%となっています。また、要望箇所数は減少（H28:18件、H29:8件）しました。 （原因）これまで要望箇所について対応してきたため、新規整備率が向上し、要望件数が減少したと思われます。	(%) <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>81.5</td><td>-</td></tr><tr><td>H27</td><td>75.7</td><td>-</td></tr><tr><td>H28</td><td>76.9</td><td>-</td></tr><tr><td>H29</td><td>76.9</td><td>-</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>H32</td><td>-</td><td>90</td></tr></tbody></table>				年度	実績値	目標値	H26	81.5	-	H27	75.7	-	H28	76.9	-	H29	76.9	-	H30	-	-	H31	-	-	H32	-	90	対 前年度
		年度	実績値	目標値																										
H26	81.5	-																												
H27	75.7	-																												
H28	76.9	-																												
H29	76.9	-																												
H30	-	-																												
H31	-	-																												
H32	-	90																												
						 (向上)																								
						目 標 達成度																								
						 (低)																								

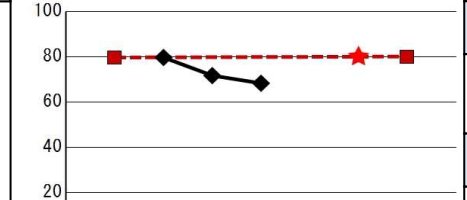
政策 02 子どもの育成支援の充実

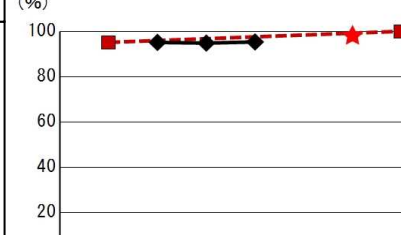
施策 01 子育て環境の充実

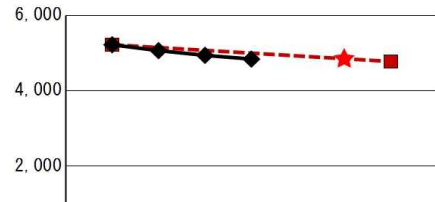
あるべき姿

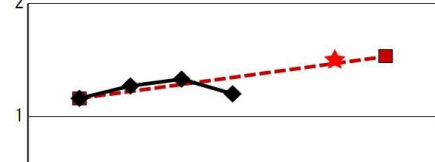
産む・育む等の子育て環境が整い、子どもたちがたくさん暮らすまちになっています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	子育てしやすい環境になっていると感じる市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	79.6	71.6	68.2	80	 (低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度
	（状況）平成29年度は68.2％で、前回調査より3.4ポイント低下しており統計の誤差の範囲内ですが、目標値にはなお12ポイントの大きな差が認められます。 （原因）男女別では、男性は女性より2.9％高く、年代別では、50歳代が77.8％と最も高くなっていますが、前回調査より0.5ポイント低下しています。また、20代から50代のすべての年代において低下しています。 市民のニーズが多様化する中、公園等子どもたちが遊ぶ場所、医療機関、公共交通機関の整備不足という意見が多いため、これらが要因と考えられます。					 (横ばい)
						目標 達成度
						 (低)

指標	この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	95.1	94.8	95.3	100	 (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度
	（状況）平成29年度は95.3%で、平成28年度より0.5ポイント向上しています。 （原因）年齢別では3～4か月児では96.1%、1歳6か月児では94.6%、3歳児では95.1%となっています。 指標値が上がった要因として、子育て支援制度を広報でお知らせしたことで、子ども医療費助成の対象児童の拡大や子育てと就労の両立を支援するための病児保育室、子育て支援センターにこにこ等、子育て支援事業が保護者に認識されてきたことが考えられます。					 (向上)
						目標達成度
						 (低)

指標	0～15歳未満の人口（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																
	【市長政策・市民協働課】	5,064	4,939	4,839	4,775	 (低下)																
評価	（状況）平成29年度は4,839人で、昨年度より100人減少、総合計画基準値からは380人減少となっていて、想定よりも減少幅が大きくなっています。 （原因）平成28年度に14歳であった397人が抜け、平成29年度は0歳が237人であったことから、出生数の差が減少の原因です。出生数が400人程度でなければ減少傾向が数年続く可能性が高くなっています。	(人)  <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>人口(人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>5,064</td></tr><tr><td>H27</td><td>4,939</td></tr><tr><td>H28</td><td>4,939</td></tr><tr><td>H29</td><td>4,839</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td></tr><tr><td>H31</td><td>4,775</td></tr><tr><td>H32</td><td>4,775</td></tr></tbody></table>				年度	人口(人)	H26	5,064	H27	4,939	H28	4,939	H29	4,839	H30	-	H31	4,775	H32	4,775	対 前年度
		年度	人口(人)																			
H26	5,064																					
H27	4,939																					
H28	4,939																					
H29	4,839																					
H30	-																					
H31	4,775																					
H32	4,775																					
						 (低下)																
						目標 達成度																
						 (低)																

指標	合計特殊出生率（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策・市民協働課】	1.27	1.33	1.20	1.53	 (向上)
評価	（状況）平成29年度の速報値は1.20であり、平成28年度との比較では0.13減少し、総合計画基準値と比較すると、0.04減少しています。平成29年度の出生数は228人で、平成28年度の270人より42人減少、平成27年度の260人より32人減少しています。 （原因）昨年度に比べて出生数が42人も減少したことに加え、15～49歳までの女性人口が減少していることが原因です。	(人) 				対 前年度
						 (低下)
						目 標 達成度
						 (低)

■ 基本事業の成果状況と評価

基本事業01 未就学児・保護者の交流と不安軽減

指標	子どもを遊ばせる場所が十分にあると感じる保護者の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】		49.6	58.9	55.0	☀️ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値	(％)				対 前年度
	(状況) 平成29年度は58.9で、平成28年度より9.3ポイント上昇しており、総合計画目標を達成しました。 (原因) 1歳6か月児では63.9%、3歳児では53.9%となっており、年齢が大きくなるにつれ低下する傾向が見られますが、外遊びができる公園を整備したことや雨の日でも遊べる屋内施設支援センターにこにこを整備したことが増加の要因と考えられます。					☀️ (向上)
						目標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業01 未就学児・保護者の交流と不安軽減

指標	育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	87.0	71.1	77.7	90.0	☔️ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	(状況) 基準値の平成27年度より9.3ポイント低下していますが、平成28年度と比較して6.6ポイント向上しました。未就学児年齢別では、4か月で28.5ポイント、1歳6か月で3.2ポイント、3歳で0.9ポイント向上しています。 (原因) 4か月児で向上の割合が高い理由としては、子育てを開始して間もない対象者へ訪問などで個別に相談先を周知した結果と考えられます。1歳6か月児、3歳児で向上率が伸び悩んだ理由は行動に対する実際の対処方法がわからないことなどが要因と考えられます。					☀️ (向上)
						目標 達成度
						■■■ (低)

基本事業01 未就学児・保護者の交流と不安軽減

指標	子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	85.3	88.0	88.2	90.0	☁️ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	(状況) 平成28年度より0.2ポイント向上しました。平成28年度は全国平均88.9%、県平均87.8%であり、県平均より高い状況です。年齢別では4か月児89.7%、1歳6か月児96.9%、3歳児78.0%です。3歳児では3.9ポイント低下しました。 (原因) 3歳児で割合が低下していますが、就園している幼児も多く、にこにこのなどの支援センターを保護者と一緒に利用して、他の子と関わる場面を目にする事が少なくなっていることも要因と考えられます。					☁️ (横ばい)
						目標 達成度
						■■■ (中)

基本事業02 多様な保育サービスの充実

指標	特別保育の受入れができなかった人数（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	27	32	15	20	☀️ (向上)
評価		(人)				対 前年度
	(状況) 平成29年度は、15件受入れができませんでした。平成28年度より17件、基準値より13件減少しており、総合計画目標を達成しました。内訳は未満児保育4件、一時保育11件です。 (原因) 女性の就業率が上昇したため、未満児から保育サービスを受ける保護者が増加していますが、保育サービス提供側の保育施設の努力があることも要因と考えられます。一方で、慢性的な保育士不足により、年度途中における受入れが困難になっています。また、一時保育については、園行事と重なるような場合、受入れできないことになりました。					☀️ (向上)
						目標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 多様な保育サービスの充実

指標	この1年間に子どもを預かってもらえないことがあった保護者の割合（％） 【社会福祉課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		7.4	7.1	10.6	0	☂ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度 ☂ (低下)
	（状況）平成29年度は10.6%で、前回調査より3.5ポイント増加しており、順調とは言えません。 （原因）約8割の保護者が親族に預けることができるものの、残りの1割強の方は、「平日や休日の一時預かり（各保育施設やあがの子育て支援センターにここ）」などの保育サービス事業を知らないことが原因と考えられます。					目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業03 放課後の多様な過ごし方の提供

指標	放課後児童クラブ待機児童数（人） 【社会福祉課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		0	0	0	0	☀ (向上)
評価	（状況）待機児童数は総合計画開始以降、0人を維持しており、目標を達成しています。 （原因）学童保育施設は全9か所あり、定員数は414人となっており、預入れの基準を満たす方の需要に対する供給が整っているためです。なお、施設定員の関係で小3までしか受入れができないクラブが1か所ありますが、昼間、保護者が家庭にいない児童については受入れを行っています。					対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (達成)

基本事業03 放課後の多様な過ごし方の提供

指標	放課後の子どもの過ごし方に不満を持っていたり、困っている保護者の割合（％） 【社会福祉課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		35.2	44.0	40.2	25	☂ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度 ☀ (向上)
	（状況）平成29年度は40.2%で、前回調査より3.8ポイント減少しましたが、目標達成までは依然15ポイントの差があります。 （原因）不満理由として、居住地区によっては塾や公園、保育施設数に偏りがあることから、「塾や習い事をする場所が遠くて、子どもだけで通えない」が73.33%、「子どもたちが安全に遊べる場所が少ない」が65.1%となっていることが主な要因と考えます。					目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業03 放課後の多様な過ごし方の提供

指標	市が放課後に提供する教室・サービス利用者数（放課後児童クラブ延べ利用者数）（人） 【社会福祉課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		56,077	60,256	62,751	56,160	(比較不可)
評価	（状況）平成29年度は延べ62,751人の利用があり、前年度より2,495人（4.1%）増加、総合計画基準値との比較では16,481人（35.6%）増加しています。 （原因）子ども子育て支援新制度の施行により、小6までを受入れたこと、家族間でもプライバシーについて気を使う時代になり、多世代同居ではなく転居等による核家族世帯が増加したこと、経済の変化により保護者の勤務形態の多様化したこと等が増加した要因と考えられます。					対 前年度 (比較不可)
						目 標 達成度 (---) (---)

基本事業03 放課後の多様な過ごし方の提供

指標	市が放課後に提供する教室・サービス利用者数（放課後スクール、温故塾の年間児童・生徒数）（人） 【生涯学習課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		66	73	88	100	☀ (向上)
評価	（状況）平成29年度は88人で、昨年度より15人増加し、順調です。放課後スクールは実施会場を増やし、4会場6校を対象に実施しました（45人参加）。 温故塾についても会場を増やし、3会場4校を対象に実施しました（43人参加）。 （原因）増加した要因は、実施会場を増やしたことです。一方で、講師の確保が出来ていないことと、事務局体制が整わなかったことから、未開講、未対象校が残っています。	(人)				☀ (向上)
		目標達成度 (中)				☀ (向上)

基本事業04 母子の健やかな成長の支援

指標	妊婦健診未受診での出産数（人） 【健康推進課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		0	0	0	0	☀ (向上)
評価	（状況）妊婦健診未受診での出産数は、0人を維持しており、目標を達成しています。 （原因）妊婦健診受診券による健診費用の公費負担などの経済的支援は未受診者対策として有効と考えます。妊娠した方が届け出ることによって受診券が交付されるため、早期の妊娠届出につながっていると考えられます。また、中高生の性教育事業を継続して行い、妊婦健診の大切さや、望まない妊娠を防ぐ内容を含む性教育も成果の向上に結びついていると考えられます。	(人)				☀ (向上)
		目標達成度 (達成)				☀ (向上)

基本事業04 母子の健やかな成長の支援

指標	乳幼児健診平均受診率（％） 【健康推進課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		97.4	98.5	97.9	100	☁ (横ばい)
評価	（状況）平成29年度は97.9%で平成28年度より0.6ポイント低下しましたが、経年で見ても98%前後の受診率で推移しており横ばいです。健診ごとの受診率は4か月健診96.8%、10か月健診98.5%、1歳6か月健診97.8%、3歳児健診98.5%でした。 （原因）4か月児健診の受診率が低いのは未熟児等が病院で受診をしているためです。他の健診については未受診者への電話連絡や、個別通知の再発送で受診勧奨をしていることが98%前後の受診率を維持している要因と考えられます。なお、対象者数が少ないため、未受診者が1人でも数値の変動は大きいです。	(%)				☁ (横ばい)
		目標達成度 (低)				☁ (横ばい)

基本事業04 母子の健やかな成長の支援

指標	むし歯がない3歳児の割合（％） 【健康推進課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		86.2	87.1	88.0	85.4	☀ (向上)
評価	（状況）平成29年度は平成28年度に比べ、0.9ポイント向上し、総合計画基準値からは5.4ポイント向上していて、目標値を達成しています。 （原因）歯科保健健康教育などで、仕上げ磨きの必要性を理解している保護者やフッ化物の応用を継続している児童が増加し、かかりつけ歯科医院を持つ児童も増え、むし歯の無い児童が増加してきていると思われます。	(%)				☀ (向上)
		目標達成度 (達成)				☀ (向上)

基本事業05 地域子育て力の向上

指標	近所の子どもにあいさつなど声かけを行っている市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	75.1	76.9	78.2	80	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					☀ (向上)
	（状況）平成29年度は78.2%で、前回調査より1.3ポイント増加していますが、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 （原因）男性より女性の方が8.5%多く、年代別では、20歳代は43.6%にとどまっていますが、30歳代以上では7割を超えています。 子育て世代に限らず、地域で交通安全運動期間中や防犯活動、登下校時の安全安心見守り活動等において、子どもに声かけやあいさつを行っています。20歳代の若い世代では6割が声かけを行っていることが目標を達成できない要因と考えられます。					☀ (向上)

基本事業05 地域子育て力の向上

指標	この1年間に子育て行事に参加したことがある市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	37.9	38.2	51.2	38	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					☀ (向上)
	（状況）平成29年度は51.2%で、前回調査より13ポイント向上し、目標を達成している状況です。 （原因）アンケートの結果、子ども会行事等に参加したことがある市民の割合は、男性より女性の方が8.9%多く、年代別では20歳代は13.6%と低いものの、30歳40歳代の子育て世代では7割以上が行事等に参加しています。子育て世代に限らず、50歳代以上においても、町内会行事や防犯パトロールに参加する割合が高くなっていることが増加の要因と考えられます。					☀ (向上)

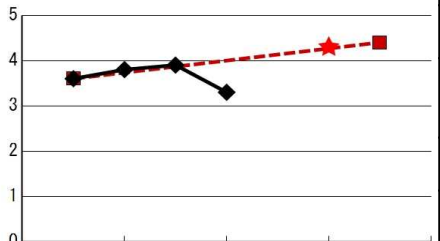
基本事業06 保護者負担の軽減

指標	3人目以降の保育料の無料化（千円）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】		8,624	7,197	➡	☔ (低下)
評価	表は、軽減している保育料の合計額					☔ (低下)
	（状況）平成29年度は対象者72人、年額7,197千円分の軽減を行い、昨年度からは1,427千円減少しています。 （原因）国基準の軽減幅が広がったため、市独自の軽減対象額が減ったものです。					☔ (低下)

基本事業06 保護者負担の軽減

指標	子どもが2人以下の世帯への医療費の助成（千円）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】		16,063	16,419	➡	☀ (向上)
評価	表は、助成した医療費の合計額					☀ (向上)
	（状況）平成29年度は16,419千円であり、昨年度よりも356千円増加しています。現在、県内では高校卒業よりも拡大しているところはありません。 （原因）高校卒業まで助成を拡大したことにより、保護者の負担軽減を図ったことによるものです。					☀ (向上)

基本事業07 結婚意識の向上

指標	婚姻率（人口千人当たり）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値														
	【市長政策・市民協働課】	3.8	3.9	3.3	4.4	 (低下)														
評価	（状況）平成29年度の概算値は3.3%、平成28年度と比較して0.6ポイント、総合計画基準値から0.3ポイント下回りました。平成29年度の婚姻数は142件で、平成28年度の165件より23件減少しました。 （原因）結婚に対してマイナスイメージを持つ独身主義者の増加や個人の収入格差、女性の社会進出等が原因です。	(%)  <table><caption>婚姻率推移表</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>3.8</td></tr><tr><td>H27</td><td>3.9</td></tr><tr><td>H28</td><td>3.9</td></tr><tr><td>H29</td><td>3.3</td></tr><tr><td>H31</td><td>4.3</td></tr><tr><td>H32</td><td>4.4</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (%)	H26	3.8	H27	3.9	H28	3.9	H29	3.3	H31	4.3	H32	4.4	対 前年度
						年度	実績値 (%)													
H26	3.8																			
H27	3.9																			
H28	3.9																			
H29	3.3																			
H31	4.3																			
H32	4.4																			
						 (低下)														
						目 標 達成度														
						 (低)														

政策 02 子どもの育成支援の充実

施策 02 学校教育の充実

あるべき姿

子どもたちが魅力ある学校で楽しく学ぶことにより、生きる力が育まれています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	全国学力・学習状況調査結果の標準化得点（児童）（点）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	99	100	99.5	101	☀ (向上)
	6年生全員の結果となります。					(向上)
評価	（状況）平成29年度は99.5点で、平成28年度より0.5ポイント低下、総合計画基準値との比較では0.5点向上しています。阿賀野市の児童の学力は、ほぼ全国平均と同じと考えます。 （原因）国語科が平成28年度より1点向上したのに対し、算数科が0.5点低下したことが要因です。平成27年度と比較すると国語科と算数科が共に0.5点向上しています。授業改善が進んでいる効果と考えます。					☀ (向上)
						☂ (低下)
						■ (低)

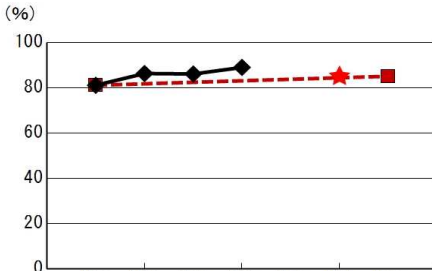
指標	全国学力・学習状況調査結果の標準化得点（生徒）（点）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	98	99	98	101	☁ (横ばい)
	3年生全員の結果となります。					(横ばい)
評価	（状況）平成29年度は98点で、平成28年度より1点低下し、総合計画基準値と同じでした。 （原因）国語科が平成28年度より0.5点、数学科は1点低下したことが要因です。しかし平成27年度と比較すると国語科は変わりありませんが、課題であった数学科は1点向上しています。数学科の向上は授業改善が進んでいる効果と考えます。					☂ (低下)
						☂ (低下)
						■ (低)

指標	学校生活が楽しいと感じる児童生徒の割合（児童）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	90.4	91.5	86.4	95	☂ (低下)
	6年生全員の結果となります。					(低下)
評価	（状況）平成29年度は86.4%で、平成28年度より5.1ポイントの低下、総合計画基準値との比較でも3.0ポイント低下していますが、全国平均と同じ割合です。 （原因）学校生活で大きく占める授業や人間関係の設問では、平成28年度より肯定的な回答が増えています。低下の要因としては、たくさんの教育活動が行われているなかで、一部の児童は窮屈さを感じているのではないかと推測されます。					☂ (低下)
						☂ (低下)
						■ (低)

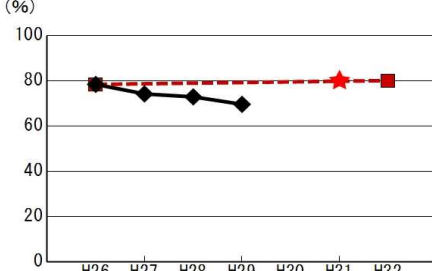
指標	学校生活が楽しいと感じる児童生徒の割合（生徒）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	85.1	82.2	78.8	90	☂ (低下)
	3年生全員の結果となります。					(低下)
評価	（状況）平成29年度では78.8%で、平成28年度より3.4ポイント、総合計画基準値より6.1ポイント低下しています。 （原因）学校生活の8割を占める授業で「授業が分かる」と回答する生徒が平成28年度より3.3ポイント低下していることから、学力低位の生徒にとっては、学校生活が楽しくないと思っていることが推測できます。					☂ (低下)
						☂ (低下)
						■ (低)

■ 基本事業の成果状況と評価

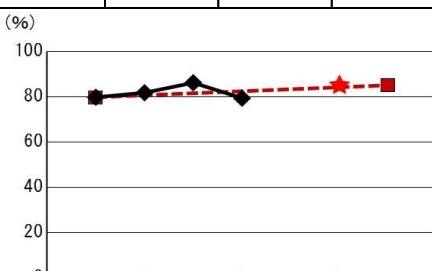
基本事業01 確かな学力の向上

指標	授業が分かる児童生徒の割合（児童）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	86.2	86.0	88.9	85	☀ (向上)
評価	6年生全員の結果となります。					☀ (向上)
	（状況）平成29年度は88.9%で、平成28年度より2.9ポイント向上し、総合計画基準値と比較しても7.9ポイント向上しています。目標を達成しています。 （原因）国語科で平成28年度より1.5ポイント、算数科で4.3ポイント向上しています。各校で児童全体の授業改善が進んでいる効果だと考えます。					☀ (向上)

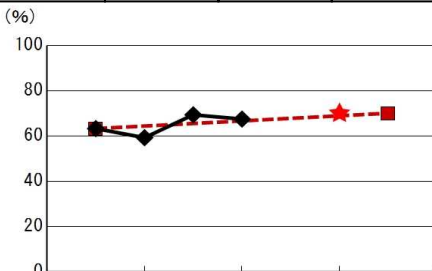
基本事業01 確かな学力の向上

指標	授業が分かる児童生徒の割合（生徒）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	74.1	72.8	69.5	80	☂ (低下)
評価	3年生全員の結果となります。					☂ (低下)
	（状況）平成29年度は69.5%で平成28年度より3.3ポイント低下、総合計画基準値と比較すると8.8ポイント低下しています。 （原因）「分かる」と回答した生徒の割合は、国語科では平成28年度より0.8ポイント向上しているのに対し、数学科では平成28年度より7.5ポイント低下していることが原因です。また学校によって大きな差があることも要因です。					☂ (低下)

基本事業01 確かな学力の向上

指標	1日1時間以上の家庭学習をしている児童生徒の割合（児童）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	81.7	86.1	79.3	85	☂ (低下)
評価	6年生全員の結果となります。					☂ (低下)
	（状況）平成29年度は79.3%で、平成28年度より6.8ポイント低下、総合計画基準値と比較すると0.4ポイント低下していますが、全国平均を14.9ポイント上回っています。 （原因）要因として各校の家庭学習プランニングタイムの実施が考えられます。1時間以上家庭学習する児童の割合が全国平均を上回っています。昨年度より下がった理由としては、1時間以上ゲームやスマートフォンでメールやインターネットをする児童の増加、スマートフォンを所持する児童の増加が考えられます。					☂ (低下)

基本事業01 確かな学力の向上

指標	1日1時間以上の家庭学習をしている児童生徒の割合（生徒）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	59.2	69.3	67.4	70	☁ (横ばい)
評価	3年生全員の結果となります。					☂ (低下)
	（状況）平成29年度は67.4%で、平成28年度から1.9ポイント低下しましたが、総合計画基準値と比較すると4.2ポイント向上しています。 （原因）各校の家庭学習プランニングタイムの実施により、総合計画基準値を上回る結果となっています。平成28年度より低下した理由としては、長時間ゲームやスマートフォンを使っている生徒が増えていることが考えられます。					☂ (低下)

基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	新体力テストにおける全種目の全国平均を上回る児童生徒の割合（児童）（％） 【学校教育課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対基準値
		65.5	71.2	67.2	70	☁ (横ばい)
評価	5年生全員の結果となります。 （状況）平成29年度は67.2%で平成28年度と比べて4.0ポイント減少しています。 （原因）男子児童が6ポイント減少しており、50メートル走、ソフトボール投げは全国平均値に達しない状況です。各学校で実態に応じた体育指導・保健指導計画が立案され全校体制で体力向上に努めています。					対前年度 ☂ (低下) 目標達成度 ■■■ (低)

基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	新体力テストにおける全種目の全国平均を上回る児童生徒の割合（生徒）（％） 【学校教育課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対基準値
		52.1	51.1	57.5	60	☀ (向上)
評価	2年生全員の結果となります。 （状況）平成29年度は57.5%で、平成28年度と比較して6.4ポイントの改善が見られました。 （原因）特に女子生徒が平成28年度の41.6%から55.8%に上昇し、14.2ポイントの大幅な改善が見られました。しかし男女ともに反復横とび、50メートル走が全国平均より大きく下回っています。昨年度まで体育授業における指導者と女子生徒の疎通に課題があり、中学校に対して繰り返しの指導を行いました。また体力テストの測定方法についても周知を図った結果と考えます。					対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 ■■■ (中)

基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	不登校率（児童）（％） 【学校教育課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対基準値
		0.33	0.39	0.44	0.3	☁ (横ばい)
評価	（状況）平成29度は0.44%で、平成28年度より0.05ポイント高くなりました。総合計画基準値よりわずかに0.02低い状況ではありますが、増加傾向にあります。 （原因）発達上の課題や、複雑な家庭環境等、解決が困難な状況も多く見られます。県の指針に従った個々の状況に応じた指導を重視し、不登校に至らない段階でのより丁寧なきめ細かな支援が重要であると考えます。なお、校内適応指導教室や白鳥ルームの活用を積極的に進めています。					対前年度 ☂ (低下) 目標達成度 ■■■ (低)

基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	不登校率（生徒）（％） 【学校教育課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対基準値
		3.34	3.15	3.96	2.5	☂ (低下)
評価	（状況）平成29度は3.96%で、平成28年度より0.81ポイント高くなりました。総合計画基準値との比較では、0.61ポイント増加しており、県平均（H28 2.88%）と比べても高い状況にあります。 （原因）発達上の課題や、複雑な家庭環境等、生徒ひとりでの解決が困難な状況も多く見られます。県の指針に従った個々の状況に応じた指導を重視し、不登校に至らない段階でのより丁寧なきめ細かな支援が重要であると考えます。校内適応指導教室や白鳥ルームの活用を積極的に進めています。					対前年度 ☂ (低下) 目標達成度 ■■■ (低)

基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	基本的な生活習慣ができている児童生徒の割合（児童）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	88.7	91.4	91.0	90	(横ばい)
評価	6年生全員の結果となります。					(横ばい)
	（状況）平成29年度は91.0%で、平成28年度より0.4ポイント低下しましたが、総合計画基準値より2.5ポイント向上し、目標値を上回っています。 （原因）朝食摂取率は97.1%、規則的な起床が91.5%、規則的な就寝が84.4%となっています。健康の観点に加え、学力及び体力の観点からも重要性が認識され、児童への指導及び保護者への啓発活動の充実が要因と思われます。					対 前年度 (低下) 目 標 達成度 (達成)

基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	基本的な生活習慣ができている児童生徒の割合（生徒）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	90.7	89.3	88.2	92	(低下)
評価	3年生全員の結果となります。					(低下)
	（状況）平成29年度は、88.2%で平成28年度より1.1ポイント低下、総合計画基準値から2.1ポイント低下し、目標に達していません。 （原因）朝食摂取率が年々低下していることに加え、規則的に就寝する生徒の割合の低下が大きな要因です。					対 前年度 (低下) 目 標 達成度 (中)

基本事業03 教育環境の充実

指標	学校施設の維持管理上の不具合による教育支障件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	2	1	0	0	(向上)
評価						(向上)
	（状況）平成29年度は0件で、平成28年度より1件減少、総合計画基準値より3件減少し、目標を達成しました。 （原因）平成28年度の1件は、安田学校給食センターの異物混入によるものです。日常の点検による修繕及び原因究明と勉強会を開催し再発防止を徹底したことが考えられます。					対 前年度 (向上) 目 標 達成度 (達成)

基本事業03 教育環境の充実

指標	学校におけるセキュリティ管理に関する事故・トラブル件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	0	0	0	0	(向上)
評価						(向上)
	（状況）平成29年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており順調です。 （原因）学校情報ネットワークの構築及び学校情報セキュリティポリシーに基づく運用を行ったためと考えられます。					対 前年度 (向上) 目 標 達成度 (達成)

基本事業03 教育環境の充実

指標	心地よい学校生活を送るための施設・備品改善件数（計画期間内累計）（件） 【学校教育課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		8	5	18	50	☀ (向上)
評価	平成27年度以前は単年の実績値	(件)				対 前年度
	(状況) 平成29年度は、18件の整備を行いました。平成28年度より13件増加しています。 (原因) 18件の内訳は、施設系が12件、教材系が6件となっています。					☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業04 安全な学校生活・通学環境の確保

指標	学校管理下（通学含む）における事故発生件数（件） 【学校教育課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		285	213	215	210	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は215件で、平成28年度とほぼ横ばいの状況です。 (原因) 打撲等の軽微な傷害ながらも、眼部や歯部、前頭部等の危険な部位である事案が増加しているため、発生件数の横ばいにつながったと考えられます。平成28年度に引き続き、死亡事故や後遺症の残るような重大な事案は発生していないことから、学校での指導は行き届いているものと推測されます。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事業04 安全な学校生活・通学環境の確保

指標	通学環境に関する満足度（％） 【学校教育課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
			89.4	-	90.0	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値					対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■■■ (高)
	(状況) アンケートを実施していないため、平成29年度の実績値は把握できていません。事務事業の成果が維持横ばいとなっていることから、順調に推移していると推察されます。 (原因) 通学路の設定や通学バスの運行方法について、前年度から大きな変更を行っていないことが原因と考えられます。					

基本事業05 学校・家庭・地域の協働体制の推進

指標	地域等と連携した特色ある教育活動の支援者数（人） 【学校教育課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		2,060	2,303	1,822	2,500	☂ (低下)
評価	(状況) 平成29年度は1,822人で、平成29年度より481人減少、総合計画基準値より238人減少しており、対前年度、対基準値ともに低下しました。 (原因) 前年度増加の要因は、閉校を迎えた学校で連携事業への支援が一段落したことに加え、2校が閉校したことによる単純な減少と考えます。基準年度と平成29年度の1校当たりの支援者は同数の151人であることから横ばい状態です。					対 前年度 ☂ (低下) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業06 経済的負担の軽減

指標	就学援助対象項目（項目）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	404	471	490		☀ (向上)
評価	表とグラフは、就学援助対象人数を記載しています。	(項目)				対 前年度
	(状況) 平成29年度は、490人に対し10項目(中学生は11項目)の就学援助費の支給を行いました。支給人数は前年度より19人増加しました。 (原因) 小学校就学予定者21人に対し新入学児童学用品費の支給を入学前に行ったことが原因と考えられます。					☀ (向上)
						目 標 達 成 度 ☀ (達成)

基本事業07 故郷への愛着意識の醸成

指標	阿賀野市に愛着を持っている児童生徒の割合（児童）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】		95.8	-	97.0	
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値	(％)				(比較不可)
	(状況) アンケート未実施のため、平成29年度の実績値は把握できていません。事務事業が維持横ばいとなっていることから、現状維持と推察されます。 (原因) あがの子ども未来フォーラムの中学校区ごとの実施など、地域に密着した学校活動が展開されているためと考えられます。					対 前年度 (比較不可)
						目 標 達 成 度 (---)

基本事業07 故郷への愛着意識の醸成

指標	阿賀野市に愛着を持っている児童生徒の割合（生徒）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】		88.7	-	90.0	
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値	(％)				(比較不可)
	(状況) アンケート未実施のため、平成29年度の実績値は把握できていませんが、地域行事に参加している生徒の割合は47.1%であり、前年度の生徒49.9%と比べ大きな変動がないことから、順調と推測します。 (原因) あがの子ども未来フォーラムの中学校区ごとの実施など、地域に密着した学校活動が展開されているためと考えられます。					対 前年度 (比較不可)
						目 標 達 成 度 (---)

基本事業07 故郷への愛着意識の醸成

指標	地域行事に参加している児童生徒の割合（児童）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	84.4	85.2	83.5	90	☂ (低下)
評価		(％)				対 前年度
	(状況) 平成29年度は83.5%で、平成28年度より1.7ポイント低下、総合計画基準値との比較でも9ポイント低下となりました。 (原因) 「あてはまる」が57.0%、「どちらかといえばあてはまる」26.5%、「どちらかといえばあてはまらない」11.0%、「あてはまらない」5.5%となっており、地域差は見られませんが、地域行事の減少、縮小に加え、年齢的に保護者と共に行動することが多いと見られ、保護者の意識が影響していると思われます。					☂ (低下)
						目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (低)

基本事業07 故郷への愛着意識の醸成

指標	地域行事に参加している児童生徒の割合（生徒）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	51.3	49.9	47.1	60	☂ (低下)
評価	(状況) 平成29年度は47.1%で、平成28年度より2.8ポイント低下、総合計画基準値との比較でも7.3ポイント低下となっており、順調でないと考えます。 (原因) 「あてはまる」17.2%、「どちらかといえばあてはまる」29.9%、「どちらかといえばあてはまらない」28.5%、「あてはまらない」24.4%となっており、地域差は見られません。地域行事の減少、縮小に加え、年齢的に部活動の練習や大会に参加することの多いことが影響しています。	(％) 				対 前年度 ☂ (低下)
						目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業07 故郷への愛着意識の醸成

指標	学校給食における地場産農産物使用率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	13.9	18.4	15.4	15	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は15.4%で、平成28年度より3.0ポイント減少しましたが、総合計画基準値との比較では8.0ポイント向上しており、前年度同様に目標達成状況を維持しています。 (原因) ポイント減少の原因は、大量発注に供給者が対応できなかったこと(1校)、人事異動に伴う発注不備によるもの(2校)です。	(％) 				対 前年度 ☂ (低下)
						目 標 達成度 ■■■ (達成)

政策 03 高齢者や障がい者福祉の充実

施策 01 高齢者福祉の充実

あるべき姿

住み慣れた地域で、可能な限り自立した生活を送っています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	元気で介護状態にならずに生活している高齢者の割合（％） 【高齢福祉課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		79.8	79.6	80.6	79.3	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は80.6%で、平成28年度より1.0ポイント向上しました。総合計画基準値より1.3ポイント向上し、目標値は達成している状況です。 (原因) 要介護・要支援を受けていない人は10,877人、前年度比290人の増となり、分母となる第1号被保険者数が13,503人で前年比205人の増となりました。分子となる元気高齢者の割合が増えたことが原因です。					対 前年度
		(%) 100 80 60 40 20 0 H26 H27 H28 H29 H30 H31 H32				☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

■ 基本事業の成果状況と評価

基本事業01 医療介護の連携

指標	介護保険利用者における医療と介護連携の満足度（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【高齢福祉課】	67.2	68.0	66.5	75	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				対 前年度
	(状況) 平成29年度は66.5%で、昨年度より1.5ポイント減少していますが、統計誤差の範囲であり横ばいと考えます。 (原因) 年代別では、70代以降が一番高くなっています。入退院時にケアマネージャーと病院が連絡を取りやすい統一様式の活用や、4年間継続して行ってきた多職種連携研修会でそれぞれの立場における役割が定着してきており、入退院の多い70代以降の受益者が実感した結果と推察します。					目標 達成度
		(低)				

基本事業02 認知症施策の推進

指標	認知症の人の在宅割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【高齢福祉課】	58.3	59.9	59.0	63	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				対 前年度
	(状況) 平成29年度に要介護認定を受け、認知症高齢者の日常生活自立度 a 以上の人の在宅割合は59.0%で、平成28年度より0.9ポイント減少、総合計画基準値より2.2ポイント減少しましたが、統計誤差の範囲であり、横ばい状態です。 (原因) 市内の特別養護老人ホームにおける第1号被保険者千人当たり定員数の割合は、43.8(県平均24.7)で、県内全市の第1位の状況で入りやすく、また、単身高齢者世帯の増加、高齢者世帯の増加による老老介護等による介護者負担の大きさや地域の理解や協力が得られず、施設を希望する状況が要因と思われる。					目標 達成度
		(低)				

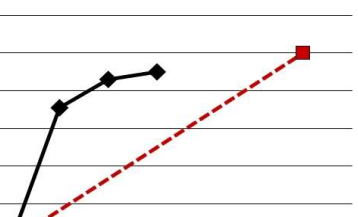
基本事業02 認知症施策の推進

指標	認知症を正しく理解している市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【高齢福祉課】	72.8	72.5	71.1	75	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				対 前年度
	(状況) 平成29年度は71.1%で、前回調査より1.4ポイント、基準値より1.7ポイント減少しましたが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲であり、横ばい状態です。 (原因) 20～49歳の若い年齢層であまり理解していない人と理解していない人は、約4割であり理解度が低い状況ですが、一方で50～79歳の親の介護が現実化する世代では一定の認識があります。 認知症サポーター養成講座並びに認知症予防講演会を開催しておりますが、興味のある方しか参加していない状況が原因です。					目標 達成度
		(低)				

基本事業02 認知症施策の推進

指標	認知症の人に声をかけられる市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【高齢福祉課】	63.7	63.2	60.3	65	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				対 前年度
	(状況) 平成29年度は60.3%で、前回の調査より3ポイント減少、基準値より3.4ポイント減少しましたが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲であり、横ばいの状態です。 (原因) 年齢別では20～30代は40%台、40～64歳が60%前後、65～74歳までが70%前後となっており、若年層が低い傾向です。身近に認知症等の知り合いがある場合には高くなりますが、実際に接したことがない方(若年層)は認知症かわからないことが影響していると思われます。					目標 達成度
		(低)				

基本事業03 日常生活の支援

指標	市で実施している買物支援や家事支援等の生活支援メニュー利用者数（人）	実績値（H27）	実績値（H28）	実績値（H29）	目標値（H32）	対基準値
	【高齢福祉課】	71	86	90	100	 (横ばい)
評価	（状況）平成29年度は90人で、平成28年度より4人増加しています。 （原因）平成29年度は介護保険給付から総合事業に移行しており、利用内容としては、掃除、買い物、調理等生活支援がほとんどを占めています。高齢者世帯が増加し、生活支援ニーズも増加していますが多様な担い手による生活支援代成整備が不十分と思われます。					対前年度  (横ばい) 目標達成度  (中)

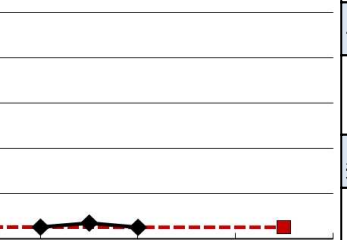
基本事業03 日常生活の支援

指標		ボランティア・NPO法人等が実施している買物支援や家事支援等の生活支援メニュー数（メニュー）	実績値（H27）	実績値（H28）	実績値（H29）	目標値（H32）	対基準値																								
		【高齢福祉課】	1	1	2	5	☀ （向上）																								
評価	（状況）平成29年度は2メニューとなっており、1つ増加しています。	（原因）メニューは買い物支援となっており継続しています。また、一部の自治会組織で、買い物支援を実施している地域もあります。生活支援協議体と生活支援コーディネーターが現在活動しており、住民主体の助け合いの仕組みづくりに向け、まずは拠点の居場所づくりに着手しています。	（メニュー） <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>H27</td><td>1</td><td>1.5</td></tr><tr><td>H28</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>H29</td><td>2</td><td>2.5</td></tr><tr><td>H30</td><td></td><td>3</td></tr><tr><td>H31</td><td></td><td>3.5</td></tr><tr><td>H32</td><td></td><td>5</td></tr></tbody></table>				年度	実績値	目標値	H26	1	1	H27	1	1.5	H28	1	2	H29	2	2.5	H30		3	H31		3.5	H32		5	対前年度 ☀ （向上）
	年度						実績値	目標値																							
H26	1	1																													
H27	1	1.5																													
H28	1	2																													
H29	2	2.5																													
H30		3																													
H31		3.5																													
H32		5																													
							目標達成度 ▮▮▮ （高）																								

基本事業03 日常生活の支援

指標	外出時の移動に困っている高齢者の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																								
	【高齢福祉課】	9.6	10.6	10.9	8	 (横ばい)																								
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)					対 前年度																							
	（状況）平成29年度は10.9％で、前年度より0.3％増加していますが、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 75歳以上になると困っている方が増加していく傾向にあります。地区別では、笹神地区が他の地区に比べると割合が高くなっています。 （原因）市営バスや公共交通の本数、停留所までの距離が遠い ためだと考えられます。高齢者の増加に伴い、さらに割合の増加が予測されます。	 <table border="1"><caption>外出時の移動に困っている高齢者の割合（％）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>9.6</td><td>-</td></tr><tr><td>H27</td><td>10.6</td><td>-</td></tr><tr><td>H28</td><td>10.6</td><td>-</td></tr><tr><td>H29</td><td>10.9</td><td>-</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>H32</td><td>-</td><td>8</td></tr></tbody></table>					年度	実績値	目標値	H26	9.6	-	H27	10.6	-	H28	10.6	-	H29	10.9	-	H30	-	-	H31	-	-	H32	-	8
年度	実績値	目標値																												
H26	9.6	-																												
H27	10.6	-																												
H28	10.6	-																												
H29	10.9	-																												
H30	-	-																												
H31	-	-																												
H32	-	8																												
価							目 標 達成度																							
							 (低)																							

基本事業03 日常生活の支援

指標	買物に困っている高齢者の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値	
	【高齢福祉課】	5.1	6.9	5.0	5		
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)					(横ばい)
	（状況）平成29年度は前年度に比べると1.9%減少していますが、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 （原因）具体的な要因としては、移動手段がない、徒歩圏内に買い物をする場所がない、重い荷物を持って帰れない等が考えられます。買い物サービスを行っているNPO団体は地区限定であることが多く、移動手段に困る高齢者の増加が予測されますが、別居の親族等が支援しているなど自助による場合も多いことが考えられます。						対 前年度  (横ばい)
							目 標 達成度  (低)

基本事業04 介護予防・社会参加の推進

指標	要支援認定の新規該当者の平均年齢（歳）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【高齢福祉課】	81.7	80.7	81.6	82.3	☁ (横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は81.6歳で前年度に比べると0.9歳年齢が上がっています。総合計画の基準値とはほぼ同数となっています。 (原因) 新規認定者数は平成29年度で502人で13人増加しています。新規認定者の要支援者の割合は41.4%であり、昨年度に比べ2.6%減少しています。平成29年度からの総合事業の開始に伴い、認定を受けずに、事業対象者として介護予防事業に参加していることも要因と考えられます。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業04 介護予防・社会参加の推進

指標	社会参加・交流している高齢者の割合(サロン、老人クラブ) (%)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【高齢福祉課】	35.4	34.5	39.1	40	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況) 平成29年度は前年度に比べて39.1%と、4.6%増加しています。地区別では、笹神地区が一番多く44.9%、安田地区が最も低く27.2%となっています。 (原因) 笹神地区の割合が高く、全体を押し上げていると考えられます。笹神地区ではサロンの数が多く、安田地区では、サロン等の数が減少しており、外出の機会、集まる場の数の差が影響していると思われます。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事業05 介護サービスの質と量の充実

指標	介護サービスの満足度 (%)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【高齢福祉課】	51.7	51.4	49.4	62	☔ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況) 平成29年度は49.4%で、前回調査より2ポイント低下し、順調とは言えない状況です。 (原因) 「介護職員等の対応」の不満が13.13ポイント、「施設・設備の不満」が4.2ポイントそれぞれ上がっていますが、一方で「サービス内容」の不満が8.8ポイント、「料金」の不満が9.8ポイントそれぞれ下がっています。 「料金」の不満は54.7ポイントで、不満の中では一番高くなっていますが、国が示す介護報酬が適用されているため、改善にはなかなか結びつきません。					対 前年度 ☔ (低下) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業05 介護サービスの質と量の充実

指標	入所待機者数(要介護度3以上) (人)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【高齢福祉課】	261	70	58	50	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成25年度の値 (状況) 平成28年度から12名減少し、平成27年度からは203名減の大幅減少となっています。 (原因) 平成27年度から平成28年度に170床の特別養護老人ホームが増床され、市内の特別養護老人ホームが583床となったことにより、入所待機者が減ったものです。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (高)

政策 03 高齢者や障がい者福祉の充実

施策 02 障がい者福祉の充実

あるべき姿

障がい者がその障害の特性及び環境に応じて、地域で安心して自立し社会参加しています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	在宅で生活している障がい者の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	97.1	97.0	97.2	97.2	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は97.2%で、平成28年度より0.2ポイント上昇し、目標値を達成しました。 (原因) 障害者手帳所持者は昨年度から16人減り、2,372人となり、2,306人が在宅で生活しています。 新たな入所者が1名、退所者が6名と入所者が5名減り66名となったことが要因と考えられます。					☀ (向上)
						☀ (向上)

指標	在宅で安心して生活できていると感じる障がい者の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】		77.6	81.3	85.0	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値					☀ (向上)
	(状況) 平成29年度は81.3%で、平成28年度の77.6%より3.7ポイント増え、順調です。 (原因) 身体障害者手帳所持者が83.1%、療育手帳所持者が83.0%、精神障害者保健福祉手帳所持者が66.7%と障がいの種別で差が生じています。 精神障がい者が低くなっている要因は、疾病の特性も考えられますが、社会の障がいの理解が十分でないことが要因と考えられます。					☀ (向上)

■ 基本事業の成果状況と評価

基本事業01 障がい者への適切な支援

指標	自立支援給付サービスの利用者数（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	8,413	8,772	9,093	10,600	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は9,093人で、平成28年度より321人増加しています。 (原因) 内訳は障がい児が利用するサービスは42人、障がい者が利用するサービスが279人となっています。サービスの種類によって増減があります。一番の要因は、新たに事業所が開所したことにより、短期入所の利用者が137人増えたことです。また、障がい児が放課後に利用するサービスも123人増えました。					(人) (向上) 対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事業01 障がい者への適切な支援

指標	障がいの特性や能力に応じて適切なサービスを受けられていると感じる障がい者の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】		78.4	71.3	85.0	☔ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値 (状況) 平成29年度は71.3%で、平成28年度より7.1ポイント低下と順調とはいえない状況です。 (原因) 身体障害者手帳所持者が72.2%、療育手帳所持者が73.8%、精神障害者保健福祉手帳所持者が66.9%と障がいの種別により差が生じています。精神障がい者が低い要因としては、発達障がいなど障がいの特性に応じた適切なサービスを提供できる事業所が不足していることが考えられます。また、視覚障がい者や重度の知的障がい者等が外出や余暇活動時に利用できる事業所が不足していることも要因と考えられます。					(%) (低下) 対 前年度 ☔ (低下) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業02 地域生活支援の基盤づくり

指標	住み慣れた地域で生活を送ることができていると感じる障がい者の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】		91.2	86.3	93.0	☔ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値 (状況) 平成29年度は86.3%で、平成28年度より4.9ポイント減り順調とはいえない状況です。 (原因) 身体障害者手帳所持者が88.1%、療育手帳所持者が85.3%、精神障害者保健福祉手帳所持者が77.3%と障がいの種別により差が生じています。精神障がい者の割合が低い要因としては、市内にグループホームが不足しているため、やむを得ず市外のグループホーム等で生活しなければいけないことが考えられます。					(%) (低下) 対 前年度 ☔ (低下) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業02 地域生活支援の基盤づくり

指標	地域生活支援事業の利用者数（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	2,507	2,494	2,413	2,900	☔ (低下)
評価	(状況) 平成29年度は2,413人で、平成28年度より81人減少と順調とはいえない状況です。 (原因) 介護用ベットやストマ用装具を給付する日常生活支援事業は増加していますが、地域活動支援センターの利用者が93人減少していることが要因と考えられます。この原因は、利用者の障害福祉サービス利用が増えたこと、精神障がい者の病状の悪化により利用日数が減ったことが考えられます。					(人) (低下) 対 前年度 ☔ (低下) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業03 社会参加の促進

指標	就労訓練を受けることができる障害福祉サービス事業所数（箇所）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	6	6	6	6	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は6事業所で、昨年度と変化なく、目標の6事業所を達成しています。 (原因) 水原地区に2事業所、安田地区に2事業所、笹神地区に2事業所が就労訓練を実施しています。また、笹神地区の事業所のうち1事業所が、就労が可能と思われる障がい者に対し、一定期間就労に向けて訓練を実施するサービスを新たに開始しました。	(箇所) 				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 🏰 (達成)

基本事業03 社会参加の促進

指標	就労訓練施設から就職し、1年以上働き続けている障がい者数（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	15	10	15	15	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は15人で、平成28年度より5人増え目標の15人を達成しました。 (原因) 平成28年度中に5人の障がい者が就職し、離職することなく働き続けています。しかし、例年職場の人間関係が上手くいかず離職する障がい者がいるため継続的な支援が必要となります。	(人) 				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 🏰 (達成)

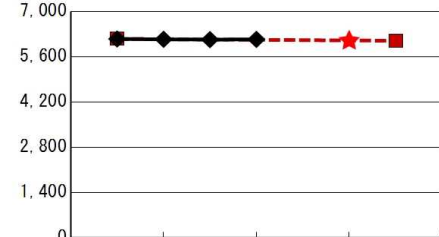
政策 04 地域経済の活性化

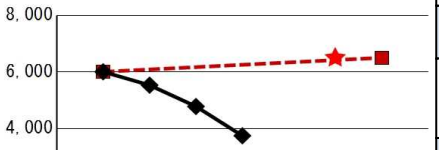
施策 01 農業の振興

あるべき姿

農産物の作付面積や生産規模が維持され、安定経営、付加価値化により農業所得が増えています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	農産物の作付面積（ha）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値															
	【農林課】	6,135	6,125	6,131	6,090																
評価		(ha)				(横ばい)															
	（状況）平成29年度は6,131haで、平成28年度より6ha増加し、総合計画基準値（平成26年度）との比較では14ha減少していますが、現状は目標値の作付面積を上回り、優良農地の維持が図られています。 （原因）作付面積が増加した原因は、平成28年度保全管理地に作付したことによるものです。	 <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (ha)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>6,135</td></tr><tr><td>H27</td><td>6,125</td></tr><tr><td>H28</td><td>6,131</td></tr><tr><td>H29</td><td>6,131</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td></tr><tr><td>H32</td><td>6,090</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (ha)	H26	6,135	H27	6,125	H28	6,131	H29	6,131	H30	-	H31	-	H32	6,090
年度	実績値 (ha)																				
H26	6,135																				
H27	6,125																				
H28	6,131																				
H29	6,131																				
H30	-																				
H31	-																				
H32	6,090																				
						対 前年度															
						(横ばい)															
						目 標 達成度															
						(達成)															

指標	市内総生産額（農業）（百万円）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値															
	【農林課】	5,530	4,778	3,742	6,500																
評価	各指標値は2年前の値	(百万円)				(低下)															
	（状況）県民経済計算が「平成23年基準改定」を行ったことに伴い、平成18年度まで遡及して改定されました。市内総生産（農業）の実額は以下のとおりです。 総合計画基準値（平成24年度実績）5,279百万円 平成25年度実績 4,561百万円 平成26年度実績 3,884百万円 平成27年度実績 3,742百万円 （原因）平成27年8月の台風15号による強風の影響で、脱粒などの被害によるものです。（下越北作況指数91）	 <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (百万円)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>5,530</td></tr><tr><td>H27</td><td>4,778</td></tr><tr><td>H28</td><td>3,742</td></tr><tr><td>H29</td><td>3,742</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td></tr><tr><td>H32</td><td>6,500</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (百万円)	H26	5,530	H27	4,778	H28	3,742	H29	3,742	H30	-	H31	-	H32	6,500
年度	実績値 (百万円)																				
H26	5,530																				
H27	4,778																				
H28	3,742																				
H29	3,742																				
H30	-																				
H31	-																				
H32	6,500																				
		目標達成度  (低)																			

■ 基本事業の成果状況と評価

基本事業01 担い手の育成と経営規模拡大への支援

指標	1経営体当たり経営面積（ha）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【農林課】	3.3	3.3	3.3	4.5	☀ (向上)
評価	(状況) 2015農林業センサスの経営体数を使っていますので、平成28年度と同値ですが、総合計画基準値との比較では0.4ha増加しています。なお、担い手（611経営体）の1経営体あたり経営面積は、6.2haとなっています。 (原因) 高齢化による離農後の農地を、他の経営体が受託したことにより、1経営体あたりの面積が増加しています。					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業01 担い手の育成と経営規模拡大への支援

指標	新規就農者数（平成27～32年度累計）（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【農林課】	4	11	19	100	☀ (向上)
評価	基準値は平成26年度単年の実績値 (状況) 平成29年度の新規就農者数は8名で、基準値からの累計が19名となりました。ただし、目標値達成に向けては、まだまだ努力が必要です。 (原因) 平成29年度の8名は、法人への就業3名、法人以外への就農5名、形態別では新規学卒3名、離職しての就農・就業が5名となっております。					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業02 経営の組織化・法人化の推進

指標	農業生産法人数（水稻主体の法人）（法人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【農林課】	15	17	18	42	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度末の水稻主体法人は18法人で、平成28年度より1法人増加、総合計画基準値より4法人増加していますが、目標値達成にはまだ努力が必要です。 (原因) 平成29年度に設立された1法人は水原地区の法人で、離農者の農地を受託し、地域農業を担っていくために設立されたものです。					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業02 経営の組織化・法人化の推進

指標	市内農産物の作付面積に占める農業生産法人（水稻主体の法人）経営面積の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【農林課】	4.7	5.2	6.5	20	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は6.5ポイントで、平成28年度より1.3ポイント、総合計画基準値より2.5ポイント増加し、法人の経営面積の割合が少しずつですが大きくなっています。 (原因) 各法人の経営面積増加に加え、平成29年度に水原地区で設立した1法人の面積加算によるものです。					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業03 生産基盤の整備

指標	圃場整備率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【農林課】	9.5	9.5	9.5	11	☁ (横ばい)
評価	(状況) 平成29年度の整備率は9.5%で、総合計画開始時から動きがない状況です。 (原因) モデル5地区のうち、平成29年度に中ノ通の面工事が着工しましたが、まだ整備率上昇につながるものではありません。 堀耕東・滝沢は平成30年度着工で進んでいるほか、後発2地区の発久・勝屋は、平成31年度着工に向けて地元調整を進めています。 地元関係者の熱意と、関係機関の推進に対する一体的な取り組みが前倒し1地区(中ノ通)を含めた進捗となっています。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目標 達成度 ■■■ (低)

基本事業04 産地化・ブランド化の推進

指標	重点5品目の作付面積（ha）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【農林課】	5.6	6	5.3	20	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は5.3haで、総合計画基準値より0.7ha増加していますが、平成28年度より0.7ha減少し、目標値達成には更なる努力が必要です。 (原因) 5品目の内訳は、いちじく0.9ha、ばれいしょ1.7ha、たまねぎ0.7ha、カリフラワー1.3ha、いちご0.7haとなっています。平成29年度での増加品目はなく、たまねぎ0.4ha減少、カリフラワー0.3ha減少となっています。 減少品目は露地野菜であることから、天候に左右されること、重量野菜であること等が減少の理由です。					対 前年度 ☂ (低下) 目標 達成度 ■■■ (低)

基本事業04 産地化・ブランド化の推進

指標	6次産業化した経営体数（経営体）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【農林課】	4	4	4	6	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度新たに6次産業化した経営体はありませんでしたが、総合計画基準値からは3経営体増加し、順調に推移しています。 (原因) 6次産業化の勉強会を引き続き開催していくとともに、6次産業化を行なっても把握漏れがあると思われるので、農業団体、関係機関の連携を強化して、経営体の把握と支援を行ないます。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目標 達成度 ■■■ (中)

基本事業05 畜産振興と耕畜連携

指標	家畜頭羽数（頭）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【農林課】	3,842	3,885	3,727	3,450	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は3,727頭で、平成28年度より158頭減少、総合計画基準値より277頭増加し、目標値を達成している状況です。 (原因) 乳用牛は飼養頭数が37頭減少、肉用牛が121頭減少しています。しかしながら、肉用牛は全国の共進会に選出され、高騰も続いており、増頭意欲も高まっています。					対 前年度 ☂ (低下) 目標 達成度 ■■■ (達成)

指標	家畜頭羽数（羽）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		【農林課】				 （向上）
評価	（状況）平成29年度は151,200羽で、平成28年度より2,004羽増加、総合計画基準値からは約9,000羽増加し、目標値を達成している状況です。 （原因）飼育農家の増減はなく、採卵鶏が360羽、ブロイラーが1,000羽、ブロイラー用種鶏644羽増加したものです。	（羽）				対 前年度 （向上）
						目 標 達 成 度 （達成）

指標	たい肥散布面積 (ha)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対基準値																								
	【農林課】	658	667	686	1,000	☂ (低下)																								
評価	(状況) 平成29年度は686haで、平成28年度より19ha増加、総合計画基準値との比較では69ha減少しており、順調とは言えない状況です。 (原因) 平成28年度より散布面積は増加しましたが、米価の低迷もあり、稲作りの経費節減で堆肥散布を実施しない傾向があります。	<table border="1"> <caption>散布面積の推移 (ha)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (ha)</th> <th>目標値 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>750</td> <td>750</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>658</td> <td>775</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>667</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>686</td> <td>825</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>850</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>875</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>-</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (ha)	目標値 (ha)	H26	750	750	H27	658	775	H28	667	800	H29	686	825	H30	-	850	H31	-	875	H32	-	1,000	対前年度
	年度	実績値 (ha)	目標値 (ha)																											
H26	750	750																												
H27	658	775																												
H28	667	800																												
H29	686	825																												
H30	-	850																												
H31	-	875																												
H32	-	1,000																												
						☀ (向上)																								
						目標達成度																								
						■■■ (低)																								

指標	市内農産物の直売・店舗販売額（農産物直売所販売高）（千円）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																								
		【農林課】				 (向上)																								
評価	（状況）平成29年度は約1.5億円で、平成28年度より1,000万円増加、総合計画基準値より3,700万円増加しています。 （原因）直売店舗数は16店舗あり、特にスーパー内に設置した地場産コーナーの売上が26%伸びています。消費者の安全・安心な農産物、地産地消の意識が高まってきたことも影響しています。	(千円) <table border="1"> <caption>実績値・目標値の推移 (千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>100,000</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>110,000</td> <td>150,000</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>130,000</td> <td>250,000</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>140,000</td> <td>350,000</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>450,000</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>400,000</td> <td>400,000</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>-</td> <td>500,000</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値	目標値	H26	100,000	100,000	H27	110,000	150,000	H28	130,000	250,000	H29	140,000	350,000	H30	-	450,000	H31	400,000	400,000	H32	-	500,000	対 前年度 (向上) 目 標 達成度 (低)
		年度	実績値	目標値																										
H26	100,000	100,000																												
H27	110,000	150,000																												
H28	130,000	250,000																												
H29	140,000	350,000																												
H30	-	450,000																												
H31	400,000	400,000																												
H32	-	500,000																												

指標	年間農業体験交流者数（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値														
	【農林課】	1,949	2,074	2,069	13,000	☂ (低下)														
評価	（状況）平成29年度は2,069人と対前年度横ばいですが、総合計画基準値との比較では214人減少しており、目標達成には努力が必要です。 （原因）現状値の把握は、一農協による田植え、稲刈り、体験ツアー等の参加者数を主に計上していますが、農業法人等による農業体験交流なども行われていることから、今後はこれらの把握にも努め、実態調査の対象となる体験交流者数は計上します。	（人） <table border="1"> <caption>農業体験交流者数（人）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>1,949</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2,074</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>2,069</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>2,069</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>12,500</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>12,800</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値	H26	1,949	H27	2,074	H28	2,069	H29	2,069	H31	12,500	H32	12,800	対 前年度
	年度	実績値																		
H26	1,949																			
H27	2,074																			
H28	2,069																			
H29	2,069																			
H31	12,500																			
H32	12,800																			
						☁ (横ばい)														
						目標 達成度														
						■■■ (低)														

政策 04 地域経済の活性化

施策 02 商工業の振興

あるべき姿

工業の製造品出荷額や市内購買の増加により、にぎわいや雇用が創出され、地域経済が活性化しています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	製造品出荷額等（百万円）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【商工観光課】	108,835	126,335	124,686	142,574	☀ (向上)
評価	指標値は、公表時期の関係で2年前の数値	(百万円)				対 前年度
	(状況) 前年度比で1.3ポイント減少しているものの、総合計画基準値との比較では73億円(6.3ポイント)増加しており、順調に推移しています。 (原因) 市内の事業所数はほぼ横ばいであることから、事業所数の増加でなく、景気の緩やかな回復基調のもとでの設備投資等を要因とした生産体制の拡大により、1事業所当たりの製造出荷額が増加していると考えられます。 なお、業種別の出荷額では、食料品製造業、化学工業、家具・装備品製造業の順となっています。					☁ (横ばい) 目標 達成度 ■■■ (低)

指標	市内総生産額（第2次・第3次産業）（百万円）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【商工観光課】	139,200	141,821	139,532	153,138	☀ (向上)
評価	指標値は、公表時期の関係で2年前の数値	(百万円)				対 前年度
	(状況) 前年度比では1.6ポイント減少していますが、総合計画基準値より79億円(5.9ポイント)増加しており、増加基調で推移しています。 (原因) 市内の事業所数はほぼ横ばいであることから、事業所数の増加ではなく、景気の緩やかな回復基調のもとでの設備投資等を要因とした生産体制の拡大により、1事業所当たりの生産額が増加していると考えられます。 生産額では、製造業が4割、不動産業・建設業が2割を占めています。					☁ (横ばい) 目標 達成度 ■■■ (低)

基本事業01 企業誘致の推進

基本事業02 創業・事業展開の支援

基本事業02 創業・事業展開の支援

基本事業03 事業所の経営支援

58

基本事業04 買物環境改善による市内購買力向上

指標	日用品や食料品を市内で買う市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【商工観光課】	81.4	82.0	80.6	85	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度 ☁ (横ばい)
	（状況）平成29年度は80.6%で、前回調査の82.0%と1.4ポイント減少していますが、市民アンケート統計誤差の範囲と考えられ、横ばいの状況です。市では、市内での買物促進のため、水原露店市場の平日開催日に買物支援事業を平成29年度より開始し、9回実施し89名の方から参加していただきました。 （原因）水原地区では90.6%と高い一方で、京ヶ瀬地区は58.8%と低くなっています。京ヶ瀬地区は新潟市と距離的に近いことが低い要因と考えられ、指標値に変化がない事由としては、市内における商業店舗の立地状況に大きな変化はなく、市民の買物動向に影響が及んでいないことが要因として考えられます。					目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業04 買物環境改善による市内購買力向上

指標	日用品や食料品の買物に困っている市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【商工観光課】	5.4	7.0	5.7	5	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度 ☀ (向上)
	（状況）平成29年度は5.7%で、前回調査より1.3ポイント向上しています。年齢別でみると75歳以上では、9.9%の方が困っている状況です。地区別では京ヶ瀬地区4.4%、水原地区4.6%、安田地区7.0%、笹神地区8.2%となっています。 （原因）全国的な少子高齢化社会の中で、当市においても高齢者人口が年々増加してきていることが要因と考えられます。					目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事業05 就労の促進

指標	有効求職者数（市民）（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【商工観光課】	778	731	677	589	☀ (向上)
評価						対 前年度 ☀ (向上)
	（状況）平成29年度は677人で、平成28年度と比較し54人（7.4ポイント）減少、総合計画基準値より150人（18.1ポイント）減少しており、仕事がなく仕事を求めるという状況（求職）が解消・改善されています。 （原因）緩やかな景気回復基調のもとで、市内の1事業所当たりの製造出荷額は増加しており、設備投資と併せた雇用の拡大が要因と考えられます。					目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業05 就労の促進

指標	人手が不足している市内事業所の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【商工観光課】		44.9	46.1	40.0	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値					対 前年度 ☁ (横ばい)
	（状況）平成29年度は46.1%で前年度とほぼ同じ状況となっています。 （原因）平成29年度の阿賀野市内事業所の業種別の求人の状況は、建設業・医療・福祉業・製造業が全体の7割を占めており、逆に運輸・郵便業、卸・小売業は人手不足感があります。有効求人倍率が上昇傾向にあり、十分な人材を確保できないことが要因と考えられます。また、収益が上がらず新規に雇用できない事業所もあることが考えられます。					目 標 達成度 ■■■ (低)

政策 04 地域経済の活性化

施策 03 観光の振興

あるべき姿

観光客数が増え、特に、リピーターの獲得により、観光交流人口が拡大しています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	観光客入込数（人） 【商工観光課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		1,211,681	1,153,736	1,077,365	1,400,000	☂ (低下)
評価	(状況) 平成29年は107.7万人で、平成28年より7.6万人減少、総合計画基準値より10.4万人減少となっており、低下傾向にあります。 (原因) 平成28年との比較で、減少人数の大きかった地点は瓢湖水きん公園が4.2万人、五頭山麓うらの森が0.9万人、サントピアワールド・宝珠温泉が0.5万人、増加した地点は瓢湖屋敷の杜ブルワリーが1.4万人となっています。 冬場の観光の目玉となる瓢湖の鳥インフルエンザが影響し、減少につながったものと考えられます。	(人)				対 前年度 ☂ (低下) 目 標 達成度 ■■■ (低)

指標	宿泊施設に占めるリピーターの割合 (2回以上) (%) 【商工観光課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
			34	41.8	➔	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値 (状況) 平成29年度は41.8%で、平成28年度と比較して7.8ポイント増加しました。 (原因) 自然、温泉、食等を求める一定のリピーターがあるものと考えられます。五頭温泉郷は顧客満足度調査で第1位に返り咲き(新潟県観光地満足度調査)となっており、既に高い水準にあります。	(%)				対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ☀ (達成)

■ 基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域資源を生かした観光の活性化

指標	宿泊施設の連泊(2泊以上)利用者数(人)	実績値(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H32)	対基準値
	【商工観光課】		6,146	5,401	→	☂ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値	(人)				対前年度
	(状況)平成29年度は5,401人で、前年度と比較して12.2%低下しました。 (原因)阿賀野市の観光資源である瓢湖における鳥インフルエンザの影響及び宿泊者の利用体系の変化(少人数、短期利用)が生じているものと考えます。					☂ (低下)
						目標達成度 ■■■ (低)

基本事業02 情報発信の強化

指標	シティーセールスサポーター数(人)	実績値(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H32)	対基準値
	【商工観光課】		0	16	60	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値	(人)				対前年度
	(状況)平成29年度において16名が登録されました。 (原因)首都圏ふるさと会で募集を行ったことが要因として考えられます。					☀ (向上)
						目標達成度 ■■■ (低)

基本事業02 情報発信の強化

指標	阿賀野市観光協会フェイスブックのフォロワー数(人)	実績値(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H32)	対基準値
	【商工観光課】	772	834	968	2,400	☀ (向上)
評価		(人)				対前年度
	(状況)平成29年度は968人で、平成28年度より134人増加、総合計画基準値より368人増加し、右肩上がりです。阿賀野市に興味を持つ人が増えています。 (原因)スマホ等の普及によるものと考えられます。全般的にはイベント情報を告知する3月～9月にフォロワー数が増加しています。しかし、目標値にはまだ程遠い状況にあります。					☀ (向上)
						目標達成度 ■■■ (低)

基本事業03 観光施設の維持管理と整備充実

指標	観光施設の満足度(%)	実績値(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H32)	対基準値
	【商工観光課】		86.7	90.3	90.0	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値	(%)				対前年度
	(状況)平成29年度は市に訪れた方の約90%が「満足」または「普通(不満はない)」と回答されています。なお、「大変満足」「満足」を併せた値が78.0%となっており昨年と比較して2.1%増加しています。 (原因)満足度の選択肢の内訳は、「大変満足」と「満足」がいずれも39.0%、「普通」が12.3%となっています。満足度の高い施設はふるさと農業歴史資料館、五頭山麓いこいの森でした。施設における窓口対応、自然を活かした取り組みなどが満足度増加につながったものと考えます。					☀ (向上)
						目標達成度 ■■■ (達成)

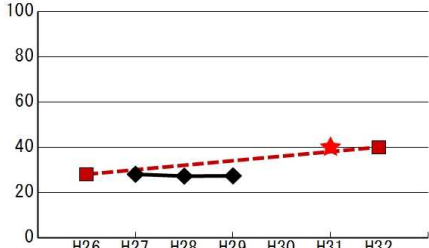
政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

施策 01 土地の有効利用

あるべき姿

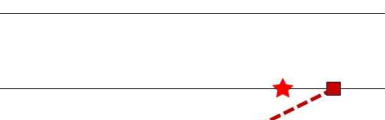
各地区の特性を踏まえたバランスのとれた土地の有効活用が行われています。

■ 施策の成果状況と評価

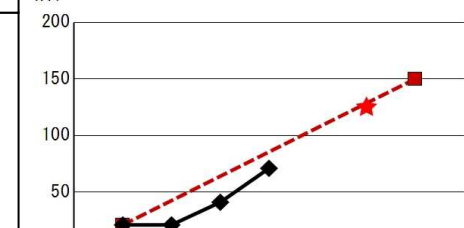
指標	各地区的特性を踏まえた開発・にぎわいづくりなどバランスのとれた土地活用(整備)が行われていると感じる(%)	【建設課】				対基準値
		実績値(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H32)	
	基準値は、初取得の平成27年度の値	28	27.2	27.3	40	
評価	(状況)平成29年度は土地活用整備の満足度は27.3%で前回調査の27.2%とほぼ変わらず、横ばいとなっています。 (原因)バイパスや道の駅などの事業は成果はまだ見えず、住宅取得やリフォーム事業等も進めていますが、空き家も多く市民にとっては有効利用と感じられないのではないかと思います。 居住年数が5年未満の方の満足度は40.3%と全体よりも高めであり、こうした取り組みへの効果が感じられます。年齢別に見ると、20代は肯定的な評価が36.9%と高い傾向があります。	(%)				対前年度
						
						(横ばい)
						目標達成度
						
						(低)

■ 基本事業の成果状況と評価

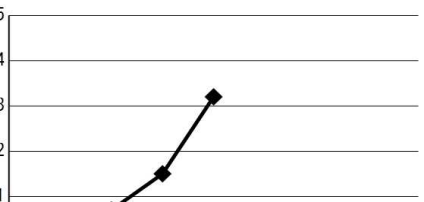
基本事業01 新たな生活・交流の拠点形成

指標		【建設課】				実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値		
						0	0	1	2	☀ (向上)		
評価	(状況) 道の駅が都市公園事業として事業化となっています。 (原因) 道の駅は整備計画の策定を進めておりH33年度の阿賀野バイパス開通にあわせた事業を進めていきます。 水原街路は県により地形図の作成が行われ、県と調整を図りながら事業化を目指しています。					(か所)					対 前年度	
											☀ (向上)	
							目 標 達成度					■■ (中)

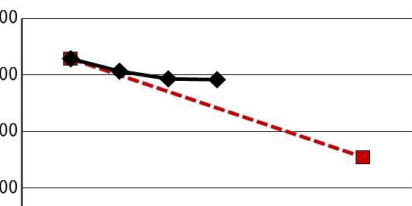
基本事業02 適正な開発の促進

指標		実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
転入者の住宅取得件数（平成28～32年度の累計）（件）		21	41	71	150	☀ (向上)
【建設課】						
平成27年度以前は単年の実績値		(件)				
評価	（状況）転入者の住宅取得件数累計は71件となっています。 前年度と比較し30件増となっています。 （原因）住宅取得へ向けた取り組みとして補助金を交付していますが、転入者は補助額の加算が設けられており、増加の一因となっていると思われます。					
		目 標 達成度				
		■■■ (低)				

基本事業02 適正な開発の促進

指標		実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
商業工業施設の開発面積（平成28～32年度の累計）（ha）		0.7	1.5	3.2	➡	☀ (向上)
【建設課】						
平成27年度以前は単年の実績値		(ha)				
評価	（状況）平成29年度は商工業施設の開発面積が1.7ha増加し、累計で3.2haとなりました。総合計画目標値を達成しました。 （原因）市内の商工業施設として2件の拡張があり、市外から1件の開発が行われたものです。					
		☀ (向上)				
		目標 達成度				
		🏰 (達成)				

基本事業03 土地・家屋の適正利用と有効活用

指標	管理不全な空き家数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【建設課】	613	586	583	309	 (向上)
評価	(状況) 平成29年度は昨年度から3件減少した583件です。 (原因) 指導、助言を行った成果として除却や管理が行われるようになったものもありますが、新たに空き家となったものがあり前年より減少幅が少なくなっています。	(件) 				対 前年度
						 (横ばい)
						目 標 達成度
						 (低)

基本事業04 公園の維持管理と整備充実

指標	憩いの場としての公園の満足度（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【公園管理事務所】	61.5	63.1	69.6	65	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	（状況）平成29年度は69.6％で、前回調査より6.5ポイント向上しており、公園の満足度が向上しています。総合計画目標値を達成しました。 （原因）公園の維持管理は適切に実施されており、天朝山公園やふるさと公園に各種遊具が設置されたことにより公園の魅力が上昇しています。必要に応じた補修など、計画的に長寿命化を図り、引き続き安心して遊べる公園を維持していきます。					目標 達成度 ☀ (向上) 🏰 (達成)

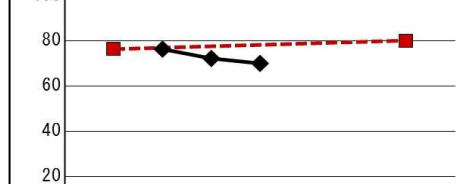
政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

施策 02 道路環境の充実

あるべき姿

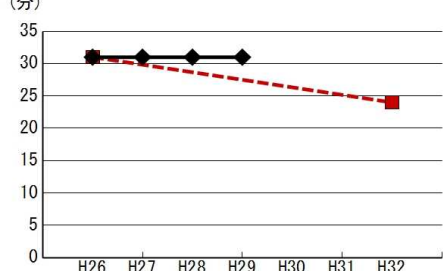
市内外への安全かつ円滑な移動が可能となっています。

■ 施策の成果状況と評価

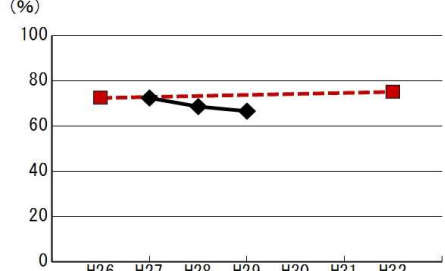
指標	道路の整備状況が充実していると感じる市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																							
	【建設課】	76.2	72.1	69.9	80	 (低下)																							
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度																							
	（状況）平成29年度は69.9％で、前回調査と比べ2.2ポイント減少しており、統計誤差の範囲内ですが、目標値には10.1ポイントの大きな差が認められます。 （原因）国道49号阿賀野バイパスや関連アクセス道路は整備中で、供用するまで移動時間に変化がないことが要因と考えます。今後は、国道49号阿賀野バイパス等の開通により、市内の道路整備状況の満足度が向上すると考えられます。	 <table><caption>実績値と目標値の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (％)</th><th>目標値 (％)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>76.2</td><td>-</td></tr><tr><td>H27</td><td>72.1</td><td>-</td></tr><tr><td>H28</td><td>69.9</td><td>-</td></tr><tr><td>H29</td><td>69.9</td><td>-</td></tr><tr><td>H30</td><td>70.0</td><td>-</td></tr><tr><td>H31</td><td>70.0</td><td>-</td></tr><tr><td>H32</td><td>80.0</td><td>80.0</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (％)	目標値 (％)	H26	76.2	-	H27	72.1	-	H28	69.9	-	H29	69.9	-	H30	70.0	-	H31	70.0	-	H32	80.0	80.0
年度	実績値 (％)	目標値 (％)																											
H26	76.2	-																											
H27	72.1	-																											
H28	69.9	-																											
H29	69.9	-																											
H30	70.0	-																											
H31	70.0	-																											
H32	80.0	80.0																											
					目 標 達成度																								
					 (低)																								

■ 基本事業の成果状況と評価

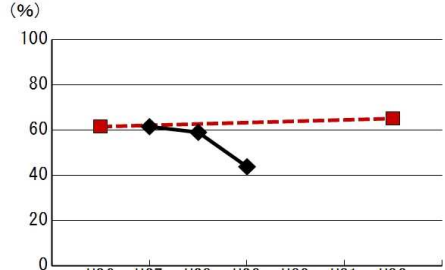
基本事業01 市外へのアクセス向上

指標	新潟東部産業団地から新潟亀田 I C までの移動時間（分）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【建設課】	31	31	31	24	
評価	(分)					(横ばい)
	(状況) 平成29年度は31分で、総合計画開始時から変化はありません。 (原因) 国道49号阿賀野バイパスは順調に整備が進んでいますが、供用するまで移動時間に変化がないことが要因です。平成33年度の全線暫定開通が発表され、平成29年度は前年から約23%増の予算が投入され事業の進捗が図られました。					対 前年度  (横ばい) 目 標 達成度  (低)

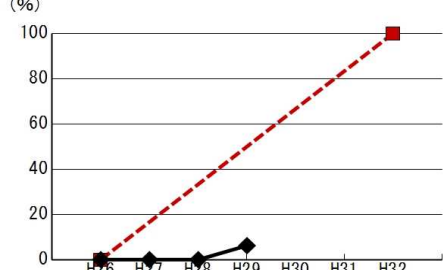
基本事業02 生活道路の維持管理と整備充実

指標	市内の車での移動に対する満足度（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【建設課】	72.3	68.5	66.5	75	
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					(低下)
	(状況) 平成29年度は66.5%で、前回調査と比べ2.0ポイント減少しており、統計誤差の範囲内ですが、目標値には8.5ポイントの大きな差が認められます。 (原因) 市内の移動に關しての大きな道路改良等による変化がなかったことが要因と考えます。地区別にみると笹神地区は、満足度が60.8%と低くなっています。その理由は集落が点在し、幹線道路や市街地から離れている地形特性によるものと考えます。					対 前年度  (横ばい) 目 標 達成度  (低)

基本事業03 効率的な除排雪の推進

指標	除排雪に満足している市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【建設課】	61.4	58.9	43.7	65	
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					(低下)
	(状況) 平成29年度は43.7%で、前回調査と比べて15.2ポイント減少しております。消雪施設の整備を進めておりますが、満足度は低下しております。 (原因) 平成29年度は、度重なる寒波により満足度へ影響があった可能性があります。また、消雪施設の老朽化等による不具合も要因の一つと考えます。					対 前年度  (低下) 目 標 達成度  (低)

基本事業04 橋りょうの長寿命化

指標	橋りょうの長寿命化率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【建設課】	0	0	6.2	100	
評価						(向上)
	(状況) 平成29年度現在、長寿命化対象の16橋のうち長寿命化対策が終了した橋りょうは1件で、長寿命化率は6.2%です。ただし、修繕計画に基づき、修繕工事2件（安田地区）を発注しました。 なお、危険度 の非常に危険な橋りょうはありません。 (原因) 修繕工事については地元調整に時間を要し、平成30年度に繰越しましたが、完了しています。その他の工事については順次進めていきます。					対 前年度  (向上) 目 標 達成度  (低)

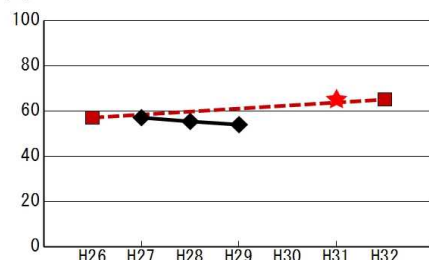
政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

施策 03 公共交通の充実

あるべき姿

公共交通が充実し、市民生活における移動の利便性が向上しています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	公共交通機関の満足度（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	57	55.3	53.9	65	
	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				(横ばい)
評価	（状況）平成29年度は53.9%で、前回調査より1.4ポイント低下しましたが、統計誤差の範囲であり、ほぼ横ばいです。 （原因）満足度が依然として低く推移しているのは、市営バスを除く公共交通機関は前年度と変化がなく、鉄道、路線バスの運行時刻、運行頻度など利用者ニーズと現状の差異が解消していないことが要因と思われます。市内移動では、地区別で満足度に差異がある状況です。また、市内移動、市外移動とも、年齢別では20～29歳と40～49歳、職業別では学生の満足度が低い状況です。					対 前年度
						 (横ばい) 目 標 達 成 度  (低)

■ 基本事業の成果状況と評価

基本事業01 市内の交通手段の確保

指標	市営バスの年間総利用者数（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	111,010	108,765	102,345	→	☔ (低下)
評価	(状況) 平成29年度は10.2万人で、平成27年度と比較すると6,420人減少(▲5.9%)し、総合計画基準値との比較では11,811人減少(▲10.3%)となり、順調とはいえません。 (原因) 路線別では、駒林線で15.2%、五頭温泉郷線で13.6%、前山線で8.6%減と大きく落ち込んだことが影響しています。全体としては、運行の回数や時間等が経費面等の制約により利用者ニーズに十分対応しきれていないことが要因となっています。また、デマンド交通の実証運行(12~3月)を行った大室線と駒林線の4か月の利用者数は、前年同期と比べ、それぞれ13.4%、22.6%と大きく低下し、事前予約方式が影響しています。					対 前年度 ☔ (低下) 目標 達成度 ■■■ (低)

基本事業01 市内の交通手段の確保

指標	市内移動の公共交通機関の満足度（%）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	67.3	65.9	62.9	70	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況) 平成29年度は62.9%で、前回調査より3.0ポイント低下していますが、統計誤差の範囲であり、ほぼ横ばいです。 (原因) 年齢別では20~29歳と40~49歳、地区別では安田地区、笹神地区、居住年数別では20年未満、職業別では学生で満足度が低くなっています。満足度がほぼ横ばいに推移している要因としては、状況が前年度と大きく変わっておらず、路線や運行時刻、運行頻度など利用者ニーズと現状に差異があり、それが縮小していないことと思われます。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目標 達成度 ■■■ (低)

基本事業02 市外への交通手段の確保

指標	市外移動の公共交通機関の満足度（%）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	46.6	44.6	44.9	60	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況) 平成28年度は44.9%で、前回調査より0.3ポイント向上していますが、統計誤差の範囲であり、ほぼ横ばいです。 (原因) 年齢別では20~29歳と40~49歳、地区別では安田地区、職業別では学生、居住年数別では10年以上20年未満で満足度が低くなっています。 新潟方面へのアクセス改善ニーズが高いですが、地区ごとで経路やアクセスポイント、交通手段(電車、バス等)が異なっていることが特徴となっており、新潟方面へのアクセスが改善されていないなど、状況が前年度と大きく変わっていないことが横ばいの要因です。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目標 達成度 ■■■ (低)

基本事業02 市外への交通手段の確保

指標	水原駅の1日平均乗者数（人）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	805	809	805	→	☁ (横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は805人で、平成28年度より4人減少、総合計画基準値との比較では10人減であり、横ばいの状況です。 (原因) 羽越本線の1日あたり運行本数に変化がなかったことが主要因です。 また、利用者の多い通勤・通学時間帯において、水原駅における接続を考慮し、JRのダイヤ改正にあわせ市営バスの発着時刻を適宜変更し、利用者の利便性を確保していることが要因と思われます。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目標 達成度 ■■■ (達成)

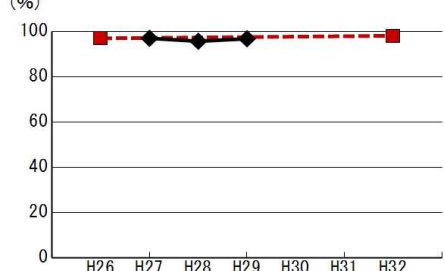
政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

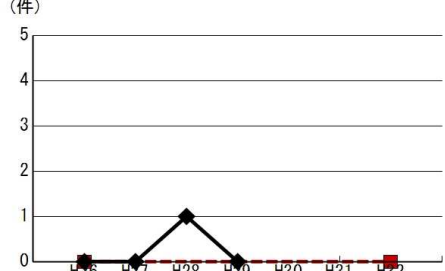
施策 04 上水道の安定供給

あるべき姿

安全な水道水が安定的に供給されています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	安全・安心な水道水が供給されていると感じる市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【（上水道）】	96.9	95.6	96.7	98	
評価	（状況）平成29年度は96.7%で、前回調査より1.1ポイント増加していますが、統計誤差の範囲と思われ、横ばいと考えます。 （原因）性別、年齢別、地区別においても大きな差が見られない状況です。現状の水質、維持管理状況が適切に管理されている結果と考えます。					（横ばい）
						対 前年度  （横ばい） 目 標 達成度  （低）

指標	大規模断水事故件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【（上水道）】	0	1	0	0	
評価	（状況）平成29年度は大規模断水の発生はありませんでした。 （原因）配水管にかかる他工事の事前協議徹底により、事故防止に努めたためです。					（向上）
						対 前年度  （向上） 目 標 達成度  （達成）

■ 基本事業の成果状況と評価

基本事業01 安定供給の推進

指標	管路の耐震化率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【（上水道）】	7.9	8.6	9.2	11.2	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は9.2％で、平成28年度より0.6ポイント向上、総合計画基準値との比較では2.0ポイント向上しており、順調です。 (原因) 平成28年度に策定した新水道ビジョンの事業計画に基づき、耐震管（鉄管やポリエチレン管）に布設替えを、計画的に実施できています。 【29年度実績】24路線 2,608mの耐震化（耐震適合管を含む）					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業01 安定供給の推進

指標	浄水施設の耐震化率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【（上水道）】	72.1	72.1	75.4	78.7	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は75.4％で、平成28年度より3.3ポイント向上しており、計画通りに推移しています。 (原因) 平成29年度は旧管理棟・増設棟等改修工事が完了したことにより耐震化工事が計画的に進んでいます。					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業02 安全供給の推進

指標	浄水施設の機能不全件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【（上水道）】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており順調です。 (原因) 毎日の維持点検等による小修繕の迅速な実施、設備機器の定期点検補修及び設備更新計画の着実な推進を行っている結果です。					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業02 安全供給の推進

指標	水道水の水质検査において基準を上回った件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【（上水道）】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調です。 (原因) 年1回の法定検査51項目及び毎日検査項目である残留塩素濃度、品質管理（濁り、臭い、色、pH）を着実にを行い、適切な設備保全を実施しているためです。					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業03 健全経営の推進

指標	有収率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【（上水道）】	84.3	84.26	85.77	88	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は、85.77%で前年度から1.51ポイント向上しています。 (原因) 配水管網を5ブロックに分割し、今年度1ブロックを対象に専門業者による詳細漏水調査を実施し、21箇所の漏水を発見、修理を行い、有収率の向上を図りました。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業03 健全経営の推進

指標	経常収支比率（一般会計基準外繰入金除く）（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【（上水道）】	106.5	105.4	107.9	102.9	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は107.9%で黒字経営です。平成28年度より2.6%上昇し、総合計画基準値より2.0ポイント上昇しています。 収益は減少していますが、経常収支比率は総合計画目標の102.9%を上回っており良好な状態を維持しています。 (原因) 平成29年度は、収益、費用とも減少しましたが、近年減少傾向にある給水収益が冬期間の寒波の影響などにより450万円（0.5%）増加するなど減少が抑制（0.2%）され、対して、支払利息が970万円減少（7.0%）するなど、費用が大幅に減少（2.57%）したことにより経常収支比率は上昇しました。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (達成)

政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

施策 05 汚水処理の推進

あるべき姿

公共用水域の水質の保全のため、適正に汚水処理する世帯が増えています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	汚水処理人口普及率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【上下水道局（下水道）】	91.5	92.83	94.24	96	☀ (向上)
評価	（状況）平成29年度は94.2％で平成28年度より1.4ポイント向上し、総合計画基準値との比較では3.7ポイント向上しており、順調です。 （原因）水原地区3.00km、笹神地区2.01kmの下水道管を整備したことにより、下水道施設を利用できる市民が年々増加しています。	(％) 				☀ (向上)
		100 80 60 40 20 0 H26 H27 H28 H29 H30 H31 H32				目標 達成度 ■■■ (中)

基本事業01 汚水処理施設の整備と接続の促進

基本事業01 汚水処理施設の整備と接続の促進

基本事業02 汚水処理施設の維持管理の推進

基本事業03 持続可能な下水道経営の推進

76

基本事業03 持続可能な下水道経営の推進

指標	一般会計からの法定外繰出金（千円）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【上下水道局（下水道）】	-	-	-	-	
評価	（状況）平成31年4月1日の地方公営企業法適用に向けて準備作業中のため、現在算定できません。平成31年度以降の企業会計移行後に、報告する予定です。					（比較不可）
						対 前年度
						（比較不可）
						目 標 達成度
						（ --- ）

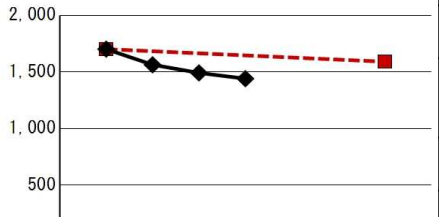
政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

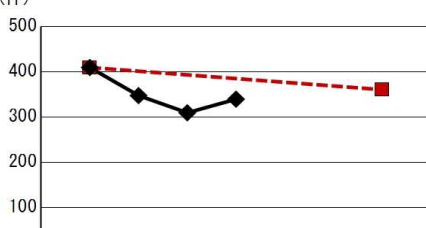
施策 06 生活衛生・環境の保全

あるべき姿

ごみや生活公害の少ないまちになっています。

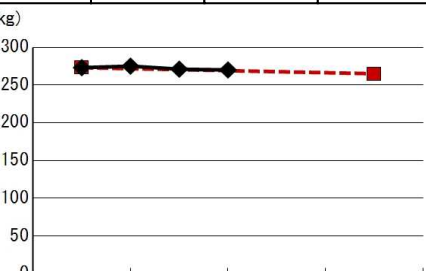
■ 施策の成果状況と評価

指標	最終処分量（ t ）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																								
	【市民生活課】	1,563	1,491	1,440	1,590	 (向上)																								
評価	（状況）平成29年度の不燃物と焼却残渣による最終処分量は1,440 tで、前年度より3 %減少し、引き続き目標を達成しています。 （原因）ごみの排出量は減少傾向にあり、それに伴い最終処分量も減少しているものと推測されます。	(t)  <table><caption>最終処分量 (t) の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>1,563</td><td>1,563</td></tr><tr><td>H27</td><td>1,491</td><td>1,563</td></tr><tr><td>H28</td><td>1,440</td><td>1,563</td></tr><tr><td>H29</td><td>1,440</td><td>1,563</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td><td>1,563</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td><td>1,563</td></tr><tr><td>H32</td><td>1,590</td><td>1,590</td></tr></tbody></table>				年度	実績値	目標値	H26	1,563	1,563	H27	1,491	1,563	H28	1,440	1,563	H29	1,440	1,563	H30	-	1,563	H31	-	1,563	H32	1,590	1,590	対 前年度
		年度	実績値	目標値																										
H26	1,563	1,563																												
H27	1,491	1,563																												
H28	1,440	1,563																												
H29	1,440	1,563																												
H30	-	1,563																												
H31	-	1,563																												
H32	1,590	1,590																												
		 (向上)																												
		目 標 達成度																												
		 (達成)																												

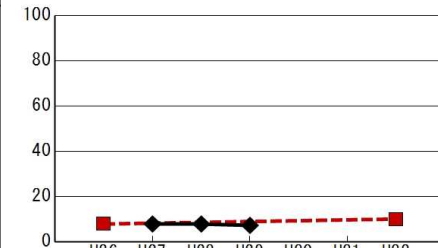
指標	生活衛生・環境に関する苦情件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																								
	【市民生活課】	347	309	339	360	 (低下)																								
評価	（状況）平成29年度は339件と、目標値より大幅に少ない結果ですが、前年度より30件増となり、目標達成度が19.3ポイント減となっています。 内訳は生活環境関連業務45件、廃棄物処理関連業務168件、動物死骸処理関連業務92件、水質保全関連業務34件でした。 （原因）特に生活環境関連が前年度より22件増（約2倍）となり、また廃棄物処理関連も前年度より13件増加しており、空き地等での雑草の繁茂やごみのポイ捨てなど環境美化や不法投棄に関する相談や苦情が減らないことによりです。	(件)  <table border="1"><caption>生活衛生・環境に関する苦情件数 (件) の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>347</td><td>347</td></tr><tr><td>H27</td><td>309</td><td>347</td></tr><tr><td>H28</td><td>309</td><td>347</td></tr><tr><td>H29</td><td>339</td><td>347</td></tr><tr><td>H30</td><td>360</td><td>347</td></tr><tr><td>H31</td><td>360</td><td>347</td></tr><tr><td>H32</td><td>360</td><td>360</td></tr></tbody></table>				年度	実績値	目標値	H26	347	347	H27	309	347	H28	309	347	H29	339	347	H30	360	347	H31	360	347	H32	360	360	対 前年度  (低下)
		年度	実績値	目標値																										
H26	347	347																												
H27	309	347																												
H28	309	347																												
H29	339	347																												
H30	360	347																												
H31	360	347																												
H32	360	360																												
						目 標 達成度  (達成)																								

■ 基本事業の成果状況と評価

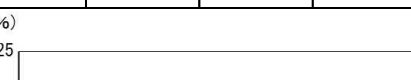
基本事業01 3Rの推進

指標	市民 1 人当たりのごみの年間排出量 [リデュース] (kg)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対基準値
	【市民生活課】	275	271	270	265	 (向上)
評価	家庭ごみの総排出量/人口					対前年度
	(状況) 1人当たりのごみの年間排出量は昨年度から 1 kg減少しています。 (原因) ごみ処理の現状について広報紙で特集を組むとともに、環境講座では参加者から処理場を見学していただき、ごみの減量への取組みについて理解していただくよう努めました。しかし、最近は 1 人世帯の増加などで 1 世帯当たりの人数が少なくなっており、相対的にごみの排出量が減りにくくなっているものと推測されます。					 (向上) 目標達成度  (低)

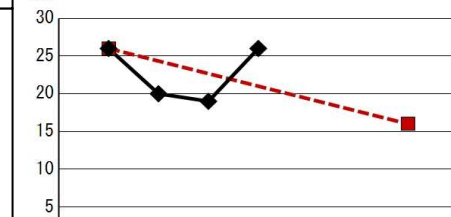
基本事業01 3Rの推進

指標	中古品・フリーマーケット・詰替品等で積極的に再利用している市民の割合 [リユース] (%)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対基準値	
	【市民生活課】	7.8	7.8	7.2	10		
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				(横ばい)	
	(状況) 平成29年度は7.2%で、前年度より減少していますが、統計誤差の範囲内と思われます。 (原因) 中古品やフリーマーケットを利用する方は、まだ一部にとどまっており、ごみの発生を抑制することの大切さが市民に十分浸透してはいないものと思われます。					対前年度	
							(横ばい)
						目標達成度	
							(低)

基本事業01 3Rの推進

ごみの資源化率 [リサイクル] (%)		実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
指標	【市民生活課】	18	17	18	20	 (低下)
						対 前年度  (向上)
評価	(状況) 平成29年度は18%で、前年度から1ポイント上昇しましたが、まだ目標には至っていません。 (原因) 安田地区では容器包装ごみの分別を行っていないため、資源化率が他の地区より低くなっています。平成35年度には、五泉市や阿賀町とともに整備する新しいごみ処理施設の稼働も予定されていることから、容器包装ごみの分別に向けた工程表を作成し、早期に実施します。					目 標 達成度  (低)

基本事業02 生活衛生・環境の確保

指標	公害（騒音・振動・悪臭・水質汚濁）苦情件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	20	19	26	16	 (横ばい)
評価	（状況）平成29年度は前年度より7件増加となり、平成26年度の総計基準値の水準まで後退しています。内訳は、公害苦情処理が21件、稲わら等焼却に関する苦情が5件でした。 （原因）公害苦情案件のうち、4件は前年度からの継続案件で、4件はエアコンの騒音やレース鳩のフン害など隣人トラブルで、個人間の苦情が寄せられるようになってきたことが増加傾向の一因です。 稲わら等焼却は、農林課と共同で田畑へのすき込みやたい肥利用を呼びかけていますが、「昔から行っていることだから」という考えの農家が依然いるための苦情と推測されます。	(件) 				対 前年度  (低下)
		目 標 達成度  (低)				

基本事業02 生活衛生・環境の確保

指標	空き地の管理及び害虫獣に関する苦情件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	34	24	31	15	☂ (低下)
評価	(状況) 平成29年度は、前年度より7件増加しています。内訳は、空き地関連が19件、ハクビシン関連が12件です。 (原因) 空き地関連は、所有者等が市外（県内6・県外6）に居住していて、近隣住民が所有者等を把握していないために苦情となるものがほとんどです。背景には人口流出問題があり、今後も増えることが予想されます。また、法的強制力がないこともあり、5件が継続・再発案件となっています。 ハクビシン関連は、平成28年度より市で捕獲事業を行っていることから、駆除依頼の件数が増えています。					対 前年度 ☂ (低下)
						目 標 達成度 ■ ■ ■ (低)

基本事業02 生活衛生・環境の確保

指標	犬・猫の飼育マナーに関する苦情件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	23	23	23	14	☂ (低下)
評価	(状況) 平成29年度は、前年度と同数です。内訳は、犬12件、猫11件となっています。 (原因) 犬の苦情は従来からのフン放置問題だけでなく、住宅の塀壁等への尿による悪臭や染みについても問題視され始めています。また、猫についても、多頭飼育崩壊（猫屋敷）や野良猫に関する相談・苦情が増加傾向にあります。					対 前年度 ☁ (横ばい)
						目 標 達成度 ■ ■ ■ (低)

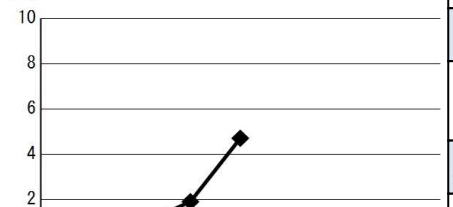
基本事業03 適正なごみ処理の推進

指標	不法投棄の発生確認件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	46	40	45	33	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は、前年度より5件増加しています。道路やゴミステーションへの投棄が顕著で、テレビ等の廃家電や廃タイヤ、農業用廃材などが捨てられる事案が多くみられました。中には空のカセットボンベ400本以上、蛍光灯数十本など、同じものが多量に投棄される事案もあります。 (原因) 事業所または事業系ごみの処分業者による不法投棄が増えたためと推測されます。					対 前年度 ☂ (低下)
						目 標 達成度 ■ ■ ■ (中)

基本事業03 適正なごみ処理の推進

指標	野焼きの苦情件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	26	17	22	8	☂ (低下)
評価	(状況) 平成29年度は22件で、前年度より5件増加しています。 (原因) 依然、安易に野焼きを行う市民等がいる反面、環境問題や健康被害への市民の関心の高まりから、通報される事案が多くなってきているためと推測されます。					対 前年度 ☂ (低下)
						目 標 達成度 ■ ■ ■ (低)

基本事業03 適正なごみ処理の推進

指標	分別不適合率(焼却量に対する不燃物の含有率) (%)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																								
	【市民生活課】	0.9	1.9	4.7	0.7	 (低下)																								
評価	(状況) 平成29年度のごみ焼却量に対する不燃物の含有率は4.7 %で前年度の1.9%から増加しています。 (原因) 近年、ごみの焼却量に対する不燃物の含有率は増加傾向にあり、ごみ分別のルールを守らずに出されるごみが増えているものと思われます。	 <table><caption>分別不適合率(%)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>0.9</td><td>0.7</td></tr><tr><td>H27</td><td>1.9</td><td>0.7</td></tr><tr><td>H28</td><td>-</td><td>0.7</td></tr><tr><td>H29</td><td>4.7</td><td>0.7</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td><td>0.7</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td><td>0.7</td></tr><tr><td>H32</td><td>-</td><td>0.7</td></tr></tbody></table>				年度	実績値	目標値	H26	0.9	0.7	H27	1.9	0.7	H28	-	0.7	H29	4.7	0.7	H30	-	0.7	H31	-	0.7	H32	-	0.7	対 前年度  (低下)
	年度	実績値	目標値																											
H26	0.9	0.7																												
H27	1.9	0.7																												
H28	-	0.7																												
H29	4.7	0.7																												
H30	-	0.7																												
H31	-	0.7																												
H32	-	0.7																												
						目 標 達 成 度  (低)																								

基本事業04 ごみ処理体制の適正化

市民1人当たりのごみの処理コスト（円）		実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																								
指標	【市民生活課】	10,283	10,402	10,984	10,700	☀ (向上)																								
		(円)																												
評価	（状況）平成29年度は582円増加し10,984円となったため目標を達成できませんでした。 （原因）平成35年度に稼動が予定されている新しいごみ処理場の整備に向け測量や地質調査などが実施されたため、それに伴う経費が増えたことによるものと思われます。	<table><caption>市民1人当たりのごみの処理コスト(円)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>10,283</td><td>10,700</td></tr><tr><td>H27</td><td>10,402</td><td>10,700</td></tr><tr><td>H28</td><td>-</td><td>10,700</td></tr><tr><td>H29</td><td>10,984</td><td>10,700</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td><td>10,700</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td><td>10,700</td></tr><tr><td>H32</td><td>-</td><td>10,700</td></tr></tbody></table>				年度	実績値	目標値	H26	10,283	10,700	H27	10,402	10,700	H28	-	10,700	H29	10,984	10,700	H30	-	10,700	H31	-	10,700	H32	-	10,700	対 前年度 ☂ (低下)
	年度	実績値	目標値																											
H26	10,283	10,700																												
H27	10,402	10,700																												
H28	-	10,700																												
H29	10,984	10,700																												
H30	-	10,700																												
H31	-	10,700																												
H32	-	10,700																												
						目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (中)																								

基本事業04 ごみ処理体制の適正化

ごみ処理における事故件数（件）		実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																								
指標	【市民生活課】	0	0	0	0	☀ (向上)																								
評価	（状況）平成29年度は0件で、総合計画基準値より0件を維持しており、順調となっています。ごみ処理施設における人身事故はありませんでした。 （原因）職員や作業員への安全教育を徹底し、事故防止に努めたことによるものです。	（件） <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>H27</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>H28</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>H29</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td><td>0</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td><td>0</td></tr><tr><td>H32</td><td>-</td><td>0</td></tr></tbody></table>				年度	実績値	目標値	H26	0	0	H27	0	0	H28	0	0	H29	0	0	H30	-	0	H31	-	0	H32	-	0	対 前年度 ☀ (向上)
	年度					実績値	目標値																							
H26	0	0																												
H27	0	0																												
H28	0	0																												
H29	0	0																												
H30	-	0																												
H31	-	0																												
H32	-	0																												
						目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (達成)																								

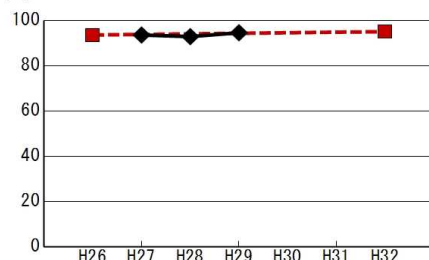
政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

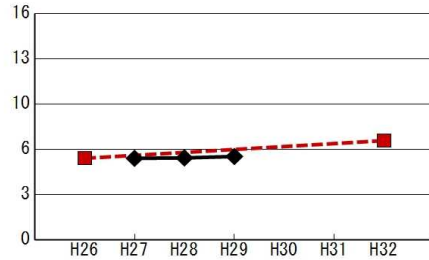
施策 07 地球環境・自然環境の保全

あるべき姿

自然を守り、地球にやさしい暮らしや事業を推進しています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	自然環境に満足している市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	93.5	92.8	94.5	95	
	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は94.5%で、前回調査から1.7ポイント上昇しましたが、統計誤差の範囲であり、横ばいの状況です。 (原因) 年齢や地区にかかわらず五頭連峰や田園風景、瓢湖などの自然環境に満足しています。ごみの不法投棄の防止や河川の水質調査など環境保全の取り組みが一定の成果をあげているものと考えます。					対 前年度
						
						(横ばい)
						目 標 達 成 度
						
						(中)

指標	地球にやさしい取組みの平均実践項目数（項目）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	5.75	5.78	5.88	7	
	全16項目での平均実践項目（基準値は平成27年度取得）	(項目)				(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は全16項目中5.88項目が実践されています。前回調査は5.78項目でほぼ変化がなく、横ばいとなっています。 (原因) 地球温暖化への対策などは世界共通の課題ですが、市民からは十分な理解が得られていないものと考えられます。 上位3項目は「人がいない部屋の照明をこまめに切る」83.1%、「ごみはリサイクルできるように分別して捨てる」77.1%、「外出先で出たごみはポイ捨てせずに持ち帰る」68.3%です。また、前回と比較して「LED照明を使っている」が42.3%から49.1%へ6.8ポイント高くなりました。					対 前年度
						
						(横ばい)
						目 標 達 成 度
						
						(中)

■ 基本事業の成果状況と評価

基本事業01 大気・水質の保全

指標	大気の基準値を上回った件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は0件で、総合計画開始以降0件を維持しています。 (原因) 大気汚染に関する注意報等の発令基準値（PM2.5一日平均70 μ g/m ³ 以上、光化学スモッグ0.12PPM以上）内で推移しており、良好な環境が保たれていると考えられます。					(件) 対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 100% (達成)

基本事業01 大気・水質の保全

指標	河川等の水質基準を上回った件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は、全調査地点において年間の水質が環境基準に適合しており、総合計画開始年より0件を維持しています。 (原因) 定期的な水質調査により、水質の悪化がみられた河川については原因を調査し、発生源が事業所の場合は、県等と連携して、改善するよう指導を行っています。					(件) 対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 100% (達成)

基本事業02 自然資源の保全・活用

指標	自然環境保全活動に参加している市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	2.6	3.7	2.8	3	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況) 自然環境保全活動に参加している市民の割合は2.8%に低下し、目標を下回りました。 (原因) 自然環境保全活動に参加している市民の割合が低下したのは統計誤差の範囲と考えられ、自然環境保全に対する市民の理解に大きな変化はないものと推測されます。					(％) 対前年度 ☂ (低下) 目標達成度 100% (中)

基本事業02 自然資源の保全・活用

指標	森林間伐（育林）面積（ha）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	21.04	14.56	11.17	9	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は11.17haで、平成28年度から23.3%減少しましたが、総合計画基準値との比較では29.1%増加しており、目標を達成しています。 (原因) 間伐は森林組合により計画的に実施されています。平成29年度は堀越地区や里地区などで実施されましたが、実施面積は土地の形状などにも影響されるため、実施面積が減少したのは計画的なものと考えられます。					(ha) 対前年度 ☂ (低下) 目標達成度 100% (達成)

基本事業03 地球環境の保全

指標	再生可能エネルギーによる発電総出力（MW）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	21	21	21	31	(横ばい)
評価	(状況) 現在1MW以上の大型の太陽光発電所は県と民間企業によるものがそれぞれ一か所ずつ稼働していますが、発電所数及び発電量とも横ばいで推移しています。 (原因) 大規模な施設整備には用地取得や送電網の整備に係る費用負担などが課題となり、導入が進まないものと推測されます。					対 前年度 (横ばい)
						目 標 達成度 (低)

基本事業03 地球環境の保全

指標	市の施設における温室効果ガス（CO ₂ ）排出量（t-CO ₂ ）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	9,871	9,861	未取得	10,000	(比較不可)
評価	(状況) 温室効果ガス（CO ₂ ）排出量の調査は例年7月に行うこととしているため、平成29年度の実績値は把握できていません。 (原因)					対 前年度 (比較不可)
						目 標 達成度 (---)

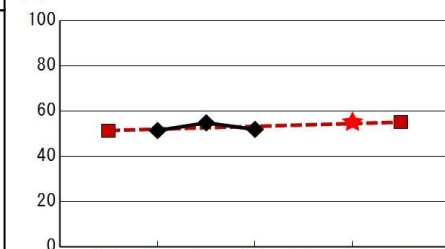
政策 06 市民協働の推進

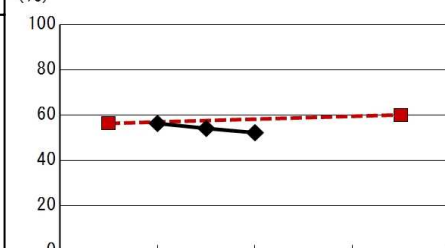
施策 01 市民によるまちづくり活動の推進と支援

あるべき姿

市民と行政が協働してまちづくりを行っています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	市民と行政が協働してまちづくりを行っていると感じる市民の割合（％） 【市長政策・市民協働課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		51.3	54.7	51.8	55	 (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				対 前年度
	(状況) 平成29年度は51.8%で、平成28年度と比較して2.9ポイント低下しています。また、基準値との比較では、0.5ポイント増加しています。 (原因) 高齢化等による団体数や事業実施数の減少、自治会活動等への参加者の減少などが原因と思われます。なお、割合が最も高いのが65歳～69歳の61.4%、低いのが50歳代の47.1%、前年度比で最も上昇したのが40歳代で7.1ポイント向上の49.4%、低下したのが60歳～64歳で8.5ポイント低下の47.2%になっています。 また、地区別では安田地区が高く54.3%、京ヶ瀬地区が51.1%、水原地区が50.8%、箕神地区が51.2%になっています					 (低下) 目 標 達 成 度  (低)

指標	コミュニティ活動に参加している市民の割合（％） 【市長政策・市民協働課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		56.2	54.0	52.1	60	 (低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				対 前年度
	(状況) 平成29年度は52.1%で、平成28年度と比較して1.9ポイント低下しています。また、基準値との比較でも、4.1ポイント低下しています。 (原因) 自治会活動等への参加者の減少、特に若い世代の参加が少ないことが原因と思われます。なお、割合が最も高いのが70歳～74歳の65.1%、低いのが20歳代の13.7%、前年度比で最も上昇したのが70歳～74歳で2.3ポイント向上の65.1%、低下したのが50歳～59歳で6.0ポイント低下の51.9%になっています。 また、地区別では箕神地区が高く56.4%、安田地区が49.7%、京ヶ瀬地区が52.7%、水原地区が51.4%になっています					 (低下) 目 標 達 成 度  (低)

■ 基本事業の成果状況と評価

基本事業01 コミュニティ施設の利用促進

指標	コミュニティ施設（自治会集会施設）に対する自治会長の満足度（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】		72.4	76.8	90	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値					☀ (向上)
	（状況）平成29年度は76.8%で、平成28年度より4.4ポイント向上しています。 （原因）7割が満足していると回答しています。一方、満足していないとした理由の中では、施設や設備の老朽化が10.8%と最も多くなっていますが、前回調査と比較すると5.0ポイント低下しており、修繕費用の補助制度を設けたことが影響していると思われます。					☀ (向上)

基本事業01 コミュニティ施設の利用促進

指標	コミュニティ施設（自治会集会施設）が有効に使われていると感じる自治会長の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	93.9	89.8	87.7	95	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					☁ (横ばい)
	（状況）平成29年度は87.7%で、平成28年度より2.1ポイント低下していますが、ほぼ横ばいです。 （原因）概ね9割の自治会は有効利用していると感じています。 地区別では、安田地区77.3%、京ヶ瀬地区94.3%、水原地区87.0%、笹神地区92.7%であり、コミュニティ活動に利用されているものと思われます。					☁ (横ばい)

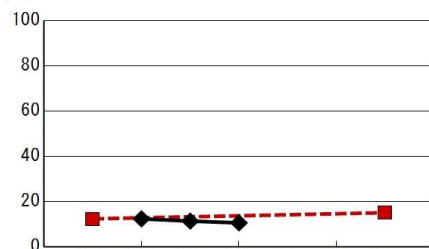
基本事業02 自治会活動の活性化

指標	活動が困難になっている行事がある自治会の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	50.2	42.4	24.4	35	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					☀ (向上)
	（状況）平成29年度は24.4%で、平成28年度より18.0ポイント向上し、目標値を上回りました。 （原因）7割の自治会は、自治会活動の継続に不安は感じていません。一方、困難だと感じている活動としては、道路側溝清掃などの「環境美化活動」が12.0%、次いで「祭礼等」が11.2%となっており、高齢化の進展が要因となっていると思われます。					☀ (向上)

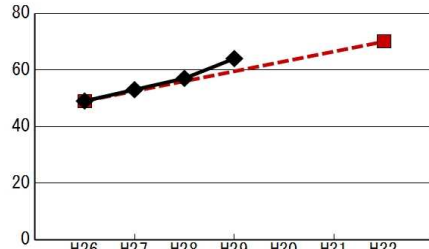
基本事業03 市民活動の活性化

指標	市民活動団体・ボランティア活動団体登録数（累計）（団体）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策・市民協働課】	110	112	111	140	☀ (向上)
評価						☁ (横ばい)
	（状況）平成29年度は111団体で、平成28年度と比較して1団体減少していますが、ほぼ横ばいです。また、基準値との比較では、5団体増加しています。 （原因）ボランティアセンター登録団体は、新規が11団体（市民活動団体からの移行5団体含む）の増、休止が11団体の減で計60団体、NPO法人は、新規、休止とも無く12団体、市民活動団体は、新規が4団体の増、ボランティア団体への移行が5団体の減で計39団体となっています。 団体の構成員や活動への参加者の高齢化等で、活動の継続が難しくなったことにより、休止した団体が増加したことなどが原因と思われます。					☁ (横ばい)

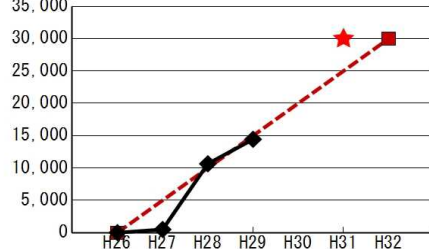
基本事業03 市民活動の活性化

指標	ボランティア活動に取り組む市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策・市民協働課】	12.3	11.3	10.5	15	☂ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	（状況）平成29年度は10.5％で、平成28年度と比較して0.8ポイント低下していますが、ほぼ横ばいです。また、基準値との比較でも、1.8ポイント低下しています。 （原因）最も高いのが70歳～74歳の14.8％、低いのが30歳代の4.3％、前年度比で最も上昇したのが60歳～64歳で2.5ポイント向上の13.1％、低下したのが40歳～49歳で4.3ポイント低下の7.3％になっています。 65歳代以上や30歳代、40歳代の市民活動やボランティア活動に対する認識の低下が原因と考えられます。					☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■■■ (低)

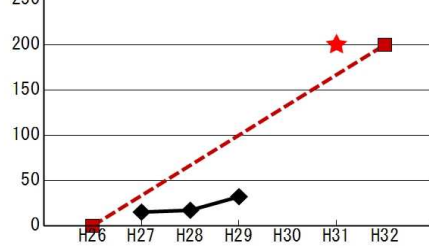
基本事業03 市民活動の活性化

指標	市民活動団体・ボランティア活動団体との連携・協働によるまちづくり事業数（事業）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策・市民協働課】	53	57	64	70	☀ (向上)
評価	（状況）平成29年度は64件で、平成28年度と比較して7件増加しています。また、基準値との比較では、15件増加しています。	(事業)				対 前年度
	（原因）市民活動団体の数そのものは減少しましたが、活動件数は増加しており、公益活動に取り組む市民活動・ボランティア活動事業の支援や活動事例の紹介などの取り組みにより、市民の連携・協働したまちづくりの認識が、少しずつ広がっているものと思われます。					☀ (向上)
						目 標 達成度
						■■■ (中)

基本事業04 ポイント制度を活用した地域の活性化の推進

指標	地域ポイントカードの発行枚数（累計）（枚）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【企画財政課】	500	10,653	14,435	30,000	☀ (向上)
評価	本事業は平成27年3月に開始	(枚)				対 前年度
	（状況）平成29年度末時点の累計は14,586枚の発行となっており、28年度の10,653枚に比べて36.9％増加しているため、地域ポイントカードが順調に市民へ普及しています。					☀ (向上)
	（原因）付与ポイント数の高い分娩や人間ドックがポイントカードの認知度を高めていることと、見守りメール配信サービスの浸透による利用者数の増加が原因と考えます。					目 標 達成度
						■■■ (中)

基本事業04 ポイント制度を活用した地域の活性化の推進

指標	地域ポイントカード加盟店数（店）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【企画財政課】	15	17	32	200	☂ (低下)
評価	（状況）平成29年度は32店舗で、平成28年度に比べると15店舗増えています。	(店)				対 前年度
	（原因）新規の加入が停滞している原因は、手数料に対しての還元など店舗においてポイント付与のメリットが見いだせないことが原因と考えます。					☀ (向上)
						目 標 達成度
						■■■ (低)

政策 06 市民協働の推進

施策 02 生涯学習の充実

あるべき姿

生涯学習に取り組み、豊かな人生を過ごしているとともに、学習成果を地域や社会に還元する市民が増えています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	13.1	11.7	10.9	15	(横ばい)
評価	文化芸術スポーツ,街づくり等の定期学習(基準値H27取得)	(％)				対 前年度
	(状況)平成29年度は10.9%で、対前年度0.8ポイント低下していますが、統計誤差の範囲で横ばいです。 (原因)前年同様、50歳以上の結果は10%を越えています、50歳未満の取り組みが10%を大きく下回り数値を下げております。。					目 標 達 成 度 (低)

指標	学習成果を地域や社会に還元している市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	9	7.4	6.6	10	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	(状況)対前年0.8%減は統計誤差範囲。 (原因)40歳未満の還元が8人/110人/1,675人と少ない。					目 標 達 成 度 (低)

■ 基本事業の成果状況と評価

基本事業01 主体的な学習活動の推進

指標	市民主体の年間学習活動回数（延べ）（回）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	3,742	5,431	6,296	4,967	☀ (向上)
評価	(回)					☀ (向上)
	(状況) 平成29年度は6,296回で、平成28年度より865回増加しました。 (原因) 安田公民館における児童クラブの使用増加、塾のコンビニ活動拡大、並びに学習支援の拡大によるものです。	目標達成度 				🏰 (達成)

基本事業01 主体的な学習活動の推進

指標	社会教育関係団体認定件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	102	92	92	104	☁ (横ばい)
評価	(件)					☁ (横ばい)
	(状況) 平成28年度の認定と同数です。 (原因) 認定期間が2年のためです。解散、新規登録もありませんでした。	目標達成度 				■ ■ ■ (低)

基本事業01 主体的な学習活動の推進

指標	事業計画に社会還元のための講座等を組み入れている社会教育関係団体の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	73.5	66.3	66.3	78.4	☁ (横ばい)
評価	(％)					☁ (横ばい)
	(状況) 昨年度同じ同数です。 (原因) 2年に一度の更新のため年度当初に計画の提出をいただいていないためです。	目標達成度 				■ ■ ■ (低)

基本事業02 学習機会の提供と生涯学習施設の利用促進

指標	学習機会（テーマ・教室）が充実していると感じる市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	7.7	8.3	7.2	10	☁ (横ばい)
評価	満足度は満足、やや満足の合計(基準値は平成27年取得)					☁ (横ばい)
	(状況) 平成29年度は7.2%で、対前年度1.1ポイント低下していますが、統計誤差範囲で横ばいです。 (原因) 多種多様のニーズの中、教室並びに講演の内容が需要にあっていないか。	目標達成度 				■ ■ ■ (低)

基本事業02 学習機会の提供と生涯学習施設の利用促進

指標	生涯学習施設の満足度（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	83.2	84.7	81.9	85	☁ (横ばい)
評価	満足度は満足、やや満足、ふつうの合計(基準は平成27年)					☁ (横ばい)
	(状況) 対前年度2.8%減は統計誤差範囲で横ばいです。 (原因) 水原公民館のリニューアルなどもあり、現在使っている人たちに不便・汚いと感じる人が少ない。					☁ (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業02 学習機会の提供と生涯学習施設の利用促進

指標	この1年間に生涯学習施設を利用したことがある市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	18.6	18.3	18.2	20	☁ (横ばい)
評価	基準値は初取得の平成27年度の値					☁ (横ばい)
	(状況) 対前年度0.1%減は統計誤差範囲で横ばいです。 (原因) 公民館、図書館利用は多いが、博物館利用が14人/年と少ない。					☁ (横ばい) 目標達成度 ■■■ (低)

基本事業03 文化財の保護・活用

指標	指定文化財件数〔国〕（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	7	7	9	9	☀ (向上)
評価	(状況) 指定文化財9件です。(うち登録有形文化財が4件) 平成29年度に登録有形文化財2件を新規登録しました。 (原因) 指定文化財としては、以下が登録されています。 【書籍】金剛頂経曼殊室利菩薩五字心陀羅尼品(淳祐筆)、悉曇集記 上中(淳祐筆) 【古文書】藤原氏系図(隆家流) 【天然記念物】梅護寺の珠数掛ザクラ、水原のハクチョウ渡来地(瓢湖) 【登録有形文化財・建造物】清廣館本館、環翠楼大正の間、(新規)石井家住宅主屋及び石井家住宅御小休所御門					☀ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業03 文化財の保護・活用

指標	指定文化財件数〔県〕（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	12	12	12	13	☁ (横ばい)
評価	(状況) 指定文化財は12件です。 (原因) 指定文化財としては、以下が登録されています。 【絵画】方便法身尊像【彫刻】木造 阿彌陀如来坐像 【工芸品】華報寺墓跡出土品(宋 龍泉窯青磁四耳壺)、華報寺墓跡出土品(青銅筒(骨蔵器)他) 【書籍典籍】古論草【古文書】齋藤家所蔵文書 【考古資料】華報寺墓跡出土品(正安元年在銘青銅製経筒他)、上野林J遺跡出土品 【史跡】越後府(天長山)、安田城跡					☁ (横ばい) 目標達成度 (---)

基本事業03 文化財の保護・活用

指標	指定文化財件数〔市〕（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	48	48	48	49	(横ばい)
評価	(状況)市指定文化財は48件です。 (原因)指定文化財としては、以下のほか、建造物、美術工芸品、民俗文化財などが登録されています。 【天然記念物】十郎杉、田崎仁義生家のヒイラギ、立石、観音寺の大ケヤキ・大イチョウ・大スギ、石井家の大ケヤキ、宗寿寺の大イチョウ 【史跡】堀越館跡、水原城跡及水原代官所跡、火除土手、赤松城山、笹岡城址、旧市島次郎吉家（角市市島家）跡 【名勝】岩瀬の清水					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業03 文化財の保護・活用

指標	資料館・博物館の利用及び文化行政事業に参加したことがある市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	10.2	7.3	8.8	12	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度
	(状況)平成29年度は8.8%で、前回調査より1.5ポイント向上しました。統計誤差の範囲ですが、各種利用者数の推移を踏まえると横ばいです。 (原因)五頭の麓のくらし館は閉館中ですが、企画展等の実施により、個人及び団体の来館者を維持しています。					(横ばい)
						目 標 達 成 度
						(中)

政策 06 市民協働の推進

施策 03 人権を尊重するひとづくり

あるべき姿

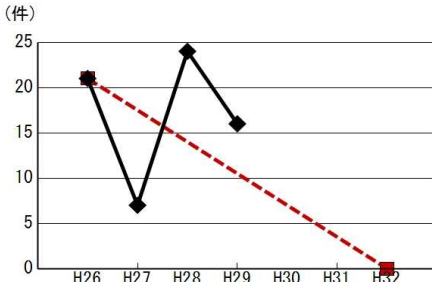
人権尊重の理念が根付き、差別や偏見のないまちになっています。

■ 施策の成果状況と評価

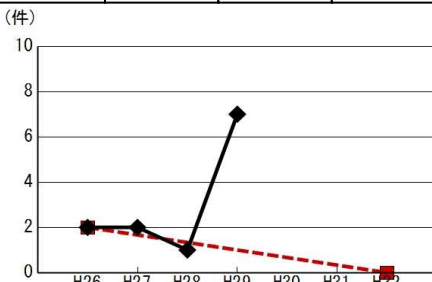
指標	差別や偏見のないまちになっていると感じる市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	50.3	52.3	52.8	60	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は52.8%で、前回調査より0.5ポイント上昇しています。指標値の向上は見られましたが、統計誤差の範囲とも考えられ、横ばいと考えます。 (原因) 学校やイベントを通して、教育啓発活動を行ったことに加えて、阿賀野市で全県に渡る人権イベントを開催しましたが、一般市民への啓発機会がまだ十分でないことが原因のひとつと考えます。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達 成 度
						(低)

■ 基本事業の成果状況と評価

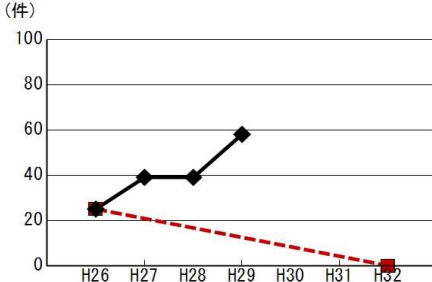
基本事業01 高齢者の人権擁護の推進

指標	高齢者虐待認知件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【高齢福祉課】	7	24	16	0	☀ (向上)
評価	(状況) 件数は減少しておりますが、年度ごとに変動する範囲内の数値であり、ほぼ横ばいと考えます。 (原因) 昨年同様、警察からの相談が約4割を占めています。認知症の介護は精神的・身体的負担が重く、虐待に至ってしまう現状があります。					☀ (向上) 目標 達成度 ■■■ (低)

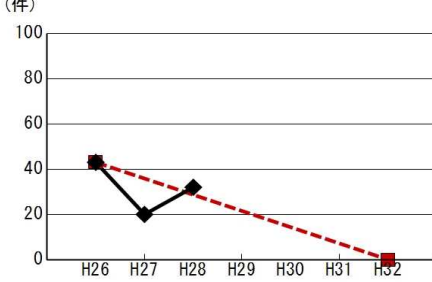
基本事業02 障がい者の人権擁護の推進

指標	障がい者虐待認知件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	2	1	7	0	☔ (低下)
評価	(状況) 平成29年度は7件で、平成28年度の意見より6件増加となり、過去に通報のあった方や同一障がい者の方について2件通報があった方もありました。いずれも養護者からの身体的虐待を疑われたケースで、通報は警察から3件、担当相談員から3件、地区担当保健師から1件という状況でした。 (原因) 7件の認知数の内訳は、5世帯であった。実数5世帯のうち3世帯は常習的な世帯であり、初回の通報時訪問での説得が不十分であったため再度の通報となったことが考えられる。					☔ (低下) 目標 達成度 ■■■ (低)

基本事業03 児童虐待やいじめ防止対策の推進

指標	児童虐待認知件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	39	39	58	0	☔ (低下)
評価	(状況) 平成29年度は58件で総合計画基準値から33件増加しています。平成29年度末の要保護・要支援継続児童数は98人（58世帯）で横ばいです。その内訳は、ネグレクト52%、身体的虐待24.5%、心理的虐待21%でネグレクトが多くを占めており、年齢は乳幼児、思春期の件数が増えています。 (原因) 虐待対応の理解が深まり、関係機関からの通報、相談が増えていることや、特定妊婦の支援に取り組んでいること、またトラブルを繰り返す家庭もあり、同一世帯で複数回の相談を受ける状況があったことが件数増加の原因と考えられます。					☔ (低下) 目標 達成度 ■■■ (低)

基本事業03 児童虐待やいじめ防止対策の推進

指標	いじめの認知件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	20	32	今後取得	0	☔ (低下)
評価	(状況) 平成29年度は速報値で52件で、平成28年度より20件増加、総合計画基準値より9件増加しており、順調とはいえません。 (原因) 小学校、中学校ともに冷やかしの初期段階からの解消に向けて取り組んだため、小学校は昨年と同じ件数でしたが、中学校で20件増加しています。これは、今までいじめと認知していなかった軽微なものまで積極的にいじめの初期段階と捉えた結果であり、解消に向けて適切に対応していることが原因と考えます。					☔ (低下) 目標 達成度 ■■■ (低)

基本事業04 男女共同参画の推進

指標	固定的な性別役割分担意識を持つ市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策・市民協働課】	34.4	34.1	34.2	30	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					(横ばい)
	（状況）平成29年度は34.2%で、平成28年度と比較して0.1ポイント上昇していますが、ほぼ横ばいです。また、基準値との比較では、0.2ポイント低下しています。 （原因）男女別では、男性が40.3%、女性が28.6%となっています。 20歳代が18.8%、30歳代が24.6%で、年齢が上がるほど微増し60歳～64歳で26.2%になりますが、65歳以上になると14.7ポイント上昇し40.9%になっています。年齢が高くなるにつれて、性別役割分担の意識が高く、特に65歳以上の意識が高いことが原因と考えられます。					対 前年度 (横ばい) 目 標 達成度 (低)

基本事業04 男女共同参画の推進

指標	家庭において男女共同参画を行っている市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策・市民協働課】	39.9	38.7	41.8	45	(向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					(向上)
	（状況）平成29年度は41.8%で、平成28年度と比較して3.1ポイント上昇しています。また、基準値との比較では、1.9ポイント上昇しています。 （原因）男女別では、男性の約半数の人は家庭で男女平等と思っていますが、女性においては3人に1人の割合になっています。年代別では、20歳代から60歳代の割合が全て上昇しており、家庭における男女平等の推進が図られていることが原因と考えられます。 また、地区別では、安田地区が高く44.8%、京ヶ瀬地区41.0%、水原地区40.3%、笹神地区43.1%になっています。					対 前年度 (向上) 目 標 達成度 (低)

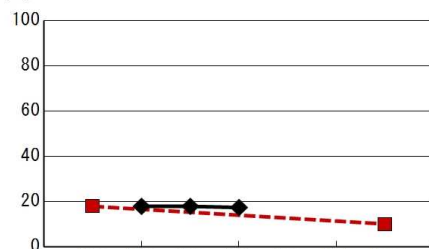
基本事業05 同和問題の意識の高揚

指標	同和問題を知っている市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	31.9	29.8	31.9	45	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					(横ばい)
	（状況）平成29年度は31.9%で、前回調査より2.1ポイントの上昇となります。数値の変動は、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 （原因）学校やイベントを通じた教育啓発活動の継続に加えて、平成29年度は阿賀野市で全県に渡る人権イベントを開催しましたが、一般市民への啓発機会が十分でないことが原因のひとつと考えます。					対 前年度 (横ばい) 目 標 達成度 (低)

基本事業06 人権意識の向上

指標	水俣病に関する偏見・差別が存在することを知っている市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	51.9	52.0	53.0	70	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					(横ばい)
	（状況）平成29年度は53.0%で、前回調査より1.0ポイントの上昇となります。数値の変動は、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 （原因）学校やイベントを通じた教育啓発活動の継続に加えて、平成29年度は阿賀野市で全県に渡る人権イベントを開催しましたが、一般市民への啓発機会が十分でないことが原因のひとつと考えます。					対 前年度 (横ばい) 目 標 達成度 (低)

基本事業06 人権意識の向上

指標	この1年間に人権侵害を受けたことがある市民の割合(%)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	17.8	17.8	17.3	10	
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				(横ばい)
	(状況) 平成29年度は17.3%で、前回調査から0.5ポイント低下し、対基準値においても0.5ポイント低下していますが、統計誤差の範囲と考えます。 (原因) 内容的には、パワーハラスメントが48.6%で、次いで女性の人権が24.3%となっています。高い数値になっているのは、時代背景と世代による認識の違いが原因と考えられます。					対 前年度  (横ばい) 目 標 達成度  (低)

政策 06 市民協働の推進

施策 04 開かれた市政の推進と効果的な情報発信

あるべき姿

必要な情報が適宜提供され、情報公開や広聴等の仕組みにより開かれた行政になっています。
情報発信が効果的に行われ、阿賀野市の知名度が上がっています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	市からの情報提供に満足している市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策・市民協働課】	88.5	89.2	89.5	88.5	☀
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				(向上)
	（状況）平成29年度は89.5%で、前回調査より0.3ポイント向上し、目標値を達成している状況です。 （原因）満足している割合で量は90%台、質は88%台となっています。年代別における満足している割合は、80歳以上で50%となっていますが、その他の年代では全て85%を超えています。 広報紙における特集記事など掲載内容の充実を図り、より読みやすく分かりやすい紙面編集に取り組んでいます。また、市ホームページでは担当課でウェブページを管理・更新できるCMS（コンテンツマネジメントシステム）を導入し、速やかな情報発信を行ったことが原因と考えます。					対 前年度 ☀ (向上) 目標 達成度 ☀ (達成)

指標	市からの情報発信や広聴等により、開かれた行政になっていると感じる市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策・市民協働課】	69.8	72.0	72.6	70	☀
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				(向上)
	（状況）平成29年度は72.6パーセントで、前回調査より0.6ポイント向上し、目標値を達成している状況です。 （原因）市ホームページによる速やかな情報発信やパブリックコメント、市長へのたよりなどによる広聴制度により、市民に近い対応を図っていることが認識されているものと思われます。なお、年齢別では80歳代の33.3%を除けば、20歳代が63.8%と最も低く、年代が高くなるにつれて割合は高くなり、75歳代では81.8%となっています。また、地区別では大きな差異はありません。					対 前年度 ☀ (向上) 目標 達成度 ☀ (達成)

指標	阿賀野市の知名度の県内順位（位）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策・市民協働課】	17	18	17	15	☁
評価	出展：『地域ブランド調査』の認知度	(位)				(横ばい)
	（状況）平成29年度は県内20市中17位で、平成28年度より1つ順位が上がりました。 （原因）阿賀野市というワードを見聞した情報接触度は県内20市中16位（全国852位）であり、市の情報発信力が相対的に低いことが原因と考えます。 なお、近隣市の県内順位は、新潟市1位、新発田市14位、胎内市18位、五泉市19位となっています。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目標 達成度 ☁ (低)

指標	阿賀野市の知名度の全国順位（位）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策・市民協働課】	816	798	807	700	☁
評価	出展：『地域ブランド調査』の認知度	(位)				(横ばい)
	（状況）平成29年度1,047自治体中807位で、平成28年度より順位が9位下がっています。 （原因）阿賀野市というワードを見聞した情報接触度は全国852位であり、市の情報発信力が相対的に低いことが原因と考えます。 なお、近隣市の全国順位は、新潟市87位、新発田市529位、胎内市853位、五泉市893位となっています。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目標 達成度 ☁ (低)

■ 基本事業の成果状況と評価

基本事業01 情報提供の充実

指標	広報紙で定期的に市政情報を見ている市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策・市民協働課】	70.1	71.0	68.0	70	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	（状況）平成29年度は68.0％で、前回調査より3.0ポイント低下していますが、ほぼ横ばいであると考えています。 （原因）男女別では男性が61.9％に対し女性は72.9％と11.0ポイント高くなっています。 年代別では80歳以上の100.0％を除けば、70歳代の89.9％が最も高く、年代が高くなるにつれて見ている市民の割合は高くなるものの、20歳代では22.1％と最も低く、市政情報については広報紙以外の手段により得ているものと思われます。 また、地区別では大きな変化は見られません。					目 標 達成度 (中)

基本事業01 情報提供の充実

指標	ホームページの内容充実度（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策・市民協働課】	72.5	71.4	68.6	75	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	（状況）平成29年度は68.6％で、前回調査より2.8ポイント低下していますが、統計誤差の範囲であり、ほぼ横ばいにあると考えています。 （原因）男女別では男性が62.0％に対し女性は74.6％と12.6ポイント高くなっています。 年代別では75歳以上が87.9％と高くなっていますが、20歳代から50歳代にかけては50％台～60％台に推移しており、さらに市政情報の提供を求めていると思われます。 地区別で差異は見られません。					目 標 達成度 (低)

基本事業01 情報提供の充実

指標	年間ホームページアクセス数（万回）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策・市民協働課】	160	156	160	178	(横ばい)
評価	ページビューで算定（基準値は平成27年度取得）	(万回)				対 前年度
	（状況）平成29年度のアクセス数は159万8千回で平成27年度より4万2千回増加し、アクセス数としては2.6％の向上となりましたが、ほぼ横ばいであると考えています。 （原因）市のホームページについては、平成27年2月のリニューアル後大幅にアクセス数が増加し、それ以降も堅調にアクセス数は推移していますが、昨年度は瓢湖のライブカメラやイベント情報、火災情報などの消防関連へのアクセスが高く、増加したものと思われます。					目 標 達成度 (低)

基本事業02 広聴活動・情報公開の充実

指標	広聴等による意見・提案・質問数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策・市民協働課】	65	70	98	74	(比較不可)
評価		(件)				対 前年度
	（状況）平成29年度の市長へのたよりとして寄せられた意見・提案・質問数は98件で、昨年度比較では28件増加しました。 （原因）公共施設の運営管理変更に伴い、関連の投稿が増加したことや、各担当課に意見や要望を行うより、直接市長へ伝えた方が有効と考える市民が増えたことが要因と思われます。					目 標 達成度 (---)

基本事業02 広聴活動・情報公開の充実

指標	不服申立てによる情報公開決定件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調となっています。 (原因) 公開請求は213件あり、情報不保持1件を除く212件について公開しており、適正に運用されています。					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業03 情報発信の強化

指標	この1年間で知人・友人に対し、阿賀野市への居住・観光を勧めたことのある市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策・市民協働課】	15.7	14.5	18.5	20	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況) 平成29年度は18.5%で、前回調査に比べて4.0ポイント向上しており、順調に推移しています。内訳は、居住・移住を勧める人が7.0%、観光を勧める人は25.1%で観光を勧める割合が高くなっています。 (原因) 居住・移住について7割以上、観光について約6割が「そのような機会がなかった」と回答しており、勧める機会がないことが原因となっています。					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業03 情報発信の強化

指標	移住・定住窓口相談件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策・市民協働課】	7	2	19	20	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況) 平成29年度は19件で、前回調査に比べて8倍となる17件増加しております。 (原因) 新潟市から出展のノウハウの提供を受け、資料の配布や相談者への呼びかけを行ったことが要因となっています。（資料配布枚数：254枚）					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業03 情報発信の強化

指標	移住・定住ホームページアクセス数（回）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策・市民協働課】	27,852	25,708	31,268	50,000	☀ (向上)
評価	ページビューで算定（基準値は平成27年度取得） (状況) 平成29年度は31,268回で、前回調査に比べて約12%増加、昨年度と比較しても約22%増加しているため順調・予定通りです。 (原因) 「空き家バンク」の情報が更新されたことに加え、「住まい」以外の情報の充実や、移住希望者が多くアクセスする国や県のサイトでの情報発信強化を行ったことが要因となっています。					☀ (向上)
						☀ (向上)

政策 07 信頼される行政経営

施策 01 行政経営の推進

あるべき姿

効率的・効果的な行財政運営が行われています。

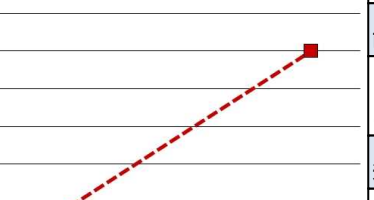
■ 施策の成果状況と評価

指標	効率的・効果的な行財政運営が行われていると感じる市民の割合（％） 【企画財政課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		45.1	50.6	47.9	70	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				対 前年度
	(状況) 平成29年度は47.9%と、前回調査より2.7ポイント低下しましたが、アンケートによる統計誤差の範囲であり横ばいの状態です。 (原因) 職業別で、前回アンケートでは「思う」の回答率が最も高かった家事専門者の「思う」の回答が対前年度13.9ポイント低下し、48.4%でした。家事専門の回答者は、97%が女性であることから、専業主婦の方からの行財政運営に対する評価が下がったこととなります。					☂ (低下) 目 標 達 成 度 ■■■ (低)

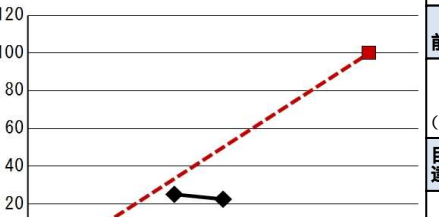
指標	施策目標の達成率（％） 【企画財政課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		-	17.9	17.9	100	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度時点で目標を達成している施策は28施策中5施策で、達成率は17.9%となります。昨年度と同率となっています。 (原因) 目標を達成している施策は、「セーフティネット」「防災減災体制」「防犯対策」「高齢者福祉」「生活衛生・環境」となっています。 残る施策についても、「障がい者福祉」「上水道」「污水处理」などが、目標達成に近い状況です。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達 成 度 ■■■ (低)

■ 基本事業の成果状況と評価

基本事業01 成果重視の行政経営の推進

指標	基本事業目標の達成率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																
	【企画財政課】	-	11.7	15.3	100	 (向上)																
評価	対象は、目標達成度の算出が可能な111基本事業です。	(％)					対 前年度															
	（状況）平成29年度時点で目標を達成している基本事業は111基本事業中17基本事業で、その割合は15.3%となっています。昨年度より3.6ポイント向上しています。 （原因）「企業誘致の推進」「創業・事業展開の支援」「観光施設」「公園」などが新たに目標を達成した基本事業です。 なお、目標達成に近い基本事業が5事業（4.5％）となっています。	 <table><caption>基本事業01 成果重視の行政経営の推進 (実績値)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>0</td></tr><tr><td>H27</td><td>-</td></tr><tr><td>H28</td><td>11.7</td></tr><tr><td>H29</td><td>15.3</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td></tr><tr><td>H32</td><td>100</td></tr></tbody></table>					年度	実績値 (%)	H26	0	H27	-	H28	11.7	H29	15.3	H30	-	H31	-	H32	100
年度	実績値 (%)																					
H26	0																					
H27	-																					
H28	11.7																					
H29	15.3																					
H30	-																					
H31	-																					
H32	100																					

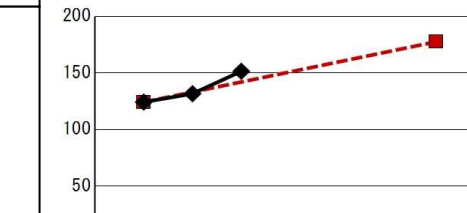
基本事業01 成果重視の行政経営の推進

指標	成果が順調・向上した事務事業の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																
	【企画財政課】	-	25.1	22.5	100	 (向上)																
評価	対象は、指標を設定した通常評価事業のみです。	(％)					対 前年度															
	（状況）平成29年度で成果が順調・向上な事務事業は22.5%（124事業／551事業）で昨年度より2.6ポイント低下し、主に「高齢者や障がい者福祉の充実」分野で19.3ポイント、「信頼される行政経営」23.1ポイントとそれぞれ大幅な低下となりました。 （原因）「高齢者や障害者福祉の充実」で低下した理由は継続事業が多くを占めており成果指標が維持・横ばいの状況が多かったことであり、「信頼される行政経営」では平成28年度の課題からそれを改善する事業内容が少なかったと捉えて全体的に低下したと考えます。	 <table><caption>基本事業01 成果重視の行政経営の推進 (実績値)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>0</td></tr><tr><td>H27</td><td>-</td></tr><tr><td>H28</td><td>25.1</td></tr><tr><td>H29</td><td>22.5</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td></tr><tr><td>H32</td><td>100</td></tr></tbody></table>					年度	実績値 (%)	H26	0	H27	-	H28	25.1	H29	22.5	H30	-	H31	-	H32	100
年度	実績値 (%)																					
H26	0																					
H27	-																					
H28	25.1																					
H29	22.5																					
H30	-																					
H31	-																					
H32	100																					

基本事業02 健全な財政運営の推進

基本事業02 健全な財政運営の推進																						
指標	実質公債費比率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																
	【企画財政課】	14.1	13.5	今後算定	13	(---)																
評価	(状況) (原因) 総務省指定の算定様式による報告が例年8月以降となるため、 5月末現在未算定。	(%)<table><caption>基本事業02 健全な財政運営の推進 (実績値)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>-</td></tr><tr><td>H27</td><td>14.1</td></tr><tr><td>H28</td><td>13.5</td></tr><tr><td>H29</td><td>今後算定</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td></tr><tr><td>H32</td><td>13</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (%)	H26	-	H27	14.1	H28	13.5	H29	今後算定	H30	-	H31	-	H32	13	対 前年度 (---)
	年度	実績値 (%)																				
H26	-																					
H27	14.1																					
H28	13.5																					
H29	今後算定																					
H30	-																					
H31	-																					
H32	13																					
					目 標 達成度 (---)																	

基本事業02 健全な財政運営の推進

基本事業02 健全な財政運営の推進		実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値																
指標	将来負担比率（％）	131.6	151.4	今後算定	177.5																	
	【企画財政課】					(---)																
評価	(状況) (原因) 総務省指定の算定様式による報告が例年8月以降となるため、5月末現在未算定。	(%)<table><caption>基本事業02 健全な財政運営の推進 (実績値)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>-</td></tr><tr><td>H27</td><td>131.6</td></tr><tr><td>H28</td><td>151.4</td></tr><tr><td>H29</td><td>今後算定</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td></tr><tr><td>H32</td><td>177.5</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (%)	H26	-	H27	131.6	H28	151.4	H29	今後算定	H30	-	H31	-	H32	177.5	対 前年度 (---)
	年度	実績値 (%)																				
H26	-																					
H27	131.6																					
H28	151.4																					
H29	今後算定																					
H30	-																					
H31	-																					
H32	177.5																					
						目 標 達成度 (---)																

基本事業03 組織・人事マネジメントの充実

指標	組織間・組織内連携が十分に図られていると感じる職員の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	51.2	53.5	70.5	75	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％) 				☀ (向上)
	(状況) 平成29年度は70.5%で、平成28年度より17.0ポイント向上し、目標値に近づきました。 (原因) 男女別では、男性73.7%、女性63.8%で男性の割合が高い傾向にあります。また、年齢別では45歳から54歳までの階層が61.3%と最も低くなっています。縦割りで横の連携がうまくいっていないという意見があることから、係又は課にまたがる業務や繁忙期の協力体制を強化していく必要があります。					☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事業03 組織・人事マネジメントの充実

指標	適材適所な人材が配置されていると感じる職員の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	43.4	49.6	67.5	70	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％) 				☀ (向上)
	(状況) 平成29年度は67.5%で、平成28年度より17.9ポイント向上し、順調に推移しています。 (原因) 男女別では女性が、職種別では一般職が、年齢別では35歳から54歳までの階層で、適材適所の配置となっていないと思う割合が高くなっています。専門的な知識をもった職員の採用や多様な職員研修の実施、職員の配属希望を考慮した人事異動などを行っていく必要があります。					☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事業04 公共施設等のマネジメントの推進

指標	市民1人当たりの公共施設等延床面積（㎡）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【管財課】	4.40	4.47	4.44	4.25	☂ (低下)
評価		(㎡) 				☂ (低下)
	(状況) 平成29年度は4.44㎡で、平成28年度に比べて0.03㎡減少しています。 (原因) 赤坂小学校、物見山教職員住宅の用途廃止、安田支所の解体等によりトータル 3,570㎡の面積減となりましたが、人口減少(昨年比 567人)があり、市民1人当たりの公共施設等延床面積が昨年度に比べ微減に留まったことが原因です。					☂ (低下) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業05 自主財源の確保

指標	市税収納率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【税務課】	94.19	94.36	94.70	96.02	☀ (向上)
評価	確定値は6月上旬	(％) 				☀ (向上)
	(状況) 平成29年度は94.70%で、対前年度でも0.3ポイント、総合計画基準値から1.6ポイント向上しており、現時点までは極めて順調です。 (原因) 現年度分の収納状況では、軽自動車税及び入湯税を除き概ね各税目とも昨年度より向上していますが、滞納繰越分では殆んど低下しているところがあります。収納率が向上しているのは、個人住民税現年度分と固定資産税の交付金約1億円余りの収納が大きく影響しているところがその主な要因です。					☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (中)

政策 07 信頼される行政経営

施策 02 適切な事務執行とサービス提供

あるべき姿

職員が適切な事務執行を行い、行政サービスが提供されています。

■ 施策の成果状況と評価

指標	適正な事務処理がされず市民に影響を与えた件数（件） 【総務課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		0	0	1	0	☂ (低下)
評価	(状況) 平成29年度は1件で、選挙事務(投票事務)において不適正な事務処理が発生しました。 (原因) 投票事務に従事する職員が投票用紙を2重交付したもので、確認を怠ったことが原因です。					対 前年度 ☂ (低下)
						目 標 達成度 ■■■ (低)

指標	事務執行や行政サービスに満足している市民の割合（％） 【総務課】	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
		84.6	85.1	84.0	90	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況) 平成29年度は84.0%で、前回調査より1.1ポイント低下していますが、統計誤差の範囲であり、ほぼ横ばいです。 (原因) 「満足」が4.6%、「やや満足」が12.5%、「ふつう」が66.9%となっており、前回調査との比較で、「満足」が1.1ポイント、「やや満足」が0.7ポイントそれぞれ低下しました。行政事務が適正に執行された結果、満足度はほぼ横ばいで推移したと考えられます。地区別にみても、満足度で差異はなく、特定の地区に問題がある等の状況にはありません。					対 前年度 ☁ (横ばい)
						目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業01 情報の適切な管理

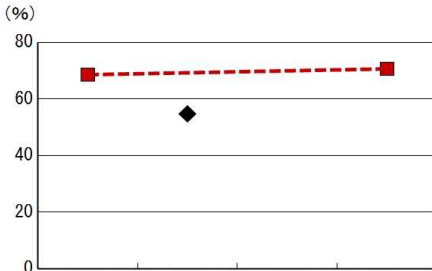
基本事業02 出納事務の適正執行

基本事業03 積極的な選挙啓発と適正な選挙事務の執行

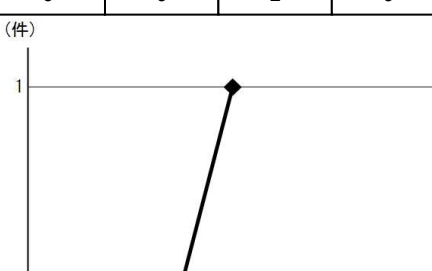
基本事業03 積極的な選挙啓発と適正な選挙事務の執行

108

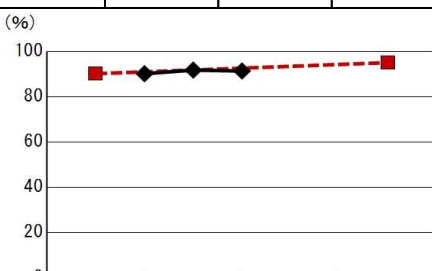
基本事業03 積極的な選挙啓発と適正な選挙事務の執行

指標	市政選挙投票率（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	-	54.71	-	70.6	
評価	基準値は、平成24年度市政選挙の投票率	(％)				(比較不可)
	(状況) 平成29年度は市政選挙はありませんでした。					対 前年度 (比較不可) 目 標 達 成 度 (低)

基本事業03 積極的な選挙啓発と適正な選挙事務の執行

指標	選挙事務上の事故件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	0	0	1	0	☂ (低下)
評価	(状況) 平成29年度の衆議院議員総選挙の比例代表選挙において、選挙事務上の事故が1件発生しました。	(件)				対 前年度 (低下)
	(原因) 投票用紙を二重交付した案件があり、投票所が混雑したため投票用紙交付係の職員が落ち着きを失ったことが原因と考えます。					☂ (低下) 目 標 達 成 度 (低)

基本事業04 迅速・確実な窓口サービスの提供

指標	窓口の職員対応に満足している市民の割合（％）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	90.1	91.7	91.3	95	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度 (横ばい)
	(状況) 平成29年度は91.3%で、前回調査より0.4ポイント低下しましたが、統計誤差の範囲であり、ほぼ横ばいです。					☁ (横ばい) 目 標 達 成 度 (低)

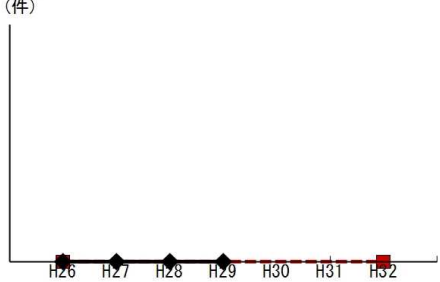
基本事業04 迅速・確実な窓口サービスの提供

指標	窓口業務での不適切な事務処理を行った件数（総紀委員会の指摘件数）（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調となっています。	(件)				対 前年度 (向上)
	(原因) 各窓口において、適切な事務処理に努めている成果と考えられます。					☀ (向上) 目 標 達 成 度 (達成)

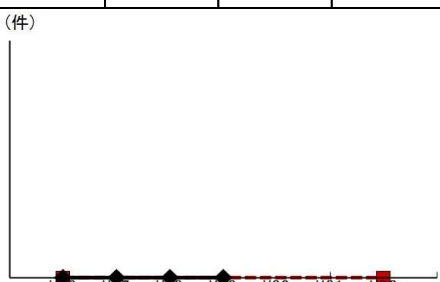
基本事業05 監査事務の適正執行

指標	監査事務処理の事故件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【監査委員事務局】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度と同様に、監査事務処理において事故はありませんでした。 (原因) 法令等に基づき、適正な事務処理に努めている成果と考えられます。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 🏰 (達成)

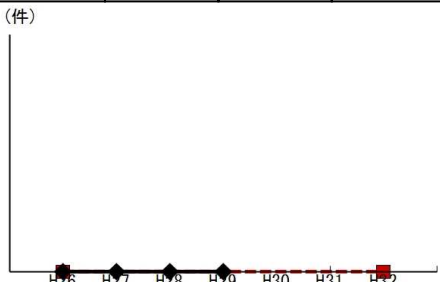
基本事業06 議会議務の適正執行

指標	議会議務処理の事故件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【議会議務局】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調となっています。 (原因) 適正な事務処理に努めている成果と考えられます。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 🏰 (達成)

基本事業07 ITの適切な管理

指標	システムダウン件数（件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調となっています。前年度と同様に、電算システムがダウンした案件は、ありませんでした。 (原因) 定期的にシステム及び機器のメンテナンス作業を実施するなどして、適正な管理に努めている成果と考えられます。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 🏰 (達成)

基本事業07 ITの適切な管理

指標	ウイルス感染件数（ウイルス対策ソフトで駆除されたものは除く。） （件）	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調となっています。前年度と同様に、ウイルスに感染した案件は、ありませんでした。 (原因) 常時ウイルス検知ソフト・機器により監視するなど、適正な管理に努めている成果と考えられます。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 🏰 (達成)